

**(別冊2)**

# **政策評価シート(個票)原案**

**千 葉 市**

# 【 目 次（成果指標 No※）】

※成果指標 No につきましては、「千葉市新基本計画に関する政策評価（中間評価）の原案」の4「政策評価 成果指標一覧」をご参照ください。

方向性1	豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	(指標 No)
1-1	豊かな自然を守り、はぐくむ	..... 1～6
1-2	緑と花のあふれる都市空間を創る	..... 7～13
1-3	環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る	..... 14～25
方向性2	支えあいやすらぎを生む、あたたかなまちへ	(指標 No)
2-1	健康で活力に満ちた社会を創る	..... 26～35
2-2	こどもを産み、育てやすい環境を創る	..... 36～45
2-3	ともに支えあう地域福祉社会を創る	..... 46～48
2-4	高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る	..... 49～55
2-5	障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る	..... 56～60
方向性3	豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	(指標 No)
3-1	未来を担う人材を育成する	..... 61～74
3-2	生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える	..... 75～84
3-3	文化を守り、はぐくむ	..... 85～91
3-4	多彩な交流・連携により新たな価値を創る	..... 92～97
3-5	市民の力をまちづくりの力へ	..... 98～107
方向性4	ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で 快適なまちへ	(指標 No)
4-1	市民の安全・安心を守る	..... 108～127
4-2	快適な暮らしの基盤をつくる	..... 128～136
4-3	ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる	..... 137～146
方向性5	ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	(指標 No)
5-1	都市の魅力を高める	..... 147～152
5-2	地域経済を活性化する	..... 153～165
5-3	都市農林業を振興する	..... 166～171

## 区基本計画（指標 No）

中央区（172～175）、花見川区（176～178）、稲毛区（179～181）  
若葉区（182～185）、緑区（186～188）、美浜区（189～191）

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】の見方

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO

17

指標No

当該指標の施策の柱及び施策

指標名	日頃、ごみの量を減らすことや、リサイクルに取り組んでいる	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	環境局
--------	-----

指標の担当局

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	74.0	77.5	80.0	△
現状値	69.7	69.9	—	—	

比較

指標の目標値について、H26末、H29末、H33末を記載。また、H26末目標値に対するH26末現状値を比較し、達成状況（◎○△×）を分類

目標設定の考え方	ごみの一層の減量と、安定かつ継続的なごみ処理体制の確立を目指し、目標値を設定した。
----------	---

指標の目標設定の考え方

【達成状況の分析】  
焼却ごみ1/3削減を目標に掲げ、「ごみ減量「ちばルール」の推進」や「3R教育・学習の推進」により、市民や事業者とごみの排出削減の取組みを推進し、事業進捗は概ね順調だった一方で、「ごみ減量・再資源化の推進」の事業進捗は未達成だった。特に、ごみ資源・再資源化の推進のうち家庭用生ごみ処理機器等購入助成の取組みについて、補助額の引き上げを行い制度の拡充を行ったが、申請数が伸びなかったこともあり、指標の向上につながらなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
目標未達成事業である、ごみ減量「ちばルール」の推進（商店会との協定締結）及びごみ減量・再資源化の推進事業（①家庭用生ごみ処理機器等購入助成 ②生ごみ分別収集 ③剪定枝等循環システム）について、積極的に広報等を行い、ごみの減量・再資源化に努める。  
また、ごみ減量・再資源化活動の顕著な団体への表彰を継続して行うとともに、分別説明会の開催により、参加団体の分別促進を図る。あわせて、第2次実施計画事業の集団回収未登録団体への説明会の開催により、新規登録の促進を図り、再資源化を推進する。

指標についての26年度末目標値に対する達成状況について、その理由や背景を分析しています。

指標の達成・向上に向け、市の取組みや進捗状況・社会経済情勢など、どのような課題があるのかを記述しています。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	—	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達成	0
4	3R教育・学習の推進	チャレンジ1000による自治会への説明会	867自治会	201自治会	1,068自治会	1,068自治会	達成	0
5	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
6	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集(4地区)	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
7	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	—	13トン	13トン	0トン	未達成	
8	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	—	60団体	60団体	44団体	未達成	0

指標を構成する事業について、第1次実施計画事業（H24～26年度）及びその他の事務事業（H24～26年度）の進捗状況を記載しています。

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	GO！GO！へらそうくん発行事業	発行部数	347, 000部	1, 080, 000部	360, 000部	324, 000部	概ね達成	7,588
2	ごみ減量啓発冊子製作事業	発行部数	20, 000部	13, 500部	4, 500部	0部	中止	0
3	ごみ分別スクール	ごみ分別スクール	118校(参加児童数8,937人)	市内小学校117校/年	市内全小学校	市内全小学校(114校)	達成	7,410

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－1 緑と水辺の保全・活用

指標NO	1
------	---

指標名	市内の花や緑は豊かだと感じる	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	64.0	67.0	70.0	△
現状値	61.4	61.4	—	—	

目標設定の考え方	緑地の保全や緑化の推進、花のあふれるまちづくりにより、身近に感じられる緑や花の量的拡大や質的向上を図り、豊かさの値の向上を図ることを目指し、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
身近に感じられる緑や花の量的拡大や質的向上を図るため、実施計画事業など様々な取組みを実施してきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 理由としては、計画事業「市民との協働による公園管理」は目標を達成し、「緑と花の人材育成と活動拠点づくりの推進」も概ね目標を達成しているが、市民生活で目にすることが多い緑に係る事業（「市民緑地の設置」や「緑地協定の推進」、「緑化意識の普及啓発（緑のカーテン）」など）に未達成事業が多いことから、生活実感が現状維持にとどまっていると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
「市民との協働による公園管理」と「緑と花の人材育成と活動拠点づくりの推進」については、第2次実施計画において引き続き推進する。 また、「中心市街地の緑化の推進」や「緑化意識の普及啓発」などの緑の量を増やし、質を高める事業については、PRを充実する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別緑地保全地区の指定	特別緑地保全地区の指定	11地区(51.3ha)	2地区(3.4ha増)	13地区(54.7ha)	13地区(61.1ha)	達成	268,636
2	市民緑地の設置	市民緑地の設置	16か所(19.4ha)	6か所(6ha)	22か所(25.4ha)	19か所(21.8ha)	未達成	767
3	緑地協定の推進	緑地協定の認可	175地区	2地区/年増	181地区	176地区	未達成	0
4	工場・事業所等の緑化の推進	緑化協定の締結数	841件	5件/年増	856件	854件	概ね達成	0
5	緑化意識の普及啓発	緑のカーテンの実施(公共施設)	228か所	20か所/年増	288か所	192か所	未達成	0
6	中心市街地の緑化の推進	屋上・壁面緑化への助成	—	5件/年	15件	助成 2件	未達成	912
7	花いっぱい地域活動の推進	活動団体	441団体	9団体/年増	468団体	442団体	未達成	0
8	緑と花の人材育成と活動拠点づくりの推進	緑と花の地域リーダーの育成	135名	30名増	165名	159名	概ね達成	0
9	緑と花のコンテストの実施	花壇コンクール参加団体	70団体	5団体/年増	85団体	49団体	未達成	0
10	市民との協働による公園管理	千葉公園(ボランティアによる花壇管理)	6か所	4か所	10か所	10か所	達成	876
11	市民との協働による公園管理	昭和の森(ボランティアによる花壇管理)	5か所	2か所	7か所	7か所	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	2

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－1 緑と水辺の保全・活用

指標名	身近な水辺に親しみをを感じる	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	48.0	49.0	50.0	△
現状値	46.5	46.7	－	－	

目標設定 の考え方	親水護岸や公園の整備、谷津田の保全活動の推進により、身近な水辺に触れあう機会の創出を図ることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
市民に身近な水辺に触れあう機会を創出するための取組みを行ってきたが、平成26年度末目標値には到達しなかった。 計画事業「稲毛海浜公園の改修」や「公園緑地の整備」は目標を達成、また、「谷津田の保全と活用の推進」の一部の取組項目は目標を概ね達成しているが、「稲毛海浜公園」は実施設計や調査、「公園緑地の整備」は用地取得、「谷津田の保全と活用の推進」は谷津田保全協定の締結、「中溝水路の整備」は休止するなど、計画事業の内容が実態として現状の変化をとまなうものではないことから、市民実感としてはあまり変化しなかったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、水辺環境の保全を進めるとともに、第2次実施計画事業「稲毛海浜公園の再整備」など施設整備を伴う事業については、早期に実現するよう努める。なお、稲毛海浜公園検見川地区の活性化施設については、民間事業者による施設整備工事が進んでおり、平成27年度中の供用を予定している。 また、引き続き、谷津田保全区域の指定拡大や保全活動団体等への活動支援により、谷津田の保全と活用を推進するとともに、水辺を保全するため、地元住民や水辺を利用する周辺地域住民との協働作業を進めるなど、水辺再生活動を推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	－	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	－	調査	調査	調査	達成	
3	公園緑地の整備（都川水の里公園）	都川水の里公園	供用 2.2ha	用地取得 0.6ha	供用 2.2ha	供用 2.2ha	達成	2,149,382
4	谷津田の保全と活用の推進	谷津田保全協定の締結	42.8ha	9ha 拡大	51.8ha	51.2ha	概ね達成	840
5	谷津田の保全と活用の推進	NPO団体等への活動支援	1団体	3団体増	4団体	3団体 ★	未達成	
6	望ましい水循環・水環境の創出	中溝水路の整備	基本計画	調査	調査	休止	休止	2,778

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－1 緑と水辺の保全・活用

指標NO	3
------	---

指標名	市街化区域内の緑地の割合	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	都市公園やポートパークなど公園に準じる施設、特別緑地保全地区、市民緑地、生産緑地、保安林、保存樹林及び緑地協定地区内の緑化地等の面積が市街化区域面積に占める割合	担当局（区）	都市局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	10.5	10.7	11.0	✕
現状値	10.3	10.2	－	－	

目標設定の考え方	市民が身近に触れることができる市街化区域内の緑は貴重であることから、保全・活用を進めることとして設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 市街化区域内の緑地の保全・活用のための取組みを行ってきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 計画事業「特別緑地保全地区の指定」をはじめとする多くの事業が目標事業量を達成、又は概ね達成しており、緑地面積は増加してきたが、平成26年4月に施行した「千葉市工場等緑化推進要綱」の改正により、湾岸地区における工業系用途地域の事業所系の緑化率を緩和したことなどに伴い、緑化協定の変更がなされた結果、工場等の緑地が大きく減少した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 第2次実施計画においても、「公園緑地の整備」などの各種事業を着実に推進し、市街地内の緑地を確保するとともに、「工場・事業所等の緑化の推進」では、湾岸地区の工業系用途地域における事業所系の緑化協定にあたり、努力目標である「将来緑化率20%以上」となるように努める旨、引き続き働きかけていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別緑地保全地区の指定	特別緑地保全地区の指定	11地区(51.3ha)	2地区(3.4ha増)	13地区(54.7ha)	13地区(61.1ha)	達成	268,636
2	市民緑地の設置	市民緑地の設置	16か所(19.4ha)	6か所(6ha)	22か所(25.4ha)	19か所(21.8ha)	未達成	767
3	公園緑地の整備(街区公園(身近な公園))	街区公園(身近な公園)	－	整備 3か所	整備 3か所	整備 3か所	達成	2,149,382
4	公園緑地の整備(花島公園)	花島公園	供用 17.7ha	整備(緑園ゾーンの一部) 約3.0ha	供用 20.7ha	供用 21.7ha	達成	
5	公園緑地の整備(都川水の里公園)	都川水の里公園	供用 2.2ha	用地取得 0.6ha	供用 2.2ha	供用 2.2ha	達成	
6	公園緑地の整備(蘇我スポーツ公園)	蘇我スポーツ公園	供用 22.5ha	用地取得 約3.3ha 第3駐車場・第1多目的グラウンドの整備 4.1ha	供用 26.6ha	供用 53.6ha	達成	
7	緑地協定の推進	緑地協定の認可	175地区	2地区/年増	181地区	176地区	未達成	0
8	工場・事業所等の緑化の推進	緑化協定の締結数	841件	5件/年増	856件	854件	概ね達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート 【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－1 緑と水辺の保全・活用

指標NO	4
------	---

指標名	谷津田の保全活動等の参加者数	単位	人
-----	----------------	----	---

指標の説明	大草谷津田いきものの里における田んぼや森づくり、動植物調査の活動者や大草観察会の参加者数、および新たに保全活動を推進する谷津田における活動への協力、参加者数	担当局（区）	環境局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	440	470	500	◎
現状値	409	519	－	－	

目標設定の考え方	大草谷津田いきものの里のボランティア活動や定期観察会への参加者の確保を引き続き図るとともに、小倉地区や大藪池地区等において谷津田保全の活動協定を結び、谷津田保全活動への協力・参加者数の確保に努める。
----------	---

【達成状況の分析】 平成26年度に新たに2団体と活動協定を締結したこと、大草自然観察会が例年に比べ天候に恵まれ中止とならずに開催でき、1回あたりの参加者も多かったこと、小倉地区での自然観察会を始めたこと、などにより計画以上に保全活動等に参加する人数が増加した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 平成26年度末で、最終の目標値を達成しているが、自然観察会はその年の天候等により参加者が増減するので、開催場所や内容を適宜見直しながら魅力ある観察会等を行っていく必要がある。 一方、谷津田の保全活動を行う活動団体への参加者は、観察会と異なり年間を通じて固定されるので、さらに活動協定締結団体を増やすべく、取組みを進め、谷津田の保全活動の参加者を確保していくこととする。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	谷津田の保全と活用の推進	谷津田保全協定の締結	42.8ha	9ha 拡大	51.8ha	51.2ha	概ね達成	840
2	谷津田の保全と活用の推進	NPO団体等への活動支援	1団体	3団体増	4団体	3団体 ★	未達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大草谷津田いきものの里における自然観察会事業	毎月第1・3日曜日(年約20回)開催	年22回	継続	継続	継続	達成	132
2	自然保護ボランティア育成講座	全6回の連続講座の開催	年6回	継続	継続	継続	達成	620

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

指標NO

5

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

指標名	市内の海辺に魅力を感じる	単位	%
-----	--------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	41.0	46.0	50.0	△
現状値	36.8	37.9	—	—	

目標設定の考え方	中央港地区の旅客船さん橋の整備や人工海浜を生かした取組みを推進することで、海辺に足を運ぶ機会を増やすことを目指し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

魅力ある海辺空間を創出するため、その他事業の幕張海浜公園での「花火大会開催（幕張ビーチ花火フェスタ）」や、千葉ポートタワー・ポートパークでの「千葉市民産業まつり開催（千葉湊大漁まつり）」など、にぎわいを創出するイベントを開催してきた。また、計画事業「千葉中央港地区まちづくりの推進（旅客船の運航）」では、工場夜景クルーズや高速ジェット船クルーズなど、海上交通の運行実験を継続的に実施し、市民が海辺に訪れる機会を提供してきた。  
H26年末現状値は、これらの各種イベント等の成果によってH23末現状値より数値が向上しているが、計画事業「稲毛海浜公園の改修」や「千葉中央港地区まちづくりの推進（旅客船さん橋の整備）」などのハード整備については、26年度末時点で「実施設計」や「工事」の段階であり、現段階では海辺の魅力向上に十分つながらなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

これまでも実施してきた海辺のにぎわいを創出している花火大会や千葉ポートタワー・ポートパーク、3つの海浜公園エリアなどでの各種イベントについては、今後も市民に積極的に周知し開催していく。  
また、第2次実施計画事業「稲毛海浜公園の再整備」の取組みを着実に進めるとともに、「千葉中央港地区まちづくりの推進」の取組みとして、旅客船さん橋、港湾緑地、ターミナル等が平成27年度末に一部完成予定であることから、本市の新たな海の玄関口として市民のにぎわいや憩いのある親水空間を提供するため、周辺施設と連携したイベントの開催や旅客船の運航などを実施していくことで、市民への海辺のイメージ向上を図る。  
さらに、稲毛～幕張海浜エリアを魅力的で活気あふれるエリアとするため、「海辺のグランドデザイン」を平成27年度末までに策定する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	—	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	—	調査	調査	調査	達成	
3	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船さん橋の整備	港湾施設基礎工事	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	達成	476,554
4	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ（来場者数）	—	30万人	30万人	30万人	達成	48,000
2	千葉ポートタワー管理運営	管理運営（入場者数）	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
3	稲毛海浜公園管理運営	管理運営	実施	実施	実施	実施	達成	0
4	千葉市民産業まつり開催	千葉湊大漁まつり（来場者数）	—	5万人	5万人	6万人	達成	3,000



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	6

施策の柱	1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

指標名	この1年間に、レジャーなどで市内の海辺を訪れたことがある	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	44.0	47.0	50.0	×
現状値	41.4	38.9	—	—	

目標設定 の考え方	中央港地区の旅客船さん橋の整備や人工海浜を生かした取組みを推進することで、海辺に足を運ぶ機会を増やすことを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
魅力ある海辺空間を創出するため、その他事業の幕張海浜公園での「花火大会開催（幕張ビーチ花火フェスタ）」や、千葉ポートタワー・ポートパークでの「千葉市民産業まつり開催（千葉湊大漁まつり）」など、にぎわいを創出するイベントを開催してきた。また、計画事業「千葉中央港地区まちづくりの推進（旅客船の運航）」では、工場夜景クルーズや高速ジェット船クルーズなど、海上交通の運行実験を継続的に実施し、市民が海辺を訪れる機会を提供してきた。 H26末では、幕張ビーチ花火フェスタなどのイベントの来場者数は目標を達成し、ポートタワーの入場者数も目標は達成できなかったものの増加傾向である。また、稲毛海浜公園の利用者数も約5万人増加しているが、計画事業「稲毛海浜公園の改修」や「千葉中央港地区まちづくりの推進（旅客船さん橋の整備）」などのハード整備については、26年度末時点で「実施設計」や「工事」の段階であり、「海辺に足を運ぶ機会を増やす」ことにつながらなかったと考えられる。また、今まであまり海辺を訪れたことのない市民に対し、海辺を訪れる機会の提供も不十分だったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
これまで実施してきた花火大会や千葉ポートタワー・ポートパーク、3つの海浜公園エリアなどでの各種イベントについては、今後も市民に積極的に周知し開催していく。 また、第2次実施計画事業「稲毛海浜公園の再整備」の取組みを着実に進めるとともに、「千葉中央港地区まちづくりの推進」の取組みとして、旅客船さん橋、港湾緑地、ターミナル等が平成27年度末に一部完成予定であることから、本市の新たな海の玄関口として市民に、にぎわいや憩いのある親水空間を提供するため、周辺施設と連携したイベントの開催や旅客船の運航などを実施していくことで、市民が海辺を訪れる機会を提供していく。 さらに、稲毛～幕張海浜エリアを魅力的で活気あふれるエリアとするため、「海辺のグランドデザイン」を平成27年度末までに策定する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	—	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	—	調査	調査	調査	達成	
3	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船さん橋の整備	港湾施設基礎工事	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備	達成	476,554
4	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ（来場者数）	—	30万人	30万人	30万人	達成	48,000
2	千葉ポートタワー管理運営	管理運営（入場者数）	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
3	稲毛海浜公園管理運営	管理運営	実施	実施	実施	実施	達成	0
4	千葉市民産業まつり開催	千葉湊大漁まつり（来場者数）	—	5万人	5万人	6万人	達成	3,000

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－1 公園緑地の充実

指標NO	7
------	---

指標名	身近な公園に親しみをを感じる	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	58.0	62.0	65.0	✕
現状値	54.7	50.8	—	—	

目標設定 の考え方	住民が公園を地域活動の場として積極的に活用できるよう取り組むとともに、公園の計画的な整備や遊具更新を進めることで、身近な公園に対する関心を高めることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
身近な公園に対する関心を高めるため、計画事業を実施してきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 市民1万人アンケートの結果をみると、性別集計では、男性・女性ともに減少。年齢別集計では、10代のみ増加(+8%)。市内在住期間別では、全区分が減少。居住 区別集計では、緑区が大きく減少(-11.2%)。との結果であった。 地域活動の場としての活用については、これまでと大きな変化は感じられない。 計画事業として、「身近な公園のリフレッシュ推進」による遊具更新や「公園緑地の整備（新規公園整備）」に取り組み、目標を達成又は概ね達成しているが、遊具 更新については、公園の部分的な変化であり、また、新規公園整備は年1か所の整備に留まっており、多くの人の印象を変えるまでには至っていない可能性があ る。
【課題及び今後の取組みの方向性】
身近な公園に親しみを感じてもらうには、地域において、公園の存在が魅力的な空間であることが重要であり、市が地域の声に応えらるとともに、地域とともに空間を 維持することが必要である。 そのために、引き続き、第2次実施計画事業において、「身近な公園のパークマネジメントの推進」を実施し、地域と連携した取組みを推進する。 また、計画的な公園の整備や遊具更新についても、継続的に取り組む。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	身近な公園のリフレッシュ推進	長寿命化計画に基づく遊具撤去	—	196基	196基	162基	概ね達成	200,860
2	身近な公園のリフレッシュ推進	長寿命化計画に基づく遊具設置	—	211基	211基	209基	概ね達成	
3	公園緑地の整備（街区公園（身近な公園））	街区公園（身近な公園）	—	整備 3か所	整備 3か所	整備 3か所	達成	2,149,382
4	パークマネジメントの推進	パークマネジメント	—	12公園	12公園	15公園	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	8

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－1 公園緑地の充実

指標名	緑豊かでレクリエーションを楽しめる大きな公園が充実している	単位	%
-----	-------------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	57.0	59.0	60.0	✕
現状値	55.4	55.1	—	—	

目標設定 の考え方	蘇我スポーツ公園の整備や各公園の特長を生かした利用促進を図るなど、大規模公園の充実を図ることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
大規模公園の充実を図るため、施設の改修・修繕を行ってきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 アンケート結果をみると、肯定的評価の「そう思う」と否定的評価の「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」が共に増加しており、施設情報を知っている人は肯定的に、公園の存在を知らない人は否定的な意見に流れているのではないかと考えられる。 年齢別集計では、20代と70代が低い（50％未満）が、10代が高く（約60％）、その他の年代も50～60％となっており、利用頻度が高い年代層（20代と70代を除く）は肯定的意見が多い。 区別集計では、花見川区、稲毛区、若葉区が50％未満と低く、中央区が55％、緑区、美浜区が70％と高くなっている。肯定的な回答が多い区は大規模公園（レクリエーション施設）が充実している傾向にあり、肯定的な回答が少ない区においてもレクリエーション施設は（いくつかの公園に分散するなど）整備されているが、施設の認知度が影響していると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現状値は対H23末値と比較してほぼ横ばいの微減である。今後、第2次実施計画事業「公園緑地の整備（蘇我スポーツ公園）」を通じ、レクリエーション施設の充実を図る。また、稲毛海浜公園や動物公園のリニューアルなど既存公園施設更新を着実に進めるとともに、公園施設のPR等を工夫するなど、市民の満足度の向上に努めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	—	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	—	調査	調査	調査	達成	
3	公園施設の改修	昭和の森（テニスコートの改修）	調査	2面	2面	2面	達成	101,704
4	公園施設の改修	動物公園（インフラ設備の改修）	—	污水处理場等修繕	污水处理場等修繕	污水处理場等修繕	未達成	
5	公園施設の改修	泉自然公園（手すり設置）	756m	162m	918m	874m	未達成	
6	有料公園施設の修繕	稲毛海浜公園（花の美術館設備）	—	温室設備改修	温室設備改修	温室設備改修	達成	34,125
7	有料公園施設の修繕	千葉公園体育館の耐震化	—	基本設計、実施設計	実施設計	休止	休止	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－1 公園緑地の充実

指標NO	9
------	---

指標名	地域で日常管理・運営を行う公園数	単位	公園
-----	------------------	----	----

指標の説明	地域による日常的な公園の管理・運営を促進し、地域にとって魅力ある公園づくりを行っている公園数	担当局（区）	都市局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	451	469	500	✕
現状値	439	433	－	－	

目標設定 の考え方	パークマネジメントやボランティア活動の促進により地域が管理・運営に関わる公園数の増加を図る。
--------------	--

【達成状況の分析】 地域が公園の管理・運営に関わる機会を増やす取組みを行ってきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 計画事業「パークマネジメントの推進」や「市民との協働による公園管理」については、目標を達成した一方で、身近な公園において花壇づくりなどを行う花いっぱい地域活動の推進については、地域活動するメンバーの高齢化により、継続が難しい団体が発生している。 このように、様々な地域活動の継続や拡充においては、メンバーの確保に課題が生じており、このことが結果として、地域で日常管理・運営を行う公園数の減少にも繋がっている。
【課題及び今後の取組みの方向性】 第2次実施計画事業においても、引き続きパークマネジメントを推進するとともに、公園における各種活動に対する支援や公園利用における手続きの簡素化など活動に係るインセンティブの検討を行う。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	パークマネジメントの推進	パークマネジメント	－	12公園	12公園	15公園	達成	0
2	市民との協働による公園管理	千葉公園(ボランティアによる花壇管理)	6か所	4か所	10か所	10か所	達成	876
3	市民との協働による公園管理	昭和の森(ボランティアによる花壇管理)	5か所	2か所	7か所	7か所	達成	
4	市民との協働による公園管理	泉自然公園(ボランティアガイドの養成)	－	15人	15人	25人	達成	
5	市民との協働による公園管理	花島公園(写真展の開催)	1回／年	3回／年増	4回／年	3回／年	未達成	
6	花いっぱい地域活動の推進	活動団体	441団体	9団体/年増	468団体	442団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－1 公園緑地の充実

指標NO	10
------	----

指標名	大規模な公園の利用者数	単位	万人
-----	-------------	----	----

指標の説明	蘇我スポーツ公園、千葉公園などの大規模な公園の年間利用者数	担当局（区）	都市局
-------	-------------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	309	326	350	◎
現状値	291	315	－	－	

目標設定 の考え方	公園の整備やバリアフリー化、施設の更新などのハード施策や、公園の利活用を促進するイベントなどのソフト施策の充実により公園の魅力を向上し、利用者の増加を図る。
--------------	--

【達成状況の分析】
公園の整備や施設の改修を推進したことにより、平成26年度末目標値を達成することができた。 主な要因としては、計画事業「公園緑地の整備（蘇我スポーツ公園）」により、平成26年4月に新たにフクダ電子フィールドが開設したことや、H23年4月開設のフクダ電子ヒルスコートの利用者が徐々に増加したこと、また、千葉公園スポーツ施設の利用者増などが、年間利用者数の増と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現状値は目標値を達成している状況であるが、今後は、海辺の活性化の取組みとして、第2次実施計画事業「稲毛海浜公園の再整備」を推進することや、「公園緑地の整備」として、平成33年度末を整備終了年度としている蘇我スポーツ公園の完成を始め整備中の公園の整備を推進すること、さらには公園施設の修繕を進め利用しやすい環境を整えることにより、利用者の増加を図ることとする。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	稲毛海浜公園の改修	ヨットハーバーの浚渫	－	測量・実施設計	実施設計	実施設計	達成	5,756
2	稲毛海浜公園の改修	検見川の浜活性化施設整備	－	調査	調査	調査	達成	
3	公園施設の改修	昭和の森（テニスコートの改修）	調査	2面	2面	2面	達成	
4	公園施設の改修	動物公園（インフラ設備の改修）	－	污水处理場等修繕	污水处理場等修繕	污水处理場等修繕（先送り）	未達成	101,704
5	公園施設の改修	泉自然公園（手すり設置）	756m	162m	918m	874m	未達成	
6	有料公園施設の修繕	稲毛海浜公園（花の美術館設備）	－	温室設備改修	温室設備改修	温室設備改修	達成	34,125
7	有料公園施設の修繕	千葉公園体育館の耐震化	－	基本設計、実施設計	実施設計	休止	休止	
8	公園緑地の整備（花島公園）	花島公園	供用 17.7ha	整備（緑園ゾーンの一部） 約3.0ha	供用 20.7ha	供用 21.7ha	達成	2,149,382
9	公園緑地の整備（都川水の里公園）	都川水の里公園	供用 2.2ha	用地取得 0.6ha	供用 2.2ha	供用 2.2ha	達成	
10	公園緑地の整備（蘇我スポーツ公園）	蘇我スポーツ公園	供用 22.5ha	用地取得 約3.3ha 第3駐車場・第1多目的グラウンドの整備 4.1ha	供用 26.6ha	供用 53.6ha	達成	
11	市民との協働による公園管理	千葉公園（ボランティアによる花壇管理）	6か所	4か所	10か所	10か所	達成	876
12	市民との協働による公園管理	昭和の森（ボランティアによる花壇管理）	5か所	2か所	7か所	7か所	達成	
13	市民との協働による公園管理	泉自然公園（ボランティアガイドの養成）	－	15人	15人	25人	達成	
14	市民との協働による公園管理	花島公園（写真展の開催）	1回／年	3回／年増	4回／年	3回／年	未達成	
15	QVCマリンフィールドの充実	施設改修	トイレ改修、人工芝張替	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム、照明制御装置	達成	629,490

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－2 都市緑化の推進

指標NO	11
------	----

指標名	まちなかに緑が多い	単位	%
-----	-----------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	52.0	53.5	55.0	○
現状値	50.5	51.4	—	—	

目標設定 の考え方	緑化協定の推進や屋上・壁面緑化助成の利活用により、まちなかの緑の増加を図ることを目指し、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
まちなかの緑の増加を図るための各種取組を実施してきたが、平成26年末度目標値に到達しなかった。 主な原因としては、計画事業「工場・事業所等の緑化の推進」については、概ね達成したが、「緑地協定の推進」や「中心市街地の緑化の推進」については、緑地協定の認可申請団体が少なく、未達成となっており、また、屋上・壁面緑化の助成申込数が伸びず、まちなかの緑の増加に寄与しなかったためと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
第2次実施計画においても、引き続き、緑地協定や緑化協定の締結を推進するほか、屋上・壁面緑化助成制度の見直しを図り、まちなかの民有地の緑地確保を進める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	緑地協定の推進	緑地協定の認可	175地区	2地区/年増	181地区	176地区	未達成	0
2	工場・事業所等の緑化の推進	緑化協定の締結数	841件	5件/年増	856件	854件	概ね達成	0
3	緑化意識の普及啓発	緑のカーテンの実施（公共施設）	228か所	20か所/年増	288か所	175か所	未達成	0
4	中心市街地の緑化の推進	屋上・壁面緑化への助成	—	5件/年	15件	助成 2件	未達成	912

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	12

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－3 花のあふれるまちづくりの推進

指標名	日頃、花作りや植樹などの緑化活動を行っている	単位	%
-----	------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	23.0	24.0	25.0	✕
現状値	21.1	15.3	－	－	

目標設定 の考え方	花壇づくりの団体活動を支援することで、市民の参加機会を広げることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
計画事業「花いっぱい地域活動の推進」などにより、花壇づくりを行う活動団体の支援を行い、市民の花作りや植樹などの参加機会を増やす取組みを行ってきたが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 平成23年末現況と比較して、市民との協働による公園内の花壇管理数は増加し、花いっぱい地域活動における活動団体数は維持しているものの、平成26年末目標値に達しなかった要因として、市民の緑への関心や意識が低下していると推察され、市民自らが緑化活動を行う機会が減っていると考えられる。
第2次実施計画においても、引き続き「花いっぱい地域活動の推進」を実施し、市民の緑化活動の参加機会を増やしていく。また、集合住宅の公共空間でも活動可能な「緑と花のコンテスト実施（花壇コンクール）」や花苗助成事業への参加団体数を増加させるため、ホームページを積極的に活用するなど募集案内の工夫に努めるほか、地域で率先して緑化活動を行う「緑と花の地域リーダー」の養成に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民との協働による公園管理	千葉公園（ボランティアによる花壇管理）	6か所	4か所	10か所	10か所	達成	876
2	市民との協働による公園管理	昭和の森（ボランティアによる花壇管理）	5か所	2か所	7か所	7か所	達成	
3	花いっぱい地域活動の推進	活動団体	441団体	9団体/年増	468団体	442団体	未達成	0
4	緑と花の人材育成と活動拠点づくりの推進	緑と花の地域リーダーの育成	135名	30名増	165名	159名	概ね達成	0
5	緑と花のコンテストの実施	花壇コンクール参加団体	70団体	5団体/年増	85団体	49団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	13

施策の柱	1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る
施策	1－2－3 花のあふれるまちづくりの推進

指標名	花いっぱい市民活動団体数	単位	団体
-----	--------------	----	----

指標の説明	花いっぱい市民活動助成事業の配布苗等の助成団体数	担当局（区）	都市局
-------	--------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	468	477	489	△
現状値	441	442	－	－	

目標設定 の考え方	花苗の配布や情報提供等の活動支援により、団体の増加を図る。
--------------	-------------------------------

【達成状況の分析】 計画事業「花いっぱい地域活動の推進」により、花壇づくりを行う活動団体の支援を行ってきたが、平成26年末目標値に到達しなかった。 主な原因としては、花苗助成数の縮小による活動団体の減少や花壇活動を行う団体のメンバーの高齢化のため、活動継続が困難となる事例が発生したことなどが考えられる。ただし、新たな活動団体も毎年20件ほど登録されており、実績数値はH23と変動は少ない。
【課題及び今後の取組みの方向性】 第2次実施計画においても、「花いっぱい地域活動の推進」を引き続き推進し、ホームページで募集案内を図るなどPRに努めるとともに、新たな花壇活動団体の育成のため、地域で率先して緑化活動を行う「緑と花の地域リーダー」の養成に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	花いっぱい地域活動の推進	活動団体	441団体	9団体/年増	468団体	442団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	14
------	----

指標名	日頃、省エネルギーに取り組んでいる	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局（区）	環境局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	72.0	76.0	80.0	✕
現状値	67.0	56.3	－	－	

目標設定 の考え方	低炭素社会の実現に向け、大多数の市民が省エネルギーに取り組む社会の形成を目指し、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
平成23年度当時は23年3月に発生した、東日本大震災、また、これに伴う原子力発電事故により、計画停電等や電力の安定供給が懸念されたことから、社会全体が省エネルギーに取り組む機運が高まっていた。 26年度は震災から3年以上経過し、また、電力の安定供給の懸念が低くなったことから、市民の省エネルギーに対する関心は、23年度と比較し、やや低くなったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市内の家庭における温室効果ガス排出量は増加傾向であり、低炭素社会の実現には市民の省エネルギーに取り組む意識の向上は重要である。 九都県市や千葉市地球温暖化対策地域協議会等と連携し、引き続き節電や省エネキャンペーンなどの啓発活動を実施する。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地球温暖化対策の推進	地球環境保全協定の締結	900社	150社	1,050社	910社 ★	未達成	0
2	環境配慮活動の推進	環境マネジメントシステムの適用	230施設	290施設	520施設	470施設	概ね達成	0
3	緑化意識の普及啓発	緑のカーテンの実施（公共施設）	228か所	20か所/年増	288か所	192か所	未達成	0
4	中心市街地の緑化の推進	屋上・壁面緑化への助成	—	5件/年	15件	助成 2件	未達成	912

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境カレンダー作成事業	作成配布	18,000部	72,000部	24,000部	24,000部	達成	4,659
2	環境月間記念事業	環境フェスティバル（参加者数）	166人	1,500人	500人	401人	未達成	400
3	地域環境保全自主活動事業補助金	補助金交付	3団体	22団体	8団体	2団体	未達成	729
4	環境教育等推進	公民館講座実施支援（参加者数）	133人	450人	180人	130人	未達成	244
5	環境教育教材作成	副教材配布	各10,000部	各29,000部	各9,500部	各9,500部	達成	4,158

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	15
------	----

指標名	温室効果ガス排出量削減率	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	市内の産業部門をのぞく温室効果ガス排出量の基準年度(2007年度)に対しての削減割合	担当局(区)	環境局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	—	平成28年度以降に 目標値設定	平成28年度以降に 目標値設定	
現状値	6.8	3.0	—	—	

目標設定 の考え方	国の温暖化対策を踏まえて、今後本市における温暖化対策にかかる目標設定を行う。
--------------	--

【達成状況の分析】 「現状値は26年度末に確定した24年度の排出量であり、中間評価の27年度の数値が確定するのは29年3月となる」 市域から排出される温室効果ガスを減らすため、「太陽光発電設備設置助成の推進」や「公共施設への太陽光発電設備の推進」など、再生可能エネルギーの利用促進を図っているところである。 しかしながら、原子力発電施設の稼働停止に伴い、火力発電施設の稼働割合が高まっていることから、単位電力量に対する二酸化炭素排出量は増加しており、温室効果ガス排出量に大きく影響していると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 国が2030年までの温室効果ガスの排出削減目標及び電源構成比率を示したことから、様々な施策が講じられることが期待される。 市においてもこれを踏まえ、新たに「千葉市地球温暖化対策実行計画」を策定し、太陽光発電設備設置費助成など、これまでの事業を引き続き推進するとともに、温室効果ガス排出量の削減の施策を講じる。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地球温暖化対策の推進	地球環境保全協定の締結	900社	150社	1,050社	910社 ★	未達成	0
2	環境配慮活動の推進	環境マネジメントシステムの適用	230施設	290施設	520施設	470施設	概ね達成	0
3	再生可能エネルギーの推進	再生可能エネルギー設備の設置促進	—	調査 専門委員会の設置・運営 設置促進	設置促進	設置促進	達成	2,323
4	太陽光発電設備設置助成の推進	助成件数 (戸建) (分譲マンション)	1,048件 —	500件／年 1件／年	2,548件 3件	(戸建) 2,689件 (分譲マンション) 0件	概ね達成	170,555
5	太陽熱利用給湯システム設置助成の推進	助成件数	—	50件/年	150件	個人住宅 35件	未達成	2,620
6	公共施設への太陽光発電設備設置の推進	公共施設への太陽光発電設備の整備	27か所	6か所	33か所	43か所	達成	0
7	下水道施設の地球温暖化対策	南部浄化センター消化タンク	躯体完了	電気設備・消化ガス機械設備 攪拌機機械・電気設備 改造	電気設備・消化ガス機械設備 完了 攪拌機機械・電気設備 改造 完了	南部浄化センター消化タンク 電気設備・消化ガス機械設備 完了 攪拌機機械・電気設備 改造 完了	達成	2,599,823
8	自動車公害防止対策の推進	低公害車導入の助成	25台	18台	43台	28台	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境カレンダー作成事業	作成配布	18,000部	72,000部	24,000部	24,000部	達成	4,659
2	環境月間記念事業	環境フェスティバル (参加者数)	166人	1,500人	500人	401人	未達成	400

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	16
------	----

指標名	再生可能エネルギー等の導入量	単位	メガワット
-----	----------------	----	-------

指標の説明	市域に導入された再生可能エネルギー等(太陽光発電設備及びコージェネレーションシステム)の導入量	担当局(区)	環境局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	336	518	700	△
現状値	148	205	—	—	

目標設定の考え方	市域の住宅や市有施設などへの太陽光発電設備やコージェネレーションシステムの導入を促進することとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
分譲マンションへの補助実績はないものの「太陽光発電設備設置助成の推進」や「公共施設への太陽光発電設備の推進」など、再生可能エネルギー設備の設置促進は着実に推進し、再生可能エネルギー等の導入量も年々増加しているが、目標値を達成できなかった。 なお、「太陽光発電設備設置助成の推進」の進捗については、分譲マンションは共用部分(集会所やエントランス等)に係る設備を対象とした助成であり、戸建と分譲マンションの1件あたりの助成施設規模は最大3kWと同等であるため、分譲マンションの助成件数のH26年目標は「未達成」であるものの、「再生可能エネルギー等の導入量」の観点から件数全体での進捗とし「概ね達成」としている。 このように、指標を構成する事業は「達成」や「概ね達成」の進捗ではあるが、目標値まで到達しなかった原因として、すでに国の設備認定を受けている太陽光発電設備のうち、実際に稼働している設備は3割程度(26年度末)であり、設備認定を受けたうえで着工に入らない事業者が存在することが原因の一つと考えられる。
再生可能エネルギーの推進を目的に策定した「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」を基に、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設備の設置、太陽光発電ビジネスマッチング事業等により、再生可能エネルギー等の導入量の増加に努める。

指標を構成する事業

計画事業								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	再生可能エネルギーの推進	再生可能エネルギー設備の設置促進	—	調査 専門委員会の設置・運営 設置促進	設置促進	設置促進	達成	2,323
2	太陽光発電設備設置助成の推進	助成件数 (戸建) (分譲マンション)	1,048件 —	500件／年 1件／年	2,548件 3件	(戸建) 2,689件 (分譲マンション) 0件	概ね達成	170,555
3	公共施設への太陽光発電設備設置の推進	公共施設への太陽光発電設備の整備	27か所	6か所	33か所	43か所	達成	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
-----	-----	--------	--------	-------------	--------	--------	----	-------------

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	17
------	----

指標名	日頃、ごみの量を減らすことや、リサイクルに取り組んでいる	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	環境局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	74.0	77.5	80.0	△
現状値	69.7	69.9	—	—	

目標設定 の考え方	ごみの一層の減量と、安定かつ継続的なごみ処理体制の確立を目指し、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
焼却ごみ1/3削減を目標に掲げ、「ごみ減量「ちばルール」の推進」や「3R教育・学習の推進」により、市民や事業者とごみの排出削減の取組みを推進し、事業進捗は概ね順調だった一方で、「ごみ減量・再資源化の推進」の事業進捗は未達成だった。特に、ごみ資源・再資源化の推進のうち家庭用生ごみ処理機器等購入助成の取組みについて、補助額の引き上げを行い制度の拡充を行ったが、申請数が伸びなかったこともあり、指標の向上につながらなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
目標未達成事業である、ごみ減量「ちばルール」の推進（商店会との協定締結）及びごみ減量・再資源化の推進事業（①家庭用生ごみ処理機器等購入助成 ②生ごみ分別収集 ③剪定枝等循環システム）について、積極的に広報等を行い、ごみの減量・再資源化に努める。 また、ごみ減量・再資源化活動の顕著な団体への表彰を継続して行うとともに、分別説明会の開催により、参加団体の分別促進を図る。あわせて、第2次実施計画事業の集団回収未登録団体への説明会の開催により、新規登録の促進を図り、再資源化を推進する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	—	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達成	0
4	3R教育・学習の推進	チャレンジ1000による自治会への説明会	867自治会	201自治会	1,068自治会	1,068自治会	達成	0
5	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
6	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集(4地区)	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
7	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	—	13トン	13トン	0トン	未達成	
8	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	—	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	GO！GO！へらそうくん発行事業	発行部数	347,000部	1,080,000部	360,000部	324,000部	概ね達成	7,588
2	ごみ減量啓発冊子製作事業	発行部数	20,000部	13,500部	4,500部	0部	中止	0
3	ごみ分別スクール	ごみ分別スクール	118校(参加児童数8,937人)	市内小学校117校/年	市内全小学校	市内全小学校(114校)	達成	7,410



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	18
------	----

指標名	市民1人1日あたりのごみ排出量	単位	g/人・日
-----	-----------------	----	-------

指標の説明	ごみ総排出量(資源物を含む)の年間値を人口、日数(365日または366日)で除した値	担当局(区)	環境局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	1,047	1,045	1,043	○
現状値	1,094	1,051	—	—	

目標設定 の考え方	家庭ごみ手数料徴収の導入検討や、さらなるごみの分別や再資源化に向けた取組みなどにより、排出量の削減を図ることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 ごみ減量「ちばルール」の推進や3R教育・学習の推進等の啓発事業に加えて、家庭ごみ手数料徴収制度の導入により、ごみ排出量は平成23年度と比べて大幅に削減し、平成26年度末のごみ排出量は目標値を僅かに上回ったものの、概ね目標を達成した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 目標は概ね達成できたものの、目標未達成となっている事業があることから、該当事業について積極的に広報するとともに、平成29年3月の「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の改定に向けて、さらなるごみ減量施策の検討を行う。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	—	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達成	0
4	3R教育・学習の推進	チャレンジ1000による自治会への説明会	867自治会	201自治会	1,068自治会	1,068自治会	達成	0
5	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
6	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集(4地区)	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
7	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	—	13トン	13トン	0トン	未達成	
8	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	—	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	GO！GO！へらそうくん発行事業	発行部数	347,000部	1,080,000部	360,000部	324,000部	概ね達成	7,588
2	ごみ減量啓発冊子製作事業	発行部数	20,000部	13,500部	4,500部	0部	中止	0
3	ごみ分別スクール	ごみ分別スクール	118校(参加児童数8,937人)	市内小学校117校/年	市内全小学校	市内全小学校(114校)	達成	7,410

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	19
------	----

指標名	ごみの再生利用率	単位	%
-----	----------	----	---

指標の説明	ごみ総排出量（資源物を含む）に対する再生利用量の割合	担当局（区）	環境局
-------	----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	33.8	34.6	35.0	○
現状値	32.0	33.7	—	—	

目標設定 の考え方	古紙・布類の再資源化のさらなる取組みにより値の向上を図ることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 ごみ減量「ちばルール」の推進等の啓発事業に加えて、家庭ごみ手数料徴収制度の導入により、平成26年度末の再生利用率は34.2%となり、目標を達成できた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 計画事業の「古紙・布類の資源化の推進」等目標未達成となっている事業について積極的に広報し、目標達成を目指すとともに、平成29年度の「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の改定に向けて、さらなる再生利用率向上のための施策の検討を行う。 また、ごみ減量・再資源化活動の顕著な団体への表彰を継続して行うとともに、分別説明会の開催により、参加団体の分別促進を図る。あわせて、第2次実施計画事業の集団回収未登録団体への説明会の開催により、新規登録の促進を図り、再資源化を推進する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	—	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
4	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集（4地区）	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
5	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	—	13トン	13トン	0トン	未達成	
6	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	—	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新浜リサイクルセンター管理運営	新浜リサイクルセンター管理運営	実施	実施	実施	実施	達成	0
2	新浜リサイクルプラザ	施設見学の受入（工場の運転状況の見学者数）	1,400名/年	4,200名	1,400名/年	648名/年	未達成	0



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－3 良好な生活環境の確保

指標NO	20
------	----

指標名	市内の空気や川などの水はきれいだと感じる	単位	%
-----	----------------------	----	---

担当局 (区)	環境局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	29.0	35.0	40.0	○
現状値	23.0	27.3	—	—	

目標設定 の考え方	良好な生活環境の確保は重要であることから、二酸化窒素の削減や、工場・事業場への立入指導などを通じて値の向上を図ることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
目標値には到達しなかったが、平成23年から4.3%の上昇が見られ、低公害車の普及などによる良好な大気環境づくりや、合流式下水道の改善など水環境づくりを推進する施策により、周辺環境がきれいと感じる市民が増加していると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
中間評価値は4.3ポイント上昇しており、大気環境や水環境は全体的に改善傾向であり、「周辺環境がきれい」と感じる市民が増加している。一方、光化学スモッグの発生要因である光化学オキシダントは、環境目標値未達成、微小粒子状物質(PM2.5)についても環境目標値の達成率が約45%と低い状況にあり、今後も関連事業をより一層推進し、目標の達成を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大気環境測定の充実	PM2. 5(微量粒子状物質)の成分分析	—	1地点 4回／年	1地点 4回／年	1地点 4回／年	達成	15,600
2	水環境保全対策の推進	河川浄化実践活動	3水域	2水域	5水域	6水域 ★	達成	0
3	川や海の水質保全(合流式下水道の改善)	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池 (機械・電気設備工事)、増補管工事	改善完了	改善完了	達成	1,594,659
4	川や海の水質保全(高度処理施設の整備)	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 汚泥処理施設撤去	達成	2,223,245

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	118件	120件／年	120件	121件／年	達成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	100%	100%	100%	100%	達成	35,654
3	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	61. 6%	65. 6%	80%	71.6%	未達成	806
4	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定(排出基準の順守達成状況)	100%	100%	100%	100%	達成	2,513

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－3 良好な生活環境の確保

指標NO	21
------	----

指標名	大気環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成4項目）	単位	%
-----	-----------------------------	----	---

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で達成している4項目の達成割合（二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、降下ばいじん）	担当局（区）	環境局
-------	--	--------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	現状維持 （100）	現状維持 （100）	現状維持 （100）	◎
現状値	100	100	—	—	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で達成している4項目について、各種取組みを通じ、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す。
----------	--

【達成状況の分析】 4項目は、全ての測定局で環境目標値を達成している。工場・事業場への立入検査等により、低硫黄燃料の使用や、ばい煙排出を抑制したこと、自動車排ガスが改善傾向にあることが理由と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、工場・事業場に対し、環境関係法令等に基づき、立入検査等を実施し、大気汚染物質の排出抑制を推進する。また、低公害車の普及を促進し、自動車由来の大気汚染物質の排出を抑制する。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	61.6%	65.6%	80%	71.6%	未達成	806
2	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定 （排出基準の順守達成状況）	100%	100%	100%	100%	達成	2,513

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－3 良好な生活環境の確保

指標NO	22
------	----

指標名	大気環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成3項目）	単位	%
-----	------------------------------	----	---

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で未達成である3項目の達成割合（二酸化窒素、微小粒子状物質、光化学オキシダント）	担当局（区）	環境局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	—	33.3	66.6	
現状値	0	33.3	—	—	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で未達成となっている二酸化窒素（NO2）、微小粒子状物質（PM2.5）及び光化学オキシダントの3項目について、各種取組みを通じ、今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】 二酸化窒素は緩やかな良化傾向を示しており、平成26年度末に監視開始後初めて、全測定局で環境目標値を達成した。 微小粒子状物質（PM2.5）は平成23年度から監視を開始し、年々良化傾向を示しており、平成26年度末にこれまで最高の44.4%の達成率を示した。 光化学オキシダントは依然として全局未達成状況である。
【課題及び今後の取組みの方向性】 環境目標値の維持、達成のため監視活動を継続するとともに、次の取組みが必要である。 二酸化窒素については、引き続き環境目標値達成状態を維持できるよう、現行施策を継続していく。 微小粒子状物質（PM2.5）は、環境目標値の達成に向け、有効な排出削減対策を検討していく。 光化学オキシダントは、全測定局で環境目標値を達成していないことから、現行の施策を継続するとともに、国等の検討状況を注視し、原因物質削減に向けた新たな取組みを検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大気環境測定の充実	PM2.5（微量粒子状物質）の成分分析	—	1地点 4回／年	1地点 4回／年	1地点 4回／年	達成	15,600

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	61.6%	65.6%	80%	71.6%	未達成	806
2	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定（排出基準の順守達成状況）	100%	100%	100%	100%	達成	2,513

政策評価シート【個票：客観指標】


別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－3 良好な生活環境の確保

指標NO	23
------	----

指標名	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成31項目）	単位	%
-----	-------------------------------	----	---

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で達成している31項目の達成割合（カドミウムほか30項目）	担当局（区）	環境局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	現状維持 （100）	現状維持 （100）	現状維持 （100）	
現状値	100	100	—	—	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で達成している31項目について、各取組みを通じ、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】 平成23年度で達成している31項目については、各種取組の結果、全地点で環境目標値の達成を維持している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、現状維持のため、工場・事業場に対し、環境関係法令等に基づく立入検査等を実施、水質汚濁物質の排出の抑制を促すなど、現在推進している施策を継続していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	合併処理浄化槽の設置助成	合併処理浄化槽設置助成	3,409基	36基	3,445基	3,427基	未達成	0
2	川や海の水質保全（合流式下水道の改善）	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池（機械・電気設備工事）、増補管工事	改善完了	改善完了	達成	1,594,659
3	川や海の水質保全（高度処理施設の整備）	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 汚泥処理施設撤去	達成	2,223,245

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	118件	120件／年	120件	121件／年	達成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	100%	100%	100%	100%	達成	35,654
3	環境保全型農業推進（土壌診断業務）	土壌診断の実施	1,291検体／年	3,900検体	1,300検体／年	1,040検体／年	未達成	7,853

政策評価シート【個票：客観指標】


別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－3 良好な生活環境の確保

指標NO	24
------	----

指標名	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成5項目）	単位	%
-----	-------------------------------	----	---

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で未達成である5項目の達成割合（BOD、大腸菌群数、COD、全窒素、全りん）	担当局（区）	環境局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	20.0	－	40.0	
現状値	0	20.0	－	－	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で未達成となっている河川のBOD、大腸菌群数、海域のCOD、全窒素、全りんについて、各種取組みを通じ、今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】
河川のBODについては、下水道の整備や合併処理浄化槽の設置等の生活排水対策が進んだ結果、平成26年度は全ての測定地点で環境目標値を達成した。一方、それ以外の4項目については、環境目標値を達成できなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
河川の大腸菌群数が環境目標値を超過している原因としては、自然的要因と畜産排水の影響等が考えられる。現在、国において畜産排水以外の自然的要因にも影響してしまう「大腸菌群数」から畜産排水の影響をより判別できる「大腸菌数」へと評価方法の見直しが行われており、本市も「大腸菌群数」と「大腸菌数」の並行調査を行ったり、流域に対して測定地点を増やしたりするなどし、発生源について調査を継続している。 また、海域のCOD、全窒素、全りんについては、一部測定地点で達成することがあるものの、達成状況を安定して維持できていない。目標の達成に向けて、内陸部から流入する汚濁負荷量を削減する必要があることから、生活排水等を含めた対策を一層推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	合併処理浄化槽の設置助成	合併処理浄化槽設置助成	3,409基	36基	3,445基	3,427基	未達成	0
2	川や海の水質保全（合流式下水道の改善）	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池（機械・電気設備工事）、増補管工事	改善完了	改善完了	達成	1,594,659
3	川や海の水質保全（高度処理施設の整備）	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 污泥処理施設撤去	達成	2,223,245

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	118件	120件／年	120件	121件／年	達成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	100%	100%	100%	100%	達成	35,654
3	環境保全型農業推進（土壌診断業務）	土壌診断の実施	1,291検体／年	3,900検体	1,300検体／年	1,040検体／年	未達成	7,853



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－4 環境保全・創造活動の推進

指標NO	25
------	----

指標名	この1年間に、美化・環境保全活動をしたことがある	単位	%
-----	--------------------------	----	---

担当局（区）	環境局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	25.0	27.5	30.0	✕
現状値	22.5	21.0	－	－	

目標設定 の考え方	今後とも市民との協働による美化・保全活動を推進していくこととし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
「環境学習モデル校事業」を通じた環境保全活動や「美しいまちづくりに係る活動支援」としてボランティア活動者への清掃用具支給による美化活動の活性化を図ってきたが、幅広く市民に浸透しなかったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市民が美化・環境配慮活動に関心を持つよう、引き続き「環境学習モデル校事業」や「美しいまちづくりに係る活動支援」事業などを実施しつつ、「環境フェスティバル」や「区民まつり」などを活用した市民啓発を推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境学習・環境教育の推進	環境学習モデル校指定事業	小学校 96校 中学校 36校	小学校 18校 中学校 18校	小学校 114校 中学校 54校	小学校 114校 中学校 54校	達成	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	美しい街づくりに係る活動支援	ボランティア活動者への清掃用具支給	148団体	484団体	170団体	484団体	達成	4,063
2	地域環境保全自主活動事業補助金	補助金交付	3団体	22団体	8団体	2団体	未達成	729
3	環境教育等推進	公民館講座実施支援（参加者数）	133人	450人	180人	130人	未達成	244
4	環境教育教材作成	副教材配布	各10,000部	各29,000部	各9,500部	各9,500部	達成	4,158



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	26
------	----

指標名	日頃、健康づくりに取り組んでいる	単位	%
-----	------------------	----	---

担当局 (区)	保健福祉局
------------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	60.0	62.5	65.0	✕
現状値	56.2	51.3	—	—	

目標設定 の考え方	市民の健康の保持・増進のためには、市民一人ひとりの主体的な健康づくりの取組みが重要であることから、普及啓発や食生活の改善指導などを推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
指標を構成する事業の多くが事業目標を達成しているにも関わらず、「日頃、健康づくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合が低下している。この要因として、健康づくりの概念については、回答者の年代や性差、自身の行動の評価についても個人差があることから、事業の成果が現状値の上昇に直接結びつかなかったものと考えられる。 一方で、健康づくりと関連が深い「施策3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進」に関する指標「週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている」では、現状値が29.1%から29.7%に向上している。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現状値の低下要因を分析し、回答者の年代等にあわせた健康づくり行動への支援方法について検討を行い、市民の主体的な健康づくりを支援するため、引き続き健康づくりに関する普及啓発を行う。 また、関係部門や機関との連携により、スポーツやレクリエーションも健康づくりのための行動であることを周知する取組みや個人の手元に届く健康情報の提供方法等の充実を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	—	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	—	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	—	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	—	実施	実施	実施	達成	
6	がん検診の推進	大腸がん検診の無料クーポン券の送付	—	実施	実施	実施	達成	70,248
7	食育推進計画の策定	計画の策定	—	策定	策定	策定	達成	1,683

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催(参加者数)	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等(参加者数)	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	がん検診	がん検診の実施(市検査分の受診率)	25.8%	27.3%	27.3%	26.6%	未達成	70,248
5	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%(H26年度)	39.0%	33.1%(見込み)	未達成	1,424,568
6	健康づくりプロジェクト	介護予防事業(参加者数)	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	27
------	----

指標名	特定健康診査実施率	単位	%
-----	-----------	----	---

指標の説明	国民健康保険被保険者(40歳以上75歳未満)を対象とした特定健康診査の実施率	担当局(区)	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	39.0	45.0	H30に 目標値設定	△
現状値	32.5	33.4	—	—	

目標設定の考え方	疾病リスクの高い者の早期発見や生活習慣病の予防を推進するため、受診勧奨や普及啓発活動の実施などにより実施率の向上を目指すこととして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
市政だよりやポスター等による周知に加え、対象者への受診券をがん検診受診券と同時発送してがん検診との同時受診を促すことや、未受診者に対し勧奨はがきを送付するなど、事業周知と受診勧奨に努めているが、目標とする受診率は達成できていない。 「健診への無関心層」は、自らの身体状態を把握して健康を保つことへの意識の低さ、自らの健康への過信、といった背景を持つと考えられるが、これらの層に対し、有効な働きかけができていない。
【課題及び今後の取組みの方向性】
「健診への無関心層」への働きかけに重点を置き、事業周知や受診勧奨の内容を生活習慣病の危険性と健診の大切さを訴えるものとするよう工夫する。それにより、未受診者を受診に導きつつ、毎年の継続受診を促す。 特に、生活習慣病リスクが高まり始める40～50歳代の未受診者については、重点的に電話による勧奨も行う。 また、健診等のデータを分析して、より高い効果が得られる取組みを検討し、実施していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特定健康診査の充実	検査項目の追加	—	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	追加(血清クレアチニン、尿酸) 対象者の拡充(ヘモグロビンA1c)	達成	78,961
2	特定健康診査の充実	訪問指導	—	実施	実施	実施	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%(H26年度)	39.0%	33.4	未達成	1,424,568

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	28
------	----

指標名	がん検診受診率	単位	%
-----	---------	----	---

指標の説明	がん検診を受けた市民の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	---------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	41.4	44.0	50.0	◎
現状値	38.7	46.4	－	－	

目標設定の考え方	がんの早期発見・早期治療を図ることにより、市民の健康寿命の延伸を図るため、検診の受診率の向上を目指すこととして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
受診率は、目標値に達しなかったものの、クーポン券の送付を行うことで、検診初回受診者は増加しており、一定の効果があったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き受診率の向上を図るため、各種集団検診会場において、大腸がん検診の容器等を積極的に配布し、受診促進を行う。また、未受診者に対し再度の受診勧奨を実施する等、個別に通知を行うことで受診率向上を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	がん検診の推進	大腸がん検診の無料クーポン券の送付	－	実施	実施	実施	達成	70,248

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	がん検診	がん検診の実施（市検査分の受診率）	25.8%	27.3%	27.3%	26.6%	未達成	70,248

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	29
------	----

指標名	肥満者の割合（男性）	単位	%
-----	------------	----	---

指標の説明	20歳～60歳代男性の肥満者（BMI25以上）の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	----------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	－	26.0	25.0	
現状値	28.0	－	－	－	

目標設定の考え方	健全な食生活や運動習慣に関する普及啓発を行い、肥満者の割合の更なる減少を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 29年度の「すこやか未来都市ちばプラン」の中間評価に併せて、現状値の把握を行う予定。
【課題及び今後の取組みの方向性】 肥満と生活習慣病の関係や、肥満改善のための適切な食事や運動習慣についての知識の普及啓発を行い、市民が健康的な生活を身につけられるよう引き続き支援する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	－	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	－	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	－	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	－	実施	実施	実施	達成	
6	食育推進計画の策定	計画の策定	－	策定	策定	策定	達成	1,683

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催（参加者数）	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等（参加者数）	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%（H26年度）	39.0%	33.1%（見込み）	未達成	1,424,568
5	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－1 健康づくりの推進

指標NO	30
------	----

指標名	肥満者の割合（女性）	単位	%
-----	------------	----	---

指標の説明	40歳～60歳代女性の肥満者（BMI25以上）の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	----------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	—	14.0	13.0	
現状値	15.8	—	—	—	

目標設定の考え方	健全な食生活や運動習慣に関する普及啓発を行い、肥満者の割合の更なる減少を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 29年度の「すこやか未来都市ちばプラン」の中間評価に併せて、現状値の把握を行う予定。
【課題及び今後の取組みの方向性】 肥満と生活習慣病の関係や、肥満改善のための適切な食事や運動習慣についての知識の普及啓発を行い、市民が健康的な生活を身につけられるよう引き続き支援する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プラン次期計画の策定	計画の策定	調査	策定	策定	策定	達成	1,801
2	健康運動対策の推進	ヘルスサポーター養成教室	—	各区 1回/月	各区 1回/月	54回/年	未達成	2,270
3	健康運動対策の推進	運動習慣を身につけるための出前講座	—	12団体/年	12団体/年	33団体/年	達成	
4	特定健康診査の充実	検査項目の追加	—	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	追加（血清クレアチニン、尿酸） 対象者の拡充（ヘモグロビンA1c）	達成	78,961
5	特定健康診査の充実	訪問指導	—	実施	実施	実施	達成	
6	食育推進計画の策定	計画の策定	—	策定	策定	策定	達成	1,683

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新世紀ちば健康プランの推進	市民健康づくり大会の開催（参加者数）	1,889人	2,000人	2,000人	2,330人	達成	2,023
2	健康教育	講演会、糖尿病教室等（参加者数）	5,408人	6,000人	6,107人	9,960人	達成	15,645
3	食育推進	講座開催、人材養成	271人	養成数30人/年	320人	285人	未達成	17,672
4	特定健康診査	実施率	32.5%	39.0%（H26年度）	39.0%	33.1%（見込み）	未達成	1,424,568
5	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	31
------	----

指標名	必要なときに適切な医療を受けられるので安心だと感じる	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局 (区)	保健福祉局 病院局
------------	--------------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	65.7	67.8	70.0	
現状値	63.6	67.5	—	—	

目標設定 の考え方	市内医療機関における機能分担・連携の強化や市立病院の経営改革・診療機能強化などにより、必要な医療を必要な人が適切に受けられる医療体制づくりを進めることとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
市立病院において診療機能を強化するとともに、各病院、診療所等の医療提供体制の充実強化の取組みが行われた結果、全体として市内の医療提供体制の充実強化が図られたことが目標達成につながったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
人口減少や少子超高齢化の進展といった環境変化に対応できるよう、引き続き、市立病院の経営改革を推進するとともに、市内医療機関の機能分担・連携強化を推進し、医療体制の充実に取り組む。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市立病院設備・医療機器の整備	青葉病院 救急処置棟の整備	基本設計	実施設計、工事	整備完了	青葉病院救急棟整備 未完了 (入札不調等による遅 れのため、平成27年12月 供用開始予定)	未達成	1,186,852
2	市立病院設備・医療機器の整備	海浜病院 リニアックの導入及びリニ アック室・手術室の整備	—	実施設計、工事	整備完了	海浜病院リニアック 整備完了(リニアック 棟：平成26年4月供用開 始)	達 成	
3	海浜病院の再整備	市立病院基本構想	—	策定	策定	未策定	未達成	31,939
4	海浜病院の再整備	海浜病院再整備基本計 画の策定	—	策定	策定	未策定	未達成	
5	ICTを活用した救急業務の推進	ICTシステム整備	モデル事業の実施	画像伝送・受信装置の 設置	運用	休止	休 止	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	休日救急診療所管理運営	休日救急診療所の運営	71日/年	71～72日/年	71～72日/年	71～72日/年	達 成	960,086
2	救急医療確保対策	在宅当番医(産婦人科) の確保	35医療機関	35医療機関	35医療機関	35医療機関	達 成	624,328
3	救急医療確保対策	休日及び夜間の二次救 急医療機関の確保	22医療機関	22医療機関	22医療機関	22医療機関	達 成	
4	救急医療確保対策	夜間外科系救急医療体 制(初期・後方支援・非当 番)の確保	21医療機関	21医療機関	21医療機関	21医療機関	達 成	
5	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関 情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達 成	7,650
6	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	
7	夜間救急初期診療	夜間救急初期診療の運 営	365日/年	365日/年	365日/年	365日/年	達 成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

指標NO

32

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標名	かかりつけ医を持っている	単位	%
-----	--------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	66.1	68.0	70.0	✕
現状値	64.2	64.0	—	—	

目標設定 の考え方	市内医療機関の機能分担を進めるため、身近で適切な医療を受けられる「かかりつけ医」を推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
かかりつけ医を普及するため、市民に対して診療所の情報提供やかかりつけ医を持つ大切さについての啓発活動を行ったが、市民の意識や受療行動を変えるに至らず、目標達成ができなかったものと考えられる。 なお、当初計画では、チラシ・ポスターの作成により、かかりつけ医推進に関する周知を予定していたが、その後の検討の結果、平成24年度にかかりつけ医推進に関するチラシ(1,000部)を地域医療に関するシンポジウム(平成25年1月～2月)で配布したほか、市政だよりにおける記事の掲載(平成24年度・25年度)及び千葉市ホームページへの記事の掲載による周知を行うこととした。市民の意識、行動の変化が起きなかった要因としてこれらのPRが伝わらなかったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、身近な医療機関である診療所の情報提供を行うとともに、かかりつけ医を持つ大切さについて、市政だよりや市ホームページを活用した周知のほか、リーフレットを作成・配布し、周知を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築を進める中で、医療機関相互の連携促進などの取組みについても並行して進める。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達成	7,650
2	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	33
------	----

指標名	入院が必要な患者の積極的な受入れ（両市立病院の新規入院患者数）	単位	人
-----	---------------------------------	----	---

指標の説明	両市立病院の一般病床に新規に入院した患者数	担当局（区）	病院局
-------	-----------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	15,871	21,472	平成30年度に目標値設定	△
現状値	13,607	14,515	－	－	

目標設定の考え方	入院が必要な患者の積極的な受入れを図るため、市立病院における、診療の専門特化や医師や看護師等医療従事者の増員などを通じ、入院患者の受入体制を強化することとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
医療体制の充実を図るため、両市立病院において、入院が必要な患者の積極的な受け入れを実施しているが、平成24年度に、看護職員不足により青葉病院の病床を一部集約したことなどから、新規入院患者数について、平成26年度末は目標値の15,871人に到達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
看護職員の確保が課題であったため、採用活動の強化に努めた結果、H26年度の採用試験では、目標とする看護師を確保することができた。引き続き、採用活動の強化に努めるほか、3交替と2交替の選択制勤務を実施し、ワークライフバランスを推進するなど、離職防止の取組みを推進する。なお、上記の取組みにより、青葉病院の一部休止病床の利用が、平成26年10月から部分的に再開し、さらに平成27年7月から全面稼働となる。また、市立病院へ就職する意思のある看護師等養成施設の学生に対する看護師等修学資金貸与制度を通じて、看護師等の確保に努めるほか、地域医療機関との連携を強化し、紹介患者数の増加を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市立病院設備・医療機器の整備	青葉病院 救急処置棟の整備	基本設計	実施設計、工事	整備完了	青葉病院救急棟整備 未完了 （入札不調等による遅れのため、平成27年12月供用開始予定）  海浜病院リニアック 整備完了（リニアック棟：平成26年4月供用開始）	未達成	1,186,852
2	市立病院設備・医療機器の整備	海浜病院 リニアックの導入及びリニアック室・手術室の整備	—	実施設計、工事	整備完了	海浜病院リニアック 整備完了（リニアック棟：平成26年4月供用開始）	達成	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	7対1看護配置の実施	看護師採用活動強化 離職防止対策	未取得	看護師採用活動	施設基準の取得完了	施設基準の取得完了 （青葉 平成25年度取得 海浜 平成24年度取得）	達成	0
2	DPC（診断群分類）包括評価支払の導入	・市立青葉病院 導入済み ・市立海浜病院 未導入	・導入 ・—	・導入 ・導入	・導入 ・導入	青葉病院 導入済（H21.4～） 海浜病院 導入済（H26.4～）	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－2 医療体制の充実

指標NO	34
------	----

指標名	夜急診における軽度の患者の割合	単位	%
-----	-----------------	----	---

指標の説明	海浜病院内の夜急診を受診した患者の疾病重症度の分類（重度、中程度、軽度）のうち、軽度だった患者の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	47.3	45.4	43.5	✕
現状値	49.1	49.5	—	—	

目標設定の考え方	夜急診における軽度患者の割合が高いことから、真に受診する必要のある患者への診療を確保できるよう適切な利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 夜急診の適正利用に関する普及啓発を行ってきたが、夜急診をはじめとする救急医療の趣旨、目的についての意識啓発が不十分であり、指標の改善に至らなかった。 なお、当初計画では、チラシ・ポスターの作成により、かかりつけ医推進に関する周知を予定していたが、その後の検討の結果、平成24年度にかかりつけ医推進に関するチラシ（1,000部）を地域医療に関するシンポジウム（平成25年1月～2月）で配布したほか、市政だよりにおける記事の掲載（平成24年度・25年度）及び千葉市ホームページへの記事の掲載により周知を行うこととした。指標が改善しなかった要因としてこれらのPRが伝わらなかったことが考えられる。
救急医療の趣旨について、市政だよりや市ホームページによる周知を行うとともに、かかりつけ医に関するリーフレットの作成・配布による周知を行い、適切な医療の利用について意識啓発を進める。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	救急医療確保対策	在宅当番医（産婦人科）の確保	35医療機関	35医療機関	35医療機関	35医療機関	達成	624,328
2	救急医療確保対策	休日及び夜間の二次救急医療機関の確保	22医療機関	22医療機関	22医療機関	22医療機関	達成	
3	救急医療確保対策	夜間外科系救急医療体制（初期・後方支援・非当番）の確保	21医療機関	21医療機関	21医療機関	21医療機関	達成	
4	かかりつけ医推進	専用端末による医療機関情報の提供	13,701件	13,750件/年	13,750件/年	49,480件/年	達成	7,650
5	かかりつけ医推進	ポスター、チラシの配布	—	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	ポスター 1,100部/年、 チラシ 5,000部/年	なし	未達成	

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	2－1 健康で活力に満ちた社会を創る
施策	2－1－3 食の安全と環境衛生の推進

指標NO	35
------	----

指標名	安全な食品が手に入るので安心だと感じる	単位	%
-----	---------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	53	56.5	60	
現状値	49.7	57.2	—	—	

目標設定の考え方	食の安全の確保は、市民の安全・安心において極めて重要であることから、監視指導や試験検査、市民への情報提供を推進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
毎年度策定する千葉市食品衛生監視指導計画に基づく監視指導や試験検査を実施しており、また、市政だより及び市ホームページにより食の安全性に関する情報提供を随時行っている。 前述の食品衛生監視指導計画の実施結果や市内に流通する食品の放射性物質の検査結果などを速やかに市ホームページで公表することにより、市民が食の安全性に関する最新の情報に触れることが出来るため、評価が上がったと推測される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、食の安全性に関する問題を踏まえ、監視指導計画を策定・実施し、その結果を情報提供する。 また、市内に流通する食品の放射性物質の検査を継続し、食の安全性確保に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	食中毒対策の推進	食中毒予防に関する啓発講習会の開催	65回／年	35回／年 増	100回／年	112回	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	食品衛生（監視指導）	監視指導	許可施設 10,326件 許可不要施設 13,199件	許可施設 約28,000件 許可不要施設 約33,417件	許可施設 約10,000件 許可不要施設 約13,000件	許可施設 11,669件 許可不要施設 14,585件	達成	34,383
2	食品衛生（食品の検査）	試験検査	669検体	約2,000検体	約670検体	555検体	概ね達成	
3	食品衛生（食品の検査）	放射性物質検査	308検体	約750検体	約250検体	250検体	達成	



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－1 子育て支援の充実

指標NO	36
------	----

指標名	仕事と家庭生活を両立する支援体制が充実している	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局 (区)	こども未来局
------------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	25.0	36.0	50.0	○
現状値	14.8	21.0	—	—	

目標設定 の考え方	保育施設、子どもルーム、特定保育等の拡充に加え、家庭的保育や幼稚園長時間預かり保育等、多様な保育需要への対応を推進することとし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
保育所の整備や幼稚園の長時間預かり保育の推進など保育の受け皿の拡充をはじめとした取組みの推進により、平成26年度から2年連続待機児童ゼロを達成するなど保育需要への対応を進めるとともに、一時預かりや障害児保育など、多様な保育需要への対応を進めた結果、指標の値が着実に向上した。
【課題及び今後の取組みの方向性】
数値の向上は見られるものの、中間目標値には達していないことから、今後も、千葉市こどもプランに基づき、保育需要に対応するための保育の受け皿の拡充を進めるとともに、子どもルームや病児・病後児保育の拡充など、進捗の遅れが見られる事業についても積極的に推進し、指標の値の向上を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達成	1,250,971
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所(23年度事業量)	6か所	6か所	6か所	達成	
3	保育所の整備	保育所の分園設置	—(23年度事業量)	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達成	164,556
5	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	
6	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
7	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	
8	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達成	
9	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達成	165,556
10	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	
11	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	
12	子どもルームの拡充	増設	1か所(23年度事業量)	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	36,514
13	子どもルームの拡充	移転	4か所(23年度事業量)	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
14	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達成	137,462
15	幼稚園教育の充実(長時間の預かり保育の拡充)	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達成	29,161
16	父親の育児参加の促進	両親学級の土日開催	—	1回/月	1回/月	年間13回	達成	3,700
17	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業者の登録者数	41団体	34団体増	75団体	75団体	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344
2	男女共同参画センター管理運営事業	調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務(利用者数)	89,313人	20,207人増	109,520人	68,857人	未達成	445,841

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－1 子育て支援の充実

指標NO	37
------	----

指標名	子育ての不安や悩みを解消するための相談体制などが充実している	単位	%
-----	--------------------------------	----	---

担当局（区）	こども未来局
--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	44.0	51.0	60.0	△
現状値	37.4	37.8	－	－	

目標設定の考え方	地域子育て支援拠点等の拡充、地域活動事業（育児相談等）の拡充、子育てに関する各種相談事業の充実を図ることとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
子育ての不安や悩みを解消するため、子育て支援館や子育てリラックス館等の地域子育て支援拠点事業及び認可保育所増に伴う地域活動（育児相談等）の拡充のほか、子育てサポーター・家庭教育アドバイザー等の各種事業を実施しているが、平成26年度末目標値を達成することができなかった。 具体的には、子育てリラックス館を2か所整備し各区2か所の12か所とする予定であったが、事業者の応募がなかったため、1か所の整備にとどまり、11か所での実施となったこと、また、家庭教育支援として、公民館で家庭教育講座を118事業実施する予定であったが、地域におけるニーズの減少のため、74事業の実施となったことなどが影響していると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
子育てリラックス館については、引き続き1か所を整備するため、公募要件等の見直しを行い、事業者確保に努める。また、家庭教育支援については、子育てサポーターの増員による相談体制を整備するため、引き続き地域人材の確保に努める。 保護者の子育ての不安や悩みを解消し、子育ての負担を軽減するため、引き続き、地域子育て支援拠点事業、保育所の地域活動、家庭教育支援を実施し、子育てに関する各種相談事業の充実を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所地域活動事業の拡充	地域活動の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達成	2,238
2	子育てリラックス館の整備	子育てリラックス館	10か所	2か所	12か所	11か所	未達成	2,989
3	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0
4	家庭教育を支援する学習の推進	家庭教育支援チーム	1区	1区増	2区	2区	達成	571
5	家庭教育を支援する学習の推進	子育てサポーター	3人/区	3人/区増	6人/区	5.5人/区	概ね達成	968

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子育て支援館管理運営	利用者数	83,090人/年	250,000人	84,000人/年	74,508人/年	概ね達成	202,939
2	地域子育て支援センター	利用者数	92,260人/年	282,000人	96,000人/年	84,946人/年	概ね達成	153,521

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－1 子育て支援の充実

指標NO	38
------	----

指標名	安心して出産できるまちだと感じる	単位	%
-----	------------------	----	---

担当局（区）	こども未来局
--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	36.0	42.0	50.0	△
現状値	29.5	31.0	—	—	

目標設定 の考え方	出産から育児まで各種支援の充実を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	----------------------------------

【達成状況の分析】
保育所の整備など保育の受け皿の拡充をはじめとした取組みの推進により、保育需要への対応を進めるとともに、一時預かりや障害児保育など、多様な保育需要への対応を進めたことに加え、子ども医療費助成制度の拡充や妊婦乳児健康診査などの取組みなどにより、指標の値は向上した。
【課題及び今後の取組みの方向性】
数値の向上は見られるものの、中間目標値には達していないことから、今後も、千葉市こどもプランに基づく保育需要に対応するための保育の受け皿の拡充や多様な保育需要への対応、その他事業に掲げる取組みを着実に推進するとともに、子どもルームや病児・病後児保育の拡充など、進捗の遅れが見られる事業についても積極的に推進し、指標の値の向上を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達成	1,250,971
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所(23年度事業量)	6か所	6か所	6か所	達成	
3	保育所の整備	保育所の分園設置	—(23年度事業量)	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	保育所の改築・改修	大規模改造	—	1か所	1か所完了	12か所	達成	772,718
5	保育所の改築・改修	改築	—	4か所	4か所完了	4か所	達成	
6	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達成	
7	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	164,556
8	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
9	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	
10	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達成	
11	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達成	
12	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	165,556
13	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	36,514
14	子どもルームの拡充	増設	1か所(23年度事業量)	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	
15	子どもルームの拡充	移転	4か所(23年度事業量)	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
16	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達成	137,462
17	幼稚園教育の充実(長時間の預かり保育の拡充)	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達成	29,161
18	子育てリラックス館の整備	子育てリラックス館	10か所	2か所	12か所	11か所	未達成	2,989
19	幼稚園教育の充実(健康増進事業への助成)	健康増進事業への助成	—	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	達成	14,378
20	子育て中の親子を対象とする食育の推進	食育フェスティバル	—	6か所実施	6か所実施	6か所実施	達成	0

その他事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子育て支援館管理運営	利用者数	83,090人/年	250,000人	84,000人/年	74,508人/年	概ね達成	202,939
2	地域子育て支援センター	利用者数	92,260人/年	282,000人	96,000人/年	84,946人/年	概ね達成	153,521
3	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344
4	エンゼルヘルパー派遣	利用者数	227人/年	745人	270人/年	286人/年	達成	17,304
5	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人/年	189,000人	63,000人/年	H26 96,330人/年	達成	392,539
6	子ども医療費助成	医療費の一部助成	実施	実施	実施	実施	達成	0
7	妊婦乳児健康診査	健康診査	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	達成	2,187,588

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2-2-1 子育て支援の充実

指標NO	39
------	----

指標名	保育所待機児童数	単位	人
-----	----------	----	---

指標の説明	保育所の入所申込を行い、入所要件には該当しているが、入所できていない児童数(但し、保育所以外の場合適切に保育が行われている者等を除く。)	担当局(区)	こども未来局
-------	--	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	96	0	0	◎
現状値	123	0	—	—	

目標設定の考え方	目標は、待機児童ゼロである。 受入れ枠の拡大を計画的に推進する。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】 既存施設の有効活用を基本とした保育所の整備や、小規模保育事業、事業所内保育事業など子ども・子育て支援新制度における新たな認可事業の整備、幼稚園の長時間預かり保育の推進などの保育の受け皿の拡充に加え、子育て支援コンシェルジュなどによる保護者等へのきめ細やかなあつせんを行った結果、26年4月、27年4月において2年連続待機児童ゼロを達成した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も、千葉市こどもプランに基づき、私立幼稚園の認定こども園移行や認可外保育施設の認可化、事業所内保育事業の推進など、少子化の進行を見据え、既存施設の有効活用を基本とし、潜在的な需要も含めた保育の受け皿を確保するなど、待機児童ゼロの継続を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達成	1,250,971
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所(23年度事業量)	6か所	6か所	6か所	達成	
3	保育所の整備	保育所の分園設置	—(23年度事業量)	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達成	164,556
5	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	
6	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
7	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	
8	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達成	
9	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達成	165,556
10	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	
11	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達成	137,462
12	幼稚園教育の充実(長時間の預かり保育の拡充)	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達成	29,161

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

40

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－1 子育て支援の充実

指標名	子どもルーム待機児童数	単位	人
-----	-------------	----	---

指標の説明	子どもルームに入所を希望しているが、定員を超えているため入所できない児童数	担当局（区）	こども未来局
-------	---------------------------------------	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	57	21	0	✕
現状値	96	364	－	－	

目標設定の考え方	目標は、待機児童ゼロである。 施設の新規開設をはじめ、今後の取組みにより、段階的に減少させる。
----------	--

【達成状況の分析】 局所的に待機児童が増加した地域などにルームの増設を行ったが、共働きの家庭の増加などにより、全体の利用希望者が増加したことから、目標値を達成できなかった。 また、子ども・子育て支援新制度の対応として、高学年ルーム開設し、4年生まで受入対象を拡大したことに伴い、新たに待機児童（151名）が発生した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 共働きの家庭の増加などにより、子どもルームの利用希望者も増加していることから、今後の利用児童数の推移を考慮し、新規開設や校内への移転の際の受入枠の拡大を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	36,514
2	子どもルームの拡充	増設	1か所(23年度事業量)	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	
3	子どもルームの拡充	移転	4か所(23年度事業量)	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルーム運営事業	運営	123か所	2か所増	125か所	123か所 (ルーム統合により2か所減)	未達成	6,045,121

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2-2-1 子育て支援の充実

指標NO	41
------	----

指標名	ファミリー・サポート・センター活動件数	単位	件
-----	---------------------	----	---

指標の説明	ファミリーサポートセンターに登録している会員（依頼会員と提供会員）同士のマッチングがなされ、会員相互による援助活動が行われた件数	担当局（区）	こども未来局
-------	--	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	10,000	10,500	11,000	◎
現状値	9,633	11,992	—	—	

目標設定 の考え方	説明会の実施など広報啓発活動を積極的に行い、会員登録数の増加を目指すこととし、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 登録会員数については、H26年度末目標値(5,400人)には届かなかったが、着実に伸ばしてきており(H24年度:4,675人、H25年度:4,911人、H26年度:5,073人)、ホームページの掲載のほか、各区保健福祉センター、保育園、小学校、地域子育て支援拠点施設などにおけるリーフレット又は広報誌の配布、会員向けの研修会や交流会の実施など、広報啓発活動を行った結果、活動件数が平成26年度末目標値を上回ることができた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 こどもの数が減少傾向となる中で、登録会員数や活動件数の増加を目指すため、今後も引き続き、積極的な広報啓発活動を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－2 こどもの健全育成の推進

指標NO	42
------	----

指標名	市内のこどもや若者は健全に育っている	単位	%
-----	--------------------	----	---

担当局 (区)	こども未来局
------------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	35.0	37.0	40.0	
現状値	33.3	37.8	—	—	

目標設定 の考え方	困難を抱える子どもや若者たちを家庭・学校・地域でケアすることが重要な課題であることから、子ども・若者総合相談センターなどの事業の推進を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
平成24年8月に「子ども・若者総合相談センターLink」を設置し、ニート・ひきこもり・不登校等、社会生活を円滑に営むうえで、困難を有する子ども・若者とその家族の相談に対応している。「子ども・若者総合相談センターLink」では、相談者の状況やニーズに応じて、適切な関係機関の紹介、同行支援、訪問相談を行い、相談件数は、増加してきている。 また、補導活動事業を積極的に実施したことで、補導人数の減少を達成した。 以上のことから、目標値の35.0%を上回ることができたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
「子ども・若者総合相談センターLink」では、困難を抱える子ども・若者の状況や相談内容に応じて、より適切な対応ができるようにするため、相談員の増員や支援機関の拡充を図っていくとともに、これまでの取組みについても、引き続き実施していく。また、相談員による相談対応の技能の向上を図るため、研修等に取り組む。今後は、支援を必要とする人に対して、切れ目のない支援ができるようにするため、家庭・地域・学校等と連携して、相談窓口を周知していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	36,514
2	子どもルームの拡充	増設	1か所(23年度事業量)	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	
3	子どもルームの拡充	移転	4か所(23年度事業量)	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
4	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達成	632
5	児童養護施設の整備	児童養護施設	2か所	1か所増	3か所	3か所	達成	217,929
6	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者総合相談センター	—	設置・運営	設置・運営	設置・運営	達成	1,834
7	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者支援地域協議会	設置	運営	運営	運営	達成	
8	ファミリーホームの拡充	ファミリーホーム	1か所	2か所増	3か所	3か所	達成	0
9	地域小規模児童養護施設の拡充	地域小規模児童養護施設	1か所	1か所増	2か所	1か所	休止	0
10	DV被害者への支援の充実	民間支援施設(シェルター)	—	助成 1件	助成 1件	助成 1件	達成	1,000
11	DV防止・支援基本計画の策定	DV防止・支援基本計画	素案	策定	策定	策定	達成	346
12	こどもの参画の推進	こどものカワークショップ	2区で開催	4区で開催	全区で開催	6回(計5区で開催)	概ね達成	0
13	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	0
14	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルーム運営事業	運営	123か所	2か所増	125か所	123か所 (ルーム統合により2か所減)	未達成	6,045,121
2	補導活動事業	繁華街や公園、駅周辺、列車内等を巡回する街頭補導の実施	1348回/年	3807回	1269回/年	1906回／年	達成	20,478
3	青少年サポート事業	非行生徒等への支援	28人/年	75人	25人/年	27人／年	達成	11,494

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－2 こどもの健全育成の推進

指標NO	43
------	----

指標名	地域にこどもが安心できる居場所がある	単位	%
-----	--------------------	----	---

担当局（区）	こども未来局
--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	35.0	37.0	40.0	
現状値	32.8	39.5	－	－	

目標設定 の考え方	こどもカフェの設置など、こどもの居場所にかかる各種取組みを推進するとともに、地域の安全・安心や地域福祉の充実につながる取組みを支援していくことで、値の向上を目指す。
--------------	--

【達成状況の分析】
子どもルームの拡充については、整備の緊急性の高い箇所を優先して実施したため、目標値を達成できなかったが、こどもカフェや子ども交流館等の事業を着実に実施したことで、H27中間目標値に達成することができたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
共働きの家庭などの増加により、子どもルームの利用希望者も増加していることから、今後の利用児童数の推移を考慮し、新規開設や移転時の受入枠の拡大等を引き続き図っていく。
また、こどもカフェや子ども交流館の運営事業についても継続して行っていくほか、子どもルームと放課後子ども教室の連携の強化を図り、指標の向上を目指していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	36,514
2	子どもルームの拡充	増設	1か所(23年度事業量)	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	
3	子どもルームの拡充	移転	4か所(23年度事業量)	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
4	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達成	632
5	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	0
6	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人／年	189,000人	63,000人／年	H26 96,330人／年	達成	392,539

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－2 こどもの健全育成の推進

指標NO	44
------	----

指標名	こどもが地域の大人たちに見守られながら育っている	単位	%
-----	--------------------------	----	---

担当局（区）	こども未来局
--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	36.0	38.0	40.0	✕
現状値	33.7	32.3	－	－	

目標設定 の考え方	セーフティウォッチャーやこども110番のいえなど地域の見守りの目を増やすとともに、地域活動団体への支援を行うことで、 値の向上を目指す。
--------------	---

【達成状況の分析】
こどもが地域の大人たちに見守られながら育っていると感じられるようにするため、指標を構成する各事業を実施しており、事業別のH26末目標値は達成しているところであるが、市民アンケートの結果は、H27年中間評価の目標値の36.0%に到達しなかった。 H27年中間評価の目標値に到達しなかった原因としては、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないこと等が考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
指標を構成する事業は、全てH26末目標値を達成しているが、市民アンケートの結果につながっていないということは、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないと考えられる。 今後、各事業の趣旨及び効果等を、市民により丁寧に説明するなど、一層の周知を図っていきたい。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達成	632

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人/年	189,000人	63,000人/年	H26 96,330人/年	達成	392,539
2	学校セーフティウォッチ	学校セーフティーウォッチャー登録者数	23,151人	599人増	23,750人	26, 855人	達成	3,088
3	民生委員・児童委員活動	委員数	1,423人	1,434人	1,434人	1,460人	達成	553,671



施策の柱	2－2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	2－2－2 こどもの健全育成の推進

指標NO	45
------	----

指標名	街頭補導1回あたりの青少年の補導人数	単位	人
-----	--------------------	----	---

指標の説明	青少年サポートセンター職員と民間補導員・指導補導員等による、街頭補導1回あたりの青少年の補導人数	担当局（区）	こども未来局
-------	--	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	1.5	1.2	1	◎
現状値	1.78	0.56	—	—	

目標設定の考え方	非行少年等を対象にしたサポート事業や相談事業、学校や関係機関との連携を通した非行防止活動等を積極的に推進して補導人数の減少を図ることとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 中心街及び地域での街頭補導を積極的に行い、補導回数をH23年度の1348回からH26年度は1906回に増加させた。その結果、補導人数は2406人から1061人まで減少し非行防止活動を推進することができ、目標値を大幅に上回り達成することができた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 当初の目標を上回っているため、引き続き「補導活動事業」を中心に青少年の補導人数の減少を目指す。また、年数の経過とともに対象者が変わってくる可能性もあるため、注視していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者総合相談センター	—	設置・運営	設置・運営	設置・運営	達成	1,834
2	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者支援地域協議会	設置	運営	運営	運営	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	補導活動事業	繁華街や公園、駅周辺、列車内等を巡回する街頭補導の実施	1348回/年	3807回	1269回/年	1906回／年	達成	20,478
2	青少年サポート事業	非行生徒等への支援	28人/年	75人	25人/年	27人／年	達成	11,494

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－3 とともに支えあう地域福祉社会を創る
施策	2－3－1 地域福祉の充実

指標NO	46
------	----

指標名	困ったときは地域で支えあうことができるので安心だと感じる	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	29.0	35.0	40.0	△
現状値	23.1	26.0	—	—	

目標設定 の考え方	誰もが地域で安心して生活するためには、様々な生活課題に対応する「地域力」を高め、地域で支えあうことが極めて重要であることから、様々な主体による支えあい活動を促進することとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域で支えあう仕組みづくりを進めるため、さまざまな取組みを実施してきたところだが、H26末目標値の29％に到達しなかった。 町内自治会の加入促進については、目標を達成できなかったものの、高齢者を対象とした地域見守り活動への支援、若葉区の地域福祉団体活動への助成、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営、社協が実施する地域ぐるみ福祉ネットワーク事業への助成、民生委員・児童委員の配置などは順調に実施されたところである。 これらの施策の成果として指標の数値は向上しているが、地域における福祉活動についての周知が進んでいない、また、活動が知られていても市民（主に20～60代）の安心感につながっていない状況などが推測され、そのために目標値が達成できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
当初、若葉区のみで実施してきた地域福祉団体活動支援については、地域活性化支援事業として全区で実施していく。 その他の施策についても、引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」の推進により、地域で支えあう仕組みづくりを進め、全ての市民が安心して生活できる地域の実現に向けて取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域見守り活動への支援	助成	4団体	30団体増	34団体	34団体	達成	0
2	若葉区地域福祉団体活動支援	地域福祉団体活動助成	—	10件/年	10件/年	10件/年	達成	480
3	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増/年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域福祉活動施設	整備、管理運営	2か所（小中台、犢橋）の整備、管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	達成	37,458
2	地域ぐるみ福祉ネットワーク	社会福祉協議会に対し補助（補助事業数）	2事業	2事業	2事業	2事業	達成	25,527
3	民生委員・児童委員活動	委員数	1,423人	1,434人	1,434人	1,460人	達成	553,671

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－3 とともに支えあう地域福祉社会を創る
施策	2－3－1 地域福祉の充実

指標NO	47
------	----

指標名	この1年間に、地域福祉活動に参加したことがある	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	19.0	22.0	25.0	×
現状値	15.3	12.7	－	－	

目標設定の考え方	地域福祉活動は、「自助」「共助」「公助」の考え方に基づき、適切な役割分担のもと、多様化する地域課題を解決するために不可欠であることから、様々な主体による支えあい活動を強化することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
地域福祉活動の活性化や担い手の増加を図るため、さまざまな取組みを実施してきたところだが、H26末の現状値はH23末の現状値より低下し、目標値を達成できなかった。 地域見守り活動への支援、若葉区地域福祉団体活動支援については、当初の予定通りの件数の助成を実施し、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営や社協が実施する地域ぐるみ福祉ネットワーク事業への助成についても順調に実施してきたところである。 これらの施策が成果に結びつかなかった原因としては、全体的に活動参加者が減少する中、特に40代以上の年齢層における活動参加者の減少が大きかったためと推測され、そのことにより目標値が達成できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
当初、若葉区のみで実施してきた地域福祉団体活動支援については、地域活性化支援事業として全区で実施していく。 その他の施策についても、引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」に基づく取組みを進め、地域住民等が主体となった共助の取組みを市と社協が連携して支援し、地域福祉活動の活性化や担い手の増加について一層の推進を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域見守り活動への支援	助成	4団体	30団体増	34団体	34団体	達成	0
2	若葉区地域福祉団体活動支援	地域福祉団体活動助成	－	10件/年	10件/年	10件/年	達成	480

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域福祉活動施設	整備、管理運営	2か所(小中台、犢橋)の整備、管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	達成	37,458
2	地域ぐるみ福祉ネットワーク	社会福祉協議会に対し補助(補助事業数)	2事業	2事業	2事業	2事業	達成	25,527

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－3 ともに支えあう地域福祉社会を創る
施策	2－3－1 地域福祉の充実

指標NO	48
------	----

指標名	ボランティア登録者数	単位	人
-----	------------	----	---

指標の説明	市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターにボランティアとして登録している市民の数	担当局（区）	保健福祉局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	9,250	9,620	10,000	◎
現状値	8,870	9,393	－	－	

目標設定の考え方	地域福祉の担い手として、ボランティア活動を行う市民を増加させることは極めて重要であることから、登録人数を着実に増加させることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
地域福祉活動の担い手として、ボランティア活動を行う市民を増加させるため、さまざまな取組みを実施してきたところ、千葉市ボランティアセンターのボランティア登録者数については、H26末の目標値を達成した。 ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるボランティアの登録者数は、目標値を達成できなかったものの、同センターにおけるボランティアのコーディネート件数は目標値を大きく上回っている。 また、小中台・犢橋地域福祉交流館の運営により地域福祉活動の活性化を図っているほか、市社協の地域ぐるみ福祉ネットワーク事業に対し補助金を交付するなど、順調に各種施策を実施している。 これらの施策が成果に結びついたこと、また、東日本大震災を契機として市民の間で地域福祉の重要性が再認識されたことなどにより、目標値が達成できたものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
これまでの施策を引き続き実施していくほか、平成26年度に策定した「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」を推進し、地域の担い手育成について、地域住民等・市社協・市の協働により取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域福祉活動施設	整備、管理運営	2か所(小中台、犢橋)の整備、管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	2か所の管理運営	達成	37,458
2	地域ぐるみ福祉ネットワーク	社会福祉協議会に対し補助(補助事業数)	2事業	2事業	2事業	2事業	達成	25,527
3	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	ボランティアの登録受付(登録者数)	個人313人 団体66団体	個人400人 団体85団体	個人400人 団体85団体	個人341人 団体80団体	未達成	543,433
4	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	情報の発信及びコーディネート(コーディネート件数)	118件	118件	150件	198件	達成	

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－1 介護予防と生きがいがづくりの促進

指標NO	49
------	----

指標名	高齢者が、生きがいを持ちいきいきと暮らしている	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局 (区)	保健福祉局
------------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	35.0	43.0	50.0	△
現状値	27.1	27.2	—	—	

目標設定 の考え方	超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者が生きがいを持ち、地域で元気にいきいきと暮らすことは、活力ある地域社会の実現に極めて重要であることから、健康維持・増進や生きがいがづくりを推進することとして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
これまで生きがい対策として各種事業を実施していることに加え、人口減少社会の到来や少子超高齢化という社会構造の変化に対応するため、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築・強化を開始したところである。こうした多様な高齢者施策により、高齢者が健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう介護予防や健康づくりの充実、日常生活の支援や地域づくりにおいて、地域の方々が担い手として幅広い分野で活躍できる仕組みを整えているところである。 こうした取組みがまだ始まった直後であること、また、こうした施策の充実の財源ねん出のため、生きがい対策事業を適宜見直していることについて周知が不足していることなどから、平成26年度末目標値35%を達成できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後、限られた財源で高齢者施策を実施するうえで、生きがい対策に係る更なる事業見直しが行われる可能性が考えられるが、高齢者の生きがい充実に向けた費用対効果の高い事業にシフトすることに加え、健康でいきいきと自立した生活を続けられるための地域包括ケアシステムの構築を進めることで、より多くの高齢者が生きがいを持ちいきいきと暮らしていく実感を持てるような社会の構築を進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	いきいきプラザの改修	稲毛いきいきプラザ給湯設備改修	修繕計画策定	実施設計・工事	改修完了	改修完了	達成	8,211

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ことぶき大学校運営	ボランティア実践コース、創造活動コース	運営	運営	運営	運営	達成	87,400
2	シルバー人材センター運営補助	運営補助金の交付	1か所	1か所	1か所	1か所	達成	362,300
3	高齢者いきいき健康園芸	参加者数	200名/年	600名/年	200名/年	197名/年	未達成	3,164
4	いきいきプラザ・いきいきセンター管理運営	いきいきプラザ、いきいきセンターの運営	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	達成	1,851,231
5	いきいき活動外出支援	補助人数	4,029人	16,316人	6,848人	6679人	達成	19,795



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－1 介護予防と生きがいのづくりの促進

指標NO	50
------	----

指標名	この1年間に、地域活動やボランティア活動に参加したことがある	単位	%
-----	--------------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	30.0	35.0	40.0	○
現状値	23.8	27.7	—	—	

目標設定の考え方	少子超高齢化が進む中、元気な高齢者は地域活動の重要な担い手として期待されていることから、高齢者の地域活動への参加を促進する施策を展開していくことを勘案して目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
NPO法人の活動の促進、ボランティアデータベース「ちばぼら」の運用、千葉市民活動フェスタにおける地域活動等のPR、シニア世代が地域活動等を行うことへの支援、千葉市ボランティアセンターの支援などを行い、地域活動等を促進してきた。 シニア世代に特化したことぶき大学校において地域活動等を行うことの支援として「地域活動実践講座」を全受講生の必須科目としており、受講生からは高い評価を受けているが、受講生は限られており、彼らの活動が地域全体に広まるには長い目で見ることが必要であり、平成26年度末目標値を達成できなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
上記取り組みを継続・充実することに加え、高齢者が健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう介護予防や健康づくりの充実、日常生活の支援や地域づくりにおいて、地域の方々が担い手として幅広い分野で活躍できる仕組みを整えることで、地域活動やボランティア活動の促進を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民公益活動支援システムの構築	ボランティアシステム	データベース作成、一部開発・運用	開発	運用	運用	達成	1,030
2	市民公益活動支援システムの構築	NPO法人認定・認証システム	開発準備	開発	運用	運用	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ことぶき大学校運営	ボランティア実践コース、創造活動コース	運営	運営	運営	運営	達成	87,400
2	老人クラブ育成	活動に対する助成	助成	助成	助成	助成	達成	52,448
3	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	ボランティアの登録受付（登録者数）	個人313人 団体66団体	個人400人 団体85団体	個人400人 団体85団体	個人341人 団体80団体	未達成	543,433
4	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	情報の発信及びコーディネート（コーディネート件数）	118件	118件	150件	198件	達成	
5	市民公益活動促進事業	WEBサイト「ちばぼら」	運営	運営	運営	運営	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－1 介護予防と生きがいのづくりの促進

指標NO	51
------	----

指標名	介護・支援を必要としない高齢者の割合	単位	%
-----	--------------------	----	---

指標の説明	要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合	担当局（区）	保健福祉局
-------	------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	86.0	87.0	88.0	△
現状値	85.0	85.1	－	－	

目標設定 の考え方	健康づくりや介護予防に関する取組みなどを通じ、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合を増加させていくこととして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 健康づくりや介護予防に関する取組みなどを広範に実施しており、要介護・要支援認定を受けていない高齢者は大幅に増加したものの、高齢者人口の増加及び高齢者寿命の延伸により、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合は微増にとどまることとなり、目標値には達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後、後期高齢者の大幅増加が見込まれることから、目標値の達成は厳しい状況ではあるが、健康づくりや介護予防に関する取組みを継続・充実することに加え、地域包括ケアシステムの構築の推進により、介護予防全般の強化を図ることで、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の割合の増加を図っていくこととする。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	介護予防の推進	歯っぴー健口教室	－	24コース/年	24コース/年	24コース/年	達成	0
2	介護予防の推進	ヘルスアップ運動教室	－	32コース/年	32コース/年	32コース/年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	いきいきプラザ・いきいきセンター管理運営	いきいきプラザ、いきいきセンターの運営	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	いきいきプラザ 6ヶ所 いきいきセンター 9ヶ所	達成	1,851,231
2	健康づくりプロジェクト	介護予防事業（参加者数）	145名/年	435名	145名/年	140名/年	概ね達成	2,893
3	二次予防事業対象者把握	基本チェックリストの実施（対象者数）	10,556人	15,203人	15,203人	10,999人	未達成	97,987
4	シニア健康づくり教室	参加者数	7,676人	28,500人	9,500人	7,301人	未達成	53,220

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－2 地域生活支援の充実（高齢者）

指標NO	52
------	----

指標名	一人暮らしや支援の必要な高齢者が、地域で見守られて安心して暮らすことができる	単位	%
-----	--	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	30.0	37.0	45.0	△
現状値	22.9	25.8	—	—	

目標設定 の考え方	超高齢社会が進展する中、一人暮らしや支援の必要な高齢者が地域で安心して暮らすためには、行政や関係機関との連携による地域での見守りが極めて重要であることから、様々な主体による地域の支えあい活動を推進することとして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
地域見守り活動への支援、あんしんケアセンターの整備、認知症対策の各種施策に加え、民生委員・児童委員活動を実施することで、地域の見守りを直接・間接的に支援してきたところであり、着実に指標数値は伸びたところであるが、一部地域では少子高齢化により自治会などの主体そのものの活動力の低下傾向もみられ、目標値には達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
上記取組みを継続・充実することにより、地域の見守り活動を促進するとともに、地域包括ケアシステムの構築の推進により、地域で支え合う仕組みの強化及び様々な活動主体を育成していくことで、地域で見守られて安心して暮らすことができているという実感の醸成を図っていくこととする。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の整備	あんしんケアセンター	12か所	12か所増	24か所	24か所	達成	670,898
2	認知症疾患医療センターの設置	認知症疾患医療センター	—	設置	設置	設置	達成	5,950
3	地域見守り活動への支援	助成	4団体	30団体増	34団体	34団体	達成	4,553
4	若葉区地域福祉団体活動支援	地域福祉団体活動助成	—	10件/年	10件/年	10件/年	達成	480

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	成年後見支援センター運営	センターの運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達成	29,702
2	認知症サポーター養成	養成人数	11,511人	9,000人	21,000人	24,831人	達成	1,533
3	民生委員・児童委員活動	委員数	1,423人	1,434人	1,434人	1,460人	達成	553,671

政策評価シート 【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	53

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－2 地域生活支援の充実（高齢者）

指標名	あんしんケアセンターにおける相談受付件数	単位	件
-----	----------------------	----	---

指標の説明	あんしんケアセンターにおける相談受付件数	担当局（区）	保健福祉局
-------	----------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	33,000	39,000	43,000	◎
現状値	20,943	33,622	－	－	

目標設定の考え方	より多くの市民が気軽に相談することのできる窓口として、あんしんケアセンターの相談支援体制の拡充・強化を図ることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
平成26年度より、包括三職種（保健師または、地域保健等に関する相談業務の経験を有する看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員）の人数を82人から102人に増員したことに加えて、民生委員やケアマネジャーとの意見交換会や勉強会等にて、あんしんケアセンターの周知活動を積極的に行った結果、顔の見える関係を築くことができ、関係機関からの依頼も増加したことなどにより、相談受付件数が増加したものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後、研修等をさらに充実させ、包括三職種の資質向上を図り、より適切な相談援助を行っていけるよう取り組んでいく。 また、高齢者の増加に伴い、日常生活圏域を再設定し、あんしんケアセンターを増設するとともに、適切に包括三職種を増員し、より多く市民が気軽に相談できるよう機能強化を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の整備	あんしんケアセンター	12か所	12か所増	24か所	24か所	達成	670,898

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の運営	あんしんケアセンターの運営	12か所	24か所	24か所	24か所	達成	999,150

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－3 介護保険サービスの充実

指標NO	54
------	----

指標名	ヘルパー事業所や施設など、高齢者の介護を支えるサービスの提供体制が身近に充実している	単位	%
-----	--	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	40.0	45.0	50.0	△
現状値	33.5	34.9	—	—	

目標設定の考え方	超高齢社会において、介護が必要な高齢者の増加が見込まれることから、ヘルパー事業所や施設などの介護サービスの提供体制の充実など、サービス提供基盤の充実を図ることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
広域型特別養護老人ホームについては、計画のとおり選定することができた。 小規模特別養護老人ホームの整備が目標の116人増に対し29人に、社会福祉施設整備のうち複合型サービスが目標の6事業所増に対し2事業所増に、介護人材の確保が目標の250人支援に対し200人にとどまった。 小規模特別養護老人ホームの整備が目標に達しなかった理由は、東京オリンピック開催の影響で建築資材、労賃等の整備コストが高騰したにもかかわらず定員が29人と少ないことから、事業者の参入が低調となったためである。 また、複合型サービスの整備が目標に達しなかった理由は、看護師の確保が困難なためである。 さらに、介護人材の確保が目標に達しなかった理由は、各養成校の受講生が減少傾向にあることが推測される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
小規模特別養護老人ホームの整備については、東京オリンピック開催の影響は今後一層大きくなると見込まれることから、第6期介護保険事業計画に基づき、原則として募集しないこととした。 また、複合型サービスの整備については、看護師の確保が困難な状況は今後も続く見込まれることから、第6期介護保険事業計画に基づき、同サービスから訪問看護サービスを除いた小規模多機能型居宅介護の整備を優先させることとした。 さらに、介護人材の確保については、平成27年度より、住所や資格取得日等の要件緩和を実施したところであり、今後も助成件数の拡大に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホーム	定員 2,592人	460人増	3,052人	3,242人	達成	2,269,410
2	特別養護老人ホームの整備	小規模特別養護老人ホーム	定員 58人	116人増	174人	87人	未達成	
3	介護人材の確保	ホームヘルパー2級資格取得支援	—	250人	250人	200人	概ね達成	8,724

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	認知症介護等研修	修了人数	236人	708人	236人	233人(3か年平均243人)	達成	19,800
2	社会福祉施設整備 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス)	補助金の交付	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5事業所 複合型サービス 6事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 6事業所 複合型サービス 6事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 6事業所 複合型サービス 2事業所	未達成	33,428
3	介護保険サービス(居宅サービス)	サービス利用者数(見込み)	17,421人/年	61,753人	22,185人/年	23,831人/年	達成	76,594,425
4	介護保険サービス(施設・居住系サービス)	サービス利用者数(見込み)	6,565人/年	22,483人	7,972人/年	10,042人/年	達成	63,446,326



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

55

施策の柱	2－4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
施策	2－4－3 介護保険サービスの充実

指標名	介護保険サービス事業所数	単位	か所
-----	--------------	----	----

指標の説明	市内の介護保険サービスの事業所数	担当局（区）	保健福祉局
-------	------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	1,400	1,600	1,800	◎
現状値	1,192	1,435	－	－	

目標設定の考え方	過去の要支援・要介護認定者数の伸び率を踏まえ、必要な事業所数を確保することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
指定居宅サービス事業者等連絡会議等において、介護保険制度の改正、報酬改定等の情報提供を行うなど新規参入を促した結果、平成26年度末は目標値である1,400事業所を上回る結果となった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、指定居宅サービス事業者等連絡会議等において介護保険制度の改正、報酬改定等の情報提供を行い、民間事業者の参入を促す。また、地域密着型サービスとして、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などへの事業者の参入を促進していくほか、施設サービスとして、特別養護老人ホームの計画的な整備を推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別養護老人ホームの整備	特別養護老人ホーム	定員 2,592人	460人増	3,052人	3,242人	達成	2,269,410
2	特別養護老人ホームの整備	小規模特別養護老人ホーム	定員 58人	116人増	174人	87人	未達成	
3	介護人材の確保	ホームヘルパー2級資格取得支援	—	250人	250人	200人	概ね達成	8,724

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	認知症介護等研修	修了人数	236人	708人	236人	233人（3か年平均243人）	達成	19,800
2	社会福祉施設整備（定期巡回・随時対応型訪問介護看護、複合型サービス）	補助金の交付	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 5事業所 複合型サービス 6事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 6事業所 複合型サービス 6事業所	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 6事業所 複合型サービス 2事業所	未達成	33,428

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2－5－1 療育体制と相談支援の充実

指標NO	56
------	----

指標名	療育相談所における相談件数	単位	件
-----	---------------	----	---

指標の説明	療育相談所における新規相談件数	担当局（区）	保健福祉局
-------	-----------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	520	560	620	◎
現状値	472	619	－	－	

目標設定の考え方	障害の早期発見及び早期療育に向け、今後の事業展開を勘案し、件数を着実に増加させていくこととして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
平成26年度実績において、平成33年度目標値をほぼ達成している。その原因として、医療の発達や高齢出産の増加によって障害が疑われる子どもが増加していることが考えられる。また、市内に障害児の相談や診断、検査等を専門的におこなう医療機関が療育相談所しかないため、療育相談所の利用件数は増加している。
【課題及び今後の取組みの方向性】
利用件数が増加していることから、療育相談所の利用について、待機期間が生じており、今後はこの待機期間を短縮することが必要である。そのため、業務内容の精査や既存の人員配置の見直しを行うほか、必要により、相談や診断、検査等を行う職員（医師含む）の増員や相談室等のスペースの確保等に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	療育センター管理運営	療育センターの運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達成	557,475
2	発達障害者支援センター運営	発達障害者支援センター運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達成	93,369

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2－5－1 療育体制と相談支援の充実

指標NO	57
------	----

指標名	障害者相談支援事業における相談件数	単位	件
-----	-------------------	----	---

指標の説明	障害者相談支援事業における延相談件数	担当局（区）	保健福祉局
-------	--------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	43,000	54,000	68,700	✕
現状値	31,900	23,799	－	－	

目標設定 の考え方	障害のある人が地域で安心して暮らせる相談支援体制を充実していくこととして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 「サービス等利用計画（障害福祉サービスを利用するために必要な計画）」の作成対象者を拡大したことにより、障害者相談支援事業を実施している事業所（7か所）を含めた相談窓口が分散化し、障害者相談支援事業を実施している事業所における相談件数は減少した。なお、計画相談支援事業所は、平成25年4月に49事業所、平成26年4月に59事業所、平成27年4月に73事業所と年々増加している。 （参考）計画相談事業所を利用した障害者数 約14,500人（延人数）
【課題及び今後の取組みの方向性】 相談件数及び計画相談支援事業所設置の今後の状況により、必要な時は類似事業との整理・統合を検討する。

指標を構成する事業  
計画事業

（千円）								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域活動支援センターの整備	整備（Ⅰ型）	4か所	2か所増	6か所	6か所	達成	18,276

その他事業

（千円）								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者相談支援	相談支援事業所数	7か所	7か所	7か所	7か所	達成	233,199

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	2－5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2－5－2 地域生活支援の充実(障害のある人)

指標NO	58
------	----

指標名	地域で生活するようになった障害のある人の数	単位	人
-----	-----------------------	----	---

指標の説明	市内障害者支援施設等の入所者のうち、施設を退所し、地域での生活を始めた人の平成18年度からの累計	担当局(区)	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	436	470	510	○
現状値	275	394	－	－	

目標設定の考え方	今後も、各施策の展開により、障害のある人の地域生活への移行を着実に促進することとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 施設入所者の地域生活への移行者について、国の基本方針における平成26年度末の目標値(H17.10.1現在の入所者数の3割以上(240人))は達成しているものの、独自の上乗せを行って定めた目標値(436人)には達しなかった。 地域生活の主な受け皿となるグループホームの整備は計画通りに目標値を達成しており、第1期(平成18～20年度)・第2期(平成21～23年度)障害福祉計画に基づく地域生活への移行に取り組んだ結果、施設入所者における施設入所が真に必要と判断される者の割合が大きくなってきたことが原因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 障害者が地域で自立した生活を営むための居住の場としてグループホームの整備を引き続き進めていくとともに、地域移行に向けた相談機能の一層の充実や関係機関との連携の強化を図り、安心して暮らしていくための仕組みを強化する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域活動支援センターの整備	整備(Ⅰ型)	4か所	2か所増	6か所	6か所	達成	18,276
2	障害者グループホーム・ケアホームの整備	障害者グループホーム・ケアホーム	52施設	18施設増	70施設	70施設	達成	130,833
3	障害者施設の耐震改修	まあい広場 耐震改修	実施設計	工事	完了	完了	達成	4,422
4	障害福祉サービス事業所の整備	障害福祉サービス事業所の整備	—	改修	完了	改修工事	未達成	13,415

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	グループホーム等運営費補助	補助金の交付	19事業所	18事業所増	37事業所	5事業所	未達成	8,556
2	グループホーム等家賃助成	助成対象者数	2,199人	175人増	2,374人	3,118人	達成	84,047
3	地域活動支援センター運営補助	補助金の交付	13施設	9施設増	22施設	17施設	未達成	110,502
4	障害福祉サービス(訪問系サービス)	サービス利用者数(見込み)	806人/月	557人/月増	1,363人/月	1,199人/月	未達成	4,281,158
5	障害福祉サービス(グループホーム・ケアホーム)	サービス利用者数(見込み)	255人/月	115人/月増	370人/月	391人/月	達成	1,733,622

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	2－5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2－5－3 就労支援と社会参加の促進

指標NO	59
------	----

指標名	障害に対する理解が進み、障害のある人が地域で暮らしやすくなっている	単位	%
-----	-----------------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	20.0	25.0	30.0	△
現状値	16.1	17.5	－	－	

目標設定 の考え方	障害のある人の就労支援などにより自立した生活を促進するとともに、障害のある人の社会参加の促進などにより、障害に対する理解を進めることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
障害者への理解を促進する事業として、障害者福祉大会の開催、心の輪を広げる体験作文等の公募、心のふれあいフェスティバルの開催等、普及啓発事業に毎年取り組み、心のバリアフリーの促進に効果があったと考えられる。 また、「障害者就労支援講座パソコン・ビジネスマナー講座」は、受講生の進路が必ずしもパソコンを日常的に使用する業務ではなく軽作業が多いこと等から、平成25年度をもって廃止したが、「障害者職場実習事業」や障害者に対する他の就労支援事業である「障害者職業能力開発プロモート事業」等を平成26年度から開始した結果、新たに就労した障害者の数は、本実施計画指標No.60（新たに就労した障害のある人の数）のH27中間評価目標値を上回ることができ（目標値410人、H26末現状値439人）、障害のある方の自立した生活の促進に効果があったと考えられる。 これらの取組みなどにより、指標が向上したと考えられるが、市民が「障害のある人が地域で住みやすくなった」と大きく実感するまでには至らなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後も障害者への理解促進のための普及啓発事業にも引き続き取り組んでいくとともに、障害者の就労支援事業を充実させ、障害者の自立した生活を促進していく。同時に、平成28年4月に障害者差別解消法が施行されることから、法の趣旨に基づいた取組みの必要性を周知していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者の就労支援と社会参加の促進	障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座	定員 20名	定員 20名増	定員 40名	中止	中 止	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者福祉大会の開催	開催	1回	1回／年	1回	1回	達 成	2,381
2	心の輪を広げる体験作文等の募集	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集	1回	1回／年	1回	1回	達 成	275
3	心のふれあいフェスティバルの開催	心のふれあいフェスティバルの開催	1回	1回／年	1回	1回	達 成	450
4	明るいくらし促進事業	各種イベントの開催	開催	開催	開催	開催	達 成	3,245



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	60

施策の柱	2－5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2－5－3 就労支援と社会参加の促進

指標名	新たに就労した障害のある人の数	単位	人
-----	-----------------	----	---

指標の説明	障害のある人が年度内に一般就労を始めた件数（ハローワーク千葉及びハローワーク千葉南管内の企業における件数を人口比で按分）	担当局（区）	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	410	500	615	◎
現状値	315	439	－	－	

目標設定 の考え方	今後の事業展開を踏まえ、障害のある人の就労件数を着実に増加させることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
本市の障害者への就労支援事業を通じて、就労意向のある障害者に就労・生活面への一体的な就労支援を行うとともに、企業等に障害者雇用に関する啓発や相談対応を行い、ハローワーク等の就労支援機関に結びつける一方、平成25年4月1日より障害者の法定雇用率が1.8%から2.0%に引き上げられたことから、障害者の就労者数の増加につながったものと考えられる。 なお、「指標を構成する事業」の「主な取組項目」として、「障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座」を設定していたが、パソコン・ビジネスマナー講座については、受講後の進路先がパソコン技能を活かした職場ではなく軽作業が多いことや、平成25年4月に開校した千葉市立高等特別支援学校のカリキュラムの中で、本事業と類似した訓練が行われているため、本講座の必要性が薄れ、平成25年度末で事業廃止とした。しかし障害者の就労支援は、障害者が地域において自立した生活を営む共生社会をつくるためには必要不可欠なものであるため、平成26年度より新たに、一般就労を希望する障害者に対して、就職前に企業等で一定期間の実習を行う「障害者職場実習事業」を開始した。
【課題及び今後の取組みの方向性】
障害者職業能力開発プロモート事業や障害者職場実習事業をはじめとした本市の障害者就労支援事業をより充実させ、障害者の就労者数のさらなる増加を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者の就労支援と社会参加の促進	障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座	定員 20名	定員 20名増	定員 40名	中止	中 止	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者職業能力開発プロモート	障害者職業能力開発プロモート	実施	実施	実施	実施	達 成	12,938
2	千葉障害者就業支援キャリアセンターへの運営参画	千葉障害者就業支援キャリアセンターへの運営参画	実施	実施	実施	実施	達 成	21,572

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標NO	61
------	----

指標名	こどもが、学校でいきいきと学び、心身ともに健やかに成長している	単位	%
-----	---------------------------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	70.0	73.0	75.0	
現状値	69.1	77.4	—	—	

目標設定 の考え方	児童生徒の心身の健やかな成長は、未来を担う人材を育成するにあたり極めて重要であることから、児童生徒の学校生活を充実させ、学力の向上、豊かな人間性の育成及び健やかな体をつくることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
平成26年度末目標値に到達し、最終目標値も大きく上回っており、大変良好な状況である。また、千葉市学力状況調査や全国学力・学習状況調査において、「学校の勉強がわかりますか」や「学校に行くのが楽しいですか」という質問に肯定的に回答した児童の割合はそれぞれ、約88%、約85%と高くなっている。その要因として、各学校が授業改善に取組み、「わかる授業」に取り組んでいることや、学校適正配置等の学校設備の整備・充実、学校図書館指導員等の学習環境充実のための人的支援、市内の小・中・特別支援学校の児童や生徒が参加する総合展覧会や体育大会等の成果発表の機会の充実、農山村留学等の体験学習の推進等の諸施策により、「楽しい教室」「夢広がる学校」づくりの効果が総合的に表れてきているものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
これまでの成果を踏まえ、今後も千葉市学力状況調査を継続して実施し、学力や学習・生活の意識調査の結果を学校運営に生かしていくとともに、諸施策の成果と課題を整理し、効果的な環境整備や人的配置等を行っていく。また、学校教育の成果を広く一般市民にも周知していくことも重要であることから、学校教育に関する広報を継続して実施していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学力状況調査の実施	小・中学校学力状況調査	—	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	達成	64,319
2	学校適正配置(小・中学校の統合等)の推進	統合校 協議継続地区	5校 3地区	4校 3地区	9校 3地区	9校 3地区(協議継続:2地区、 協議完了:1地区)	達成	0
3	高等特別支援学校の整備	高等特別支援学校の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始	供用開始	達成	314,127
4	特別支援学級等設備の充実	新設学級への備品整備	98校	24校	122校	122校	達成	5,146
5	教育相談指導教室の整備	教育相談指導教室の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始	供用開始	達成	2,811
6	校舎の増築	新宿中学校増築	実施設計	工事	完了	完了	達成	687,722

その他事業

(千円)

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	児童生徒成果発表事業(総合展)	作品出品展示点数	3, 526点	10, 600点	3, 560点	3,527点	概ね達成	2,506
2	児童生徒成果発表事業(総合展)	入場者数	26, 285人	79, 600人	26, 500人	26,418人	概ね達成	
3	児童生徒成果発表事業(理科発表)	参加人数	371人	850人程度	400人	312人 (3か年平均 316人)	未達成	39
4	農山村留学推進事業	参加児童数	6年生全児童(約9000人)	6年生全児童(約27, 000人)	6年生全児童(約9000人)	6年生全児童(8,869人)	達成	136,223
5	移動教室推進事業	参加児童数	5年生全児童(約8,900人)	5年生全児童(約27,000人)	5年生全児童(約9,000人)	5年生全児童(8,375人)	達成	41,334
6	長柄げんきキャンプ	参加児童生徒数	特別支援学級等在学の全児童生徒(約830人)	特別支援学級等在学の全児童生徒(約2, 700人)	特別支援学級等在学の全児童生徒(約950人)	特別支援学級等在学の全児童生徒(933人)	達成	8,586
7	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	参加者数	児童生徒 約62,000人 保護者 約5,000人 地域参加者 約4,500人	参加者合計216,000人	参加者合計72,000人	参加者合計92,049人	達成	2,473
8	子どもの夢をはぐむ学校サポート推進事業	学校支援員の配置(配置校数)	小学校 68校 中学校 17校	小学校 85校 中学校 25校	小学校 85校 中学校 25校	小学校 79校 中学校 23校 特別支援学校2校	概ね達成	5,902
9	理科支援員等の配置	理科支援員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	32,134
10	小学校各種体育大会等	6年児童の参加率	87%	89%	89%	89.5%	達成	14,633
11	中学校体育大会・選手派遣	市内中学校千葉市総合体育大会への参加率	100%	100%	100%	100.0%	達成	24,901
12	学校図書館充実推進事業	学校図書館指導員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	659,978


政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	62

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標名	学校でのこどもの安全が守られている	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局（区）	教育委員会事務局
--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	61.0	63.0	65.0	
現状値	59.5	61.7	－	－	

目標設定の考え方	児童生徒が安全に安心して学べる環境の整備は極めて重要であることから、学校施設の耐震化や防犯教育などの安全対策、地域の見守り活動などを通じて値の向上を図ることを目指し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
学校施設の安全確保については、市内学校の校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行い、平成26年度末までに、校舎と屋内運動場の構造体の耐震化は概ね完了しているほか、防犯カメラを導入した学校では抑止効果で約85%以上の校舎及び敷地への侵入被害が減少していることに加え、学校セーフティーウォッチ事業に直接かかわる登録者数も年々増加していることや、学校防災アドバイザーを派遣する実践的防災教育総合支援事業を実施したことが認知されたことにより目標が達成されていると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
学校施設の安全確保については、屋内運動場等の非構造部材の耐震化を平成27年度完了を目指して取り組み、その他の施設についても平成28年度までの完了を目指すほか、学校施設の安全管理の徹底に向け、さらにきめ細かい安全点検がなされるよう指導していく。 また、比較的被害の多い下校時について見守り活動を充実していただけるよう学校セーフティウォッチャーに促して行くほか、災害時に的確に避難ができるよう学校防災アドバイザーを派遣し実践的な避難訓練を実施する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校防犯対策の推進	学校防犯カメラシステムの設置	50校	9校	59校	61校	達成	2,487
2	学校施設の安全確保	校舎の耐震補強	小学校 35校 中学校 12校	小学校 50校 中学校 25校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	完了	小学校 53校 中学校 23校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	達成	12,351,752
3	学校施設の安全確保	屋内運動場の耐震補強	小学校 37校 中学校 18校	小学校 44校 中学校 13校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	完了	小学校 44校 中学校 12校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	達成	
4	学校施設の安全確保	校舎の改築 緑町小学校、松ヶ丘中学校	工事	工事	完了	完了	達成	
5	校舎等の大規模改修	緑が丘中学校	実施設計	工事	完了	完了	達成	52,496

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校セーフティウォッチ	学校セーフティーウォッチャー登録者数	23,151人	599人増	23,750人	26, 855人	達成	3,088
2	実践的防災教育総合支援事業	学校防災アドバイザーの派遣	未実施	6校	6校	5校	概ね達成	162

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標NO	63
------	----

指標名	学力状況調査で県平均値を上回るポイント数	単位	点
-----	----------------------	----	---

指標の説明	学力状況調査における小学校5年生の平均正答率が県平均正答率を上回ったポイント数	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	---	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	2.4	2.5	2.6	✕
現状値	2.2	1.1	－	－	

目標設定の考え方	全教科の平均正答率が常に県内上位水準に到達するように目標値を設定した。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】 小学校5年生の学力状況調査は、国語・算数・理科・社会の4教科で実施しており、4教科の平均は、平成26年度末目標値に到達しなかった。教科毎にみると、国語と算数については目標値を達成しているが、理科と社会が下回っている。 その要因として、学習内容が増えたことや若年層教員の増加、様々な教育的ニーズに対応するための多忙化などが考えられる。また、各学校からの支援要望に応える人員配置を十分に行えなかったことも一因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 第1次実施計画における計画的な学力状況調査の実施により、結果に基づいた分析を通して教科毎の個別具体的な課題が確認されたことから、授業改善のための指導・助言を行う学校訪問や学校内外で実施される研修会等を通じて、指導法の工夫・改善を行い、「わかる授業」を推進し、児童の確かな学力の定着を図る。 また、平成25年度末との経年推移をみると、全教科とも上昇傾向にあるとともに、同時に実施している意識調査において、学習に対する意欲も増加傾向であるなど、これまでの取組に加え、「理科教育サポーター配置」や算数の学習支援を中心とする「学力向上サポーター配置」といった新たな事業の展開により、相乗的に成果が徐々に表れてきている。引き続きこれらの事業を実施するとともに、第2次実施計画事業や既存事業を効果的に組み合わせながら、きめ細かな指導を通じて、学ぶ意欲と確かな学力をはぐくみ指標の向上に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学力状況調査の実施	小・中学校学力状況調査	－	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	小学3、5年生 4教科 中学2年生 5教科	達成	64,319

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	理科支援員等の配置	理科支援員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	32,134
2	子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業	学校支援員の配置(配置校数)	小学校 68校 中学校 17校	小学校 85校 中学校 25校	小学校 85校 中学校 25校	小学校 79校 中学校 23校 特別支援学校2校	概ね達成	5,902



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

64

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標名	千葉県運動能力証の合格率(小学生)	単位	%
-----	-------------------	----	---

指標の説明	千葉県運動能力調査で総合評価がA段階だった小学生の割合	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	-----------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	25.6	25.8	26.0	
現状値	25.4	26.9	－	－	

目標設定の考え方	今後も児童の体力・運動能力の向上に係る取組みを推進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】  
H26末現状値は、H27中間評価における目標値を達成しており、また、H34最終評価の目標値も上回っている。達成できている要因としては、各小学校で、朝や休み時間等の空いた時間を活用したり、自分の進捗具合をカードなどに表し目標を明確化したりするなどの工夫をしたことが大きいと考えられる。また、体育主任会や学校体育経営推進研修会等の研修会を活用し、市全体の児童の体力の実態や課題を各学校で共有したり、学校毎に「体力向上推進委員会」等で自校児童の実態を捉え、具体的な体力向上の方法を検討、実践していることが指標の達成につながったものと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
今後も、さらに合格率を向上させるため、今の取組みを継続し、体育学習の一層の充実を図り、体育好き、運動好きな児童を育成していく。また、市内の学校が、児童の体力向上の取組みを、さらに充実、推進できるよう、体育主任会や学校体育経営推進研修会等の研修会を活用し、支援をしていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	小学校各種体育大会等	6年児童の参加率	87%	89%	89%	89.5%	達成	14,633
2	中学校運動部活動指導者派遣事業	希望校への派遣率	100%	100%	100%	100.0%	達成	7,533
3	千葉市小学校運動能力検定	交付の割合	26%	28%	28%	25.8%	未達成	242

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

65

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標名	千葉県運動能力証の合格率(中学生)	単位	%
-----	-------------------	----	---

指標の説明	千葉県運動能力調査で総合評価がA段階だった中学生の割合	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	-----------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	23.9	24.2	24.5	◎
現状値	23.6	26.3	－	－	

目標設定の考え方	今後も生徒の体力・運動能力の向上に係る取組みを推進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 H26末現状値は、H27中間評価における目標値を達成しており、また、H34最終評価の目標値も上回っている。目標を達成した要因としては、各中学校で「保健体育学習を中心とした活動」(補強運動、5分間走等)や「保健体育以外の活動」(体育館の開放、スポーツ大会の開催等)が定着し、生徒の基礎体力が向上していることが考えられる。また、保健体育主任会や学校体育経営推進研修会等の研修会を活用し、市全体の生徒の体力の実態や課題を各学校で共有したり、学校毎に「体力向上推進委員会」等で自校生徒の実態を捉え、具体的な体力向上の方法を検討、実践していることが指標の達成につながったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も、さらに合格率を向上させるため、今の取組みを継続することで、保健体育学習の一層の充実を図り、体育好き、運動好きな生徒を育成していく。また、市内の学校が、生徒の体力向上の取組みを、さらに充実、推進できるよう、保健体育主任会や学校体育経営推進研修会等の研修会を活用したり、学校毎の「体力向上推進委員会」を活用し、支援をしていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	中学校体育大会・選手派遣	市内中学校千葉市総合体育大会への参加率	100%	100%	100%	100%	達成	24,901
2	中学校運動部活動指導者派遣事業	希望校への派遣率	100%	100%	100%	100%	達成	7,533
3	運動部活動地域連携再構築事業	希望校への派遣率	100%	100%	100%	100%	達成	2,529

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3	
指標NO	66

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標名	読書の習慣のある児童の割合	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	一週間に1時間以上読書する小学校5年生児童の割合	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	--------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	47.5	50	52.5	✕
現状値	45.6	45.2	－	－	

目標設定の考え方	今後も児童への読書指導を一層充実させることとし、目標値を設定した。
----------	-----------------------------------

【達成状況の分析】 児童の主体的な読書活動のために、学校図書館を活用した探究的な学習を行ったり、朝読書や発達段階に応じた読み聞かせなどを通して読書に対する興味関心を高めたりする取組を推進しているところであるが、平成26年度末は目標値の47.5%に到達しなかった。 原因として考えられるのは、学校においては読書習慣が身に付いているものの、その習慣が家庭では十分活かされていないということである。さらに、本指標は家庭での読書習慣についての調査であるため、放課後の家庭での過ごし方が影響する。高学年になると、習い事等で家庭における読書の時間の確保が難しいということが、原因のひとつと考えられる。教育に対する保護者の価値観の多様化により、このような傾向は年々強まると思われる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 家庭との連携を図った読書教育が課題であり、読書教育の重要性について保護者への啓発を図っていくことが重要となる。具体的には、保護者会や図書だより等を通して読書教育に対する理解を深めたり、保護者への学校図書館の開放を推進して保護者の関心を高めたりする取組みの充実を図る。家庭における読書は、低学年のうちからの習慣が大切になるため、中央図書館から配付されている「まほうの読書ノート」を活用して、親子で共に読書に親しむ機会を増やすための支援も行っていく。 さらに、学校においては、児童の読書意欲を高めるために配置されている学校図書館指導員との連携を図り、個に応じた図書紹介を積極的に行ったり、学習に役立つ図書の更新を図ったりしながら、より魅力的な学校図書館の運営に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校図書館充実推進事業	学校図書館指導員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	659,978

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標NO	67
------	----

指標名	不登校児童の学校復帰率	単位	%
-----	-------------	----	---

指標の説明	小学校の不登校児童のうち、学校に定期的・継続的に登校できるようになったと認められる者の割合	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	---	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	33.1	36.1	40.0	◎
現状値	30.1	43.1	－	－	

目標設定 の考え方	不登校の未然防止や早期発見・早期対応、さらには不登校児童の自立支援のためには、各学校の主体的取組が重要であることから、魅力ある学校づくりや児童への指導を推進することとし、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
小学校の不登校児童のうち、学校に登校できるようになったと認められる児童は、25年度37.6％、26年度43.1％と年々増加し、目標を達成することができた。要因としては、各学校が主体的に不登校の未然防止や早期発見・早期対応に取り組んだり、農山村留学や移動教室を通して、魅力ある学校づくりや児童の心の居場所づくりを推進してきた成果である。不登校になりそうな児童がいる場合は、状況に応じて、スクールカウンセラーによるカウンセリングを行うとともに、家庭に問題がある場合には、スクールソーシャルワーカーが支援にあたり、早期解決に努めている。
【課題及び今後の取組みの方向性】
さまざまな問題を抱えた児童が、今後も増えることが予想され、学校だけで解決するには困難な状況も多い。 現在、小学校においては、市内6校を拠点校として配置されたスクールカウンセラーが、巡回校2校を担当する巡回方式により18校の支援をしている。それ以外の小学校には学区中学校のスクールカウンセラーが支援する。今後、さまざまな問題の低年齢化等を踏まえ、配置等を検討する。また、家庭に問題を抱えた児童が増えることも予想され、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用についても、検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	農山村留学推進事業	参加児童数	6年生全児童(約9000人)	6年生全児童(約27,000人)	6年生全児童(約9000人)	6年生全児童(8,869人)	達成	136,223
2	移動教室推進事業	参加児童数	5年生全児童(約8,900人)	5年生全児童(約27,000人)	5年生全児童(約9,000人)	5年生全児童(8,375人)	達成	41,334
3	スクールカウンセラー活用	配置校数	57校(全中学校)	全中学校	全中学校	全中学校	達成	278,450
4	適応指導教室設置	設置か所数	5か所	5か所	5か所	5か所	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

68

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－1 学校教育の振興

指標名	不登校生徒の学校復帰率	単位	%
-----	-------------	----	---

指標の説明	中学校の不登校生徒のうち、学校に定期的・継続的に登校できるようになったと認められる者の割合	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	---	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	34.0	36.4	40.0	
現状値	31.6	35.9	—	—	

目標設定の考え方	不登校の未然防止や早期発見・早期対応、さらには不登校生徒の自立支援のためには、各学校の主体的取組が重要であることから、魅力ある学校づくりや生徒への指導を推進することとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】  
中学校の不登校生徒のうち、学校に登校できるようになったと認められる生徒は、25年度32. 3%、26年度35. 9%と年々増加している。これは、各学校が主体的に不登校の未然防止や早期発見・早期対応に取り組んだことによる。不登校になりそうな生徒がいる場合は、中学校全校に配置しているスクールカウンセラーによるカウンセリングを行うとともに、家庭に問題がある場合には、スクールソーシャルワーカーが支援にあたり、早期解決に努めている。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
さまざまな問題を抱えた生徒がさらに増えることが予想され、学校だけで解決するには困難な状況も多い。家庭に問題を抱えた生徒が増えることが予想されることから、スクールソーシャルワーカーの活用について、検討していく。不登校になった場合には、少人数での個別指導を通して、学校生活への復帰を目指すため市内5区に設置している適応指導教室（ライトポート）や、通常学級に近い教育課程での活動を通して、学校生活への復帰を目指す真砂中学校教育相談指導教室等との連携・協力を図り、早期の学校復帰を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	教育相談指導教室の整備	教育相談指導教室の整備	—	改修工事、備品整備	供用開始	供用開始	達成	2,811

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	スクールカウンセラー活用	配置校数	57校（全中学校）	全中学校	全中学校	全中学校	達成	278,450
2	適応指導教室設置	設置か所数	5か所	5か所	5か所	5か所	達成	0
3	教育相談指導教室運営	設置か所数	1か所	1か所	1か所	1か所	達成	888



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－2 地域の教育力の向上

指標NO	69
------	----

指標名	日頃、地域でこどもへの声かけや見守り活動を行っている	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	18.0	19.0	20.0	✕
現状値	16.7	13.8	—	—	

目標設定 の考え方	今後も、地域でのこどもへの声かけや見守り活動を通じたこどもの安全確保や、地域とこどもとの交流を促進することとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
学校セーフティウォッチの事業に関わっている人の数は、増加してはいるものの活動者が限られており、その人材も固定化・高齢化している。それ以外の人々が、日常で子どもに声をかける行為については、防犯上の観点から敬遠されてしまうことも、目標値に達しなかった要因であると考えられる。 また、地域の人の関わる場所である放課後子ども教室については、多くの学校で指導員や協力員の人材不足や意欲低下が顕在化しており、参加率が低迷し、目標を達成することができなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
学校セーフティウォッチ事業への参加について、地域の方や保護者により一層働きかけていくほか、不審者等から子どもたちを守る側の者が、子どもから警戒されることにならぬよう「見守りの側」であることを明らかにする必要がある。より手軽に活動できるよう、目印となるものを身に着ける等、町内会、育成委員会等で検討するように働きかける。 また、放課後子ども教室では、新たな担い手の確保や活性化が課題であるため、既存の活動支援の取組みを引き続き実施していくとともに、民間企業や大学等の協力を得ながら、より多様で魅力的な体験・学びの機会の提供につながる活動支援方法を検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	0
2	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校セーフティウォッチ	学校セーフティーウォッチ登録者数	23,151人	599人増	23,750人	26,855人	達成	3,088

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－2 地域の教育力の向上

指標NO	70
------	----

指標名	市内の学校は地域に開かれている	単位	%
-----	-----------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	44.0	47.0	50.0	✕
現状値	40.6	40.0	—	—	

目標設定 の考え方	特別教室などの学校施設の開放などを通じて、引き続き地域に開かれた学校づくりを推進していくこととして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
地域に開かれた学校づくり及び子どもをはじめとした地域住民の学習活動や交流活動を促進するため、多くの市民が利用している「学校体育施設開放」をはじめ、第1次実施計画事業やマニフェスト事業等の様々な取組みを実施してきたところであるが、26末目標値に到達しなかった。 実施計画事業「特別教室開放の推進」は、計画内容を前倒して各区1校の開放を実施しているものの、全市で6校と実施校が一部に限られていることや開放教室の設備・備品の使用について、学校の施設管理の状況と利用団体のニーズが一致しないことなどから、一部では利用が伸び悩んでいる。もう1つの実施計画事業「放課後子ども教室の推進」については、市内全小学校で実施しているものの、多くの学校でボランティア人材の不足などの課題があり、参加指導員・協力員数、参加児童数ともに目標値を下回っている。 以上のような要因から、学校を活用する事業に対する、市民の利用状況・参加状況自体が低調であることにより、目標の達成に至らなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
第1次実施計画で取り組んだ「特別教室開放の推進」については、利用が伸び悩んでいることから、今後は利用団体や学校との調整、地域への働きかけにより、さらなる利用促進に努める。第1次実施計画で未達成であった「放課後子ども教室の推進」については、ボランティア登録制度等による指導員・協力員の確保に加え、今後は民間企業・大学等の協力を得ながらより多様で魅力的な体験・学びの機会の提供を検討し、参加者・協力者の増加を図る。 両事業の改善を進めるとともに、マニフェスト事業及び第2次実施計画事業として検討が進められている「学校施設開放の推進」などとも整合を図り、多様な取組みによって地域に開かれた学校づくりを推進します。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	特別教室開放の推進	実施校の拡充	2か所	3か所	5か所	6か所	達成	1729
2	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	11993
3	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	11993

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校体育施設開放	利用回数(市民1人あたり)	2.56回	0.1回増	2.66回	2.42回	未達成	73,216
2	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	参加者数	児童生徒 約62,000人 保護者 約5,000人 地域参加者 約4,500人	参加者合計216,000人	参加者合計72,000人	参加者合計92,049人	達成	2,473

政策評価シート 【個票:客観指標】

別紙 3

指標NO

71

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－2 地域の教育力の向上

指標名	学校セーフティウォッチャーの登録者数	単位	人
-----	--------------------	----	---

指標の説明	学校セーフティウォッチャーの登録者数	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	--------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	23,750	24,200	24,600	◎
現状値	23,151	26,855	－	－	

目標設定の考え方	今後も着実に登録者数を増加させていくこととして目標値を設定した。
----------	----------------------------------

【達成状況の分析】  
小学校の保護者が、PTA等の働きかけにより全員の登録をする学校が増えてきていることに加え、地域協力者の継続的な登録が目標の達成につながっていると考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
登録者の8割以上が保護者であり、地域協力者の割合は減少傾向にある。学校の開校日に活動するため、多くの実働回数や、下校時間の見守りが柔軟に対応いただける地域協力者の登録を、学校を通じて育成委員会、町内会に継続して呼びかけていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	学校セーフティウォッチ	学校セーフティウォッチャー登録者数	23,151人	599人増	23,750人	26, 855人	達成	3,088

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	72

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－2 地域の教育力の向上

指標名	放課後子ども教室参加率	単位	%
-----	-------------	----	---

指標の説明	全児童に占める放課後子ども教室に参加した児童の割合	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	---------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	13.5	14.0	14.5	✕
現状値	13.0	12.8	－	－	

目標設定の考え方	今後も着実に参加児童数を増加させていくこととして目標値を設定した。
----------	-----------------------------------

【達成状況の分析】 保護者を中心とした地域のボランティアにより運営を行っているが、事業開始から8年が経過し、多くの学校でボランティア人材の不足や意欲低下が顕在化している。 また、人材不足により「保護者の参加」を児童の参加条件としている教室もあり、就労家庭の児童が参加できない状況が発生している。 そのため、コーディネーター・学習アドバイザーの配置基準の見直し、科学関係、ちば生涯学習ボランティアセンター、埋蔵文化財調査センター、中央図書館等の活動支援プログラムの充実等の既存の取組みに加え、平成26年度には、各教室の活動計画や運営の中心的な役割を担うコーディネーターの全校一律の複数配置、指導員や協力員の活動を支援する相談アドバイザーの派遣、地域住民だけでなく広くボランティアを募集するためのボランティア登録制度を行うことで、指導員や協力員の負担軽減を含めた活動支援を行ってきたが、十分な効果をあげていない。
【課題及び今後の取組みの方向性】 新たな担い手の確保や活性化が課題であるため、既存の活動支援の取組みを引き続き実施していくと共に、今後は、民間企業や大学等の協力を得ながら、学習の楽しさの発見など、より多様で魅力的な体験・学びの機会の提供につながる活動支援方策を検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	11,993
2	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	11,993
3	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－1 未来を担う人材を育成する
施策	3－1－3 こどもの参画の推進

指標NO	73
------	----

指標名	こどもが地域などで意見を述べる場・発言する場がある	単位	%
-----	---------------------------	----	---

担当局（区）	こども未来局
--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	16.0	20.0	25.0	△
現状値	11.5	12.8	－	－	

目標設定の考え方	こどもの頃から主体性や自立心を育むことが重要であるため、こどもの参画推進事業などにより意見を述べる場づくりを充実させることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
こどもが地域などで意見を述べる場・発言する場があると感じられるようにするため、指標を構成する各事業を実施しており、事業別のH26末目標値は「こども・若者のカフォーラム」を除き、達成又は概ね達成しているところであるが、市民アンケートの結果は、H27年中間評価の目標値の16.0%に到達しなかった。H27年中間評価の目標値に到達しなかった原因としては、「こども・若者のカフォーラム」事業の参加者数が目標値に達していないことも要素の1つとして考えられるが、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないこと等が主なものとして考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
指標を構成する事業は、「こども・若者のカフォーラム」を除き、H26末目標値を達成又は概ね達成しているが、市民アンケートの結果につながっていないということは、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないと考えられる。今後、各事業の趣旨及び効果等を、市民により丁寧に説明するなど、一層の周知を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こどもの参画の推進	こども・若者のカワークショップ	2区で開催	4区で開催	全区で開催	6回(計5区で開催)	概ね達成	0
2	こどもの参画の推進	こども人材バンク登録数	60日	90人増	150人	245人	達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達成	0
4	キッズ・アントレプレナーシップ(起業家精神)教育の推進	子ども起業塾	1か所	2か所拡充	3か所	3か所	達成	200
5	若葉区の魅力伝承	情報発信	情報サイトの構築	サポーター任命 魅力会議 情報サイトの充実	魅力情報の収集・発信	魅力情報の収集・発信★	達成	132

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こども・若者のカフォーラム	参観者数	181人	255人	255人	H26 123人	未達成	3,293
2	こどものまちCBT	参加者数	333人/日	330人/日	330人/日	H26 403人/日	達成	300
3	職場探検＆ランチミーティング	参加者数	3コース 47人	3コース 60人	2コース 40人	H24 3コース 25人 H25 3コース 35人 H26 3コース 36人	概ね達成	3,293
4	子ども議会	子ども議会	66人	66人	66人	67人	達成	546



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	74

施策の柱	3-1 未来を担う人材を育成する
施策	3-1-3 こどもの参画の推進

指標名	こどもの参画事業参加人数	単位	人
-----	--------------	----	---

指標の説明	こどもの参画事業(「こども・若者のカワークショップ」「こど・若者のカフォーラム」「職場探検＆ランチミーティング」「こどものまちCBT【コアスタッフ】」「子ども議会」「子ども大学」等)への参加人数	担当局(区)	こども未来局
-------	---	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	350	440	550	○
現状値	279	331	—	—	

目標設定の考え方	こどもの参画事業の各イベントについて、ホームページ等による広報・PRを充実させることとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
こどもの参画事業は、①子どもの意見を市政やまちづくりに反映することにより、千葉市が活性化すること、②そのような体験を通じ、子どもが将来的に市政やまちづくりに積極的に参画する大人へと成長すること、を目指し事業を展開している。 こどもの参画事業として、指標を構成する各事業を実施しており、事業別のH26年末目標値は、ほぼ「達成又は概ね達成」となっているが、「未達成」である「こども・若者のカフォーラム」などの参加人数を踏まえると、H27中間評価の目標値の350人に到達しなかった。 原因としては、参画事業の趣旨及び効果が市民にうまく伝わっていないこと、また、例えば「こども・若者のカワークショップ」事業における検討テーマの設定などにおいて、子どもの興味・関心を引くようなテーマ設定にやや欠けることがあった、等が考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市政だよりへの掲載、小中学校や高校への周知等、こどもの参画事業への参加募集に力を入れているところであるが、一部の意識が高い子どもの参加のみにとどまっている現状があるため、今後は、より多くのこども・若者が各事業に参加するよう、事業趣旨や効果を丁寧に子どもとその保護者に説明するなど、参加者募集に力を入れていく。 また、例えば「こども・若者のカワークショップ」の検討テーマを子どもにとって興味・関心を引くものにするなど、子どもが参加したいと思う事業展開を心掛けていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こどもの参画の推進	こども・若者のカワークショップ	2区で開催	4区で開催	全区で開催	6回(計5区で開催)	概ね達成	0
2	こどもの参画の推進	こども人材バンク登録数	60日	90人増	150人	245人	達成	0
3	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達成	632

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こども・若者のカフォーラム	参観者数	181人	255人	255人	H26 123人	未達成	3,293
2	職場体験＆ランチミーティング	参加者数	3コース 47人	3コース 60人	2コース 40人	H24 3コース 25人 H25 3コース 35人 H26 3コース 36人	概ね達成	3,293
3	こどものまちCBT	参加者数	333人/日	330人/日	330人/日	H26 403人/日	達成	300
4	子ども議会	子ども議会への参加者数	66人	66人	66人	67人	達成	546
5	子ども大学	参加者数	—	市内小中学生を対象に 20人参加	市内小中学生を対象に 20人参加	H24～26 実施せず	休止	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標NO	75
------	----

指標名	この1年間に、生涯学習施設を利用したことがある	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局（区）	教育委員会事務局
--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	54.0	57.0	60.0	✕
現状値	50.3	44.1	－	－	

目標設定の考え方	市民のニーズに応じた生涯学習の機会を提供し、市民生活を豊かなものとするとともに地域社会の課題解決などに活かすため、生涯学習施設の利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
生涯学習施設の利用促進のため、さまざまな事業に取り組んできたが、老朽化が進む公民館の改修が目標を下回るなど、より利用しやすい施設の提供ができなかったことから、この1年間の生涯学習施設の利用率が目標を下回る44.1%にとどまってしまった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
継続して、第2次実施計画に計上した公民館の改築や改修を行い利用環境を改善していくほか、公民館等の生涯学習施設で施設の利用のきっかけとなるような講座を検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0
2	公民館の改修	冷暖房改修	－	4館	4館	3館	未達成	70,737
3	公民館の改修	屋上防水改修	－	8館	8館	3館	未達成	
4	読書環境整備の推進	計画の策定	－	調査、策定	策定	策定	達成	0
5	図書館の改修	みやこ図書館	－	空調設備改修	空調設備改修 完了	空調設備改修 完了	達成	69,611
6	真砂コミュニティセンターの再整備	耐震補強	－	耐震診断、設計、工事	耐震補強完了	耐震補強	未達成	223,854
7	真砂コミュニティセンターの再整備	施設改修	－	改修工事	改修工事完了	改修工事	未達成	
8	コミュニティセンターの改修	中央コミュニティセンター松波分室(耐震補強)	－	設計・工事	完了	完了	達成	219,125
9	コミュニティセンターの改修	幕張コミュニティセンター(外壁・屋上防水改修)	－	設計・工事	完了	完了	達成	
10	コミュニティセンターの改修	畑コミュニティセンター(耐震補強、外壁・屋上防水改修)	－	設計・工事	完了	完了	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	生涯学習センター管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、研修室等の貸出(年間延受講者数)	52,233人	160,500人	54,000人	45,945人(3か年平均)	未達成	1,645,691
2	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援(年間入館者数)	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744
3	公民館管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、施設の貸出(年間延受講者数)	47,121人	144,000人	49,000人	42,489人	未達成	1,268,981
4	加曽利貝塚博物館管理運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
5	郷土博物館管理運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
6	図書館管理運営事業	施設の管理・運営	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	達成	0

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標名	生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会活動で活かしている	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	教育委員会事務局
--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	9.6	10.3	15.0	
現状値	8.8	10.0	－	－	

目標設定の考え方	市民が生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会で活かすことにより、地域の活力の向上などを図ることとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
市民が生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会で活かせるようになるため、地域づくりにつながる学習講座等の開催や、ちば生涯学習ボランティアセンターの運営等を行っており、平成26年度末は10.0%と目標を達成した。 これは、地域づくりにつながる学習講座への参加者数や、ちば生涯学習ボランティアセンターにおける情報発信・コーディネート件数が目標を達成するなど、順調に推移したためである。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後更なる高齢化が予想されており、担い手不足により地域の組織力が低下することも考えられるため、現在の取組みを継続して行うとともに、地域づくりにつながる学習講座についても伸ばしていき、地域の組織力の低下を防いでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	0
2	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	0
3	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0
4	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0
5	家庭教育を支援する学習の推進	家庭教育支援チーム	1区	1区増	2区	2区	達成	0
6	家庭教育を支援する学習の推進	子育てサポーター	3人／区	3人／区増	6人／区	5.5人／区	概ね達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	ボランティアの登録受付（登録者数）	個人313人 団体66団体	個人400人 団体85団体	個人400人 団体85団体	個人341人 団体80団体	未達成	543,433
2	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	情報の発信及びコーディネート（コーディネート件数）	118件	118件	150件	198件	達成	

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3	
指標NO	77

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標名	科学・技術に興味を持っている	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局（区）	教育委員会事務局
--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	40.0	45.0	50.0	✕
現状値	34.9	33.4	－	－	

目標設定 の考え方	市民が科学・技術を身近に感じることができる環境づくりを進めるため、イベントや講座の開催などにより科学・技術に興味を持つ市民を増加させていくこととして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
市民に科学・技術を身近なものに感じてもらうため、科学館の設置をはじめ、科学館などで実施している科学フェスタの開催や未来の科学者育成プログラムなどの各種事業を展開している。 しかしながら、各事業への参加者数が市民全体からすると少数であることや、中学生・高校生に限定されているなど、対象範囲が全体的に狭いことから、科学・技術に興味を持っている市民の割合が33.4%と目標を下回ることとなってしまった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後は、子どもから大人まで、全ての世代を対象とした科学イベント・講座の開催やそのPRを積極的に進めていくなど、幅広い世代から興味をもってもらえるような事業展開に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173事業／年	27事業／年増	200事業／年	364事業／年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援（年間入館者数）	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744
2	未来の科学者育成プログラム	参加者数	未実施	92名	35名／年	65名／年	達成	0
3	理科支援員等の配置	理科支援員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	32,134

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標NO	78
------	----

指標名	公民館を利用する市民の割合	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	1年間に公民館を利用したことがある人の割合	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	-----------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	24.0	－	30.0	✕
現状値	21.5	21.4	－	－	

目標設定の考え方	市民のニーズに応じた学習機会を提供し、市民生活を豊かなものとするとともに地域社会の課題解決に活かすため、公民館の利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 公民館の利用促進のため、さまざまな事業に取り組んできたが、老朽化が進む公民館の改修が目標を下回るなど、より利用しやすい施設の提供ができなかったことから、公民館を利用する市民の割合が目標を下回る21.4%にとどまってしまった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後は、第2次実施計画に計上した公民館の改修事業について取り組んでいくとともに、これに計上できなかったものについても、次期実施計画に計上するよう検討を進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0
2	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0
3	公民館の改修	冷暖房改修	－	4館	4館	3館	未達成	70,737
4	公民館の改修	屋上防水改修	－	8館	8館	3館	未達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	公民館管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、施設の貸出（年間延受講者数）	47,121人	144,000人	49,000人	42,489人	未達成	1,268,981



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標NO	79
------	----

指標名	1人あたり貸出図書冊数	単位	冊
-----	-------------	----	---

指標の説明	1年間に千葉市図書館及び公民館図書室で貸出された図書の市民1人あたりの冊数	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	---------------------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	5.7	6.0	6.3	✕
現状値	5.4	5.0	－	－	

目標設定 の考え方	政令指定都市の中で上位に入るレベルを目指すこととして目標値を設定した。
--------------	-------------------------------------

【達成状況の分析】
1人当たりの貸出図書冊数のH27中間評価値が、H23末の現状値より下がってしまった主な原因としては、千葉市図書館及び公民館図書館の来館者が減少し（H24年度2,763,818人、H25年度2,686,226人、H26年度2,691,594人）、それに伴い貸出冊数（H24年度5,231,520点、H25年度5,025,338点、H26年度4,833,643冊）も減少したため、目標値を達成できなかったと考えられる。来館者の減少の要因としては、スマートフォンの普及など余暇の過ごし方が変化し、読書機会が減少するといった社会的要因のほか、開館日・開館時間内に図書館に行くことができないなど、図書館施設に係る要因も考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
利用者のニーズや、図書館に求められているサービスが多様化していることから、話題性のある本やリクエスト本の購入など資料の充実に努める。また、子どもの自主的な読書活動を推進していくため、「子ども読書活動推進計画」を策定し、家族で読書に親しむ機会を創出するための「ファミリー読書の日」の制定、イベントの実施により来館者の増加を図ることなどにより、幼少期から本に親しみ、生涯にわたる読書活動につながる取組みを目指す。他にも、図書館の空白地帯を解消し、図書館サービスの拠点整備を図るため、瑞穂地区の整備を進めていくとともに、利用者の利便性の向上を図るため、地区図書館のうち1館をサービスポイントとしての整備を検討する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	読書環境整備の推進	計画の策定	－	調査、策定	策定	策定	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	中央図書館サービス事業	資料の収集整理、レファレンス（相談業務）など（貸出冊数）	1,323,246冊	4,068,000冊	1,389,000冊	1,211,908冊	未達成	0
2	地区図書館管理運営	資料の収集整理、レファレンス（相談業務）など（貸出冊数）	2,874,462冊	8,838,000冊	3,018,000冊	2,693,329冊	未達成	0
3	公民館図書室管理運営事業	公民館図書室運営（貸出冊数）	1,033,812冊	3,178,000冊	1,085,000冊	925,882冊	未達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－1 生涯学習の推進

指標NO	80
------	----

指標名	科学フェスタのイベント数	単位	事業
-----	--------------	----	----

指標の説明	科学フェスタに関係する様々なイベントの実施数(サテライトイベント等も含む)	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	---------------------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	200	225	250	◎
現状値	173	322	－	－	

目標設定の考え方	関係機関との連携の強化などにより、イベント数の増加を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 H23年度末と比べて2倍程度の増となっているほか、既にH34年度の最終評価目標値も達成しているなど、十分に成果として表れていると言える。 科学フェスタのメインイベントの定着とともに、サテライトイベントとして実施できている部分が多い。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後さらにイベント数を増加させるためには、主に科学館で実施する科学フェスタメインイベントに関しては、回数的にもスペース的には限界に達しているため、様々な場所で行うサテライトイベントの充実を重点的に進めていく。 また、単純にイベント数の増加だけでなく、対象世代を確認し、より幅広い世代に事業展開できているかや、様々なレベルの参加者へアプローチするためイベントの質的側面にも注目していく必要があるほか、産業界との連携をさらに進めていくことも必要である。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173事業／年	27事業／年増	200事業／年	364事業／年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援(年間入館者数 )	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO	81
------	----

指標名	週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	35.0	40.0	45.0	△
現状値	29.1	29.7	－	－	

目標設定 の考え方	スポーツ・レクリエーションに関する意識・関心の向上や機会の充実を図ることとして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
市民のスポーツ・レクリエーションの振興は、市民の健康づくりをはじめ、地域の活性化や地域づくりに寄与するため、市民ニーズに対応した情報発信や指導者養成、各種スポーツ・レクリエーション団体との連携、適切な施設管理に努めてきたところであるが、平成26年度末中間目標値（35.0％）に達しなかった。 「千葉市スポーツ推進計画策定に関わる市民意識調査（平成26年実施）」より、週に3回以上スポーツ・レクリエーションを行う人は7.3ポイント（H21年：8.9％→H26年：16.2％）増加しているのに対し、スポーツ・レクリエーションをほとんど行っていない人は11.6ポイント（H21年：33.6％→H26年：45.2％）増加していることより、社会状況の変化に伴いライフスタイルが多様化し、余暇活動の選択肢が広がったことなどにより、スポーツ・レクリエーションの活動を実施する人とならない人の二極化が進んできていることが推測される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市民の誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションへの関心や参加機会が持てるよう、情報発信や各種スポーツ・レクリエーション団体との連携、適切な施設管理に努めていく。 また、「次期スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	海浜地区スポーツ広場の整備	海浜市民運動場	－	用地取得	用地取得	中止	中 止	0
2	高洲市民プールの整備	プール・体育館の建替え	－	設計・工事	設計・工事	設計	未達成	110,777
3	公園緑地の整備（蘇我スポーツ公園）	蘇我スポーツ公園	供用 22.5ha	用地取得 約3.3ha 第3駐車場・第1多目的グラウンドの整備 4.1ha	供用 26.6ha	供用 53.6ha	達 成	2,149,382
4	こてはし温水プールの改修	ガラスドーム改修	－	設計・工事	完了	完了	達 成	18,325

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	スポーツ施設管理事業	維持・管理	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	達 成	1,645,187
2	スポーツ活動支援	地区スポーツ教室開催	85教室	5教室増	90教室	79教室	未達成	10,724
3	スポーツ大会開催	家庭バレーボール大会・少年球技大会開催	353チーム	10チーム増	363チーム	344チーム	未達成	2,775
4	学校体育施設開放	利用回数（市民1人あたり）	2.56回	0.1回増	2.66回	2.42回	未達成	73,216

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO	82
------	----

指標名	市内のプロスポーツチームや市にゆかりのあるスポーツ選手に親しみを感ずる	単位	%
-----	-------------------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	43.0	47.0	50.0	✕
現状値	40.1	36.5	－	－	

目標設定の考え方	ホームタウンの推進や、トップスポーツ選手と触れ合う機会の充実などを図ることとして、目標を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
トップスポーツとの連携による地域貢献活動などを通じて、地域スポーツの活性化及び観戦機運の向上を目的に各種施策に取り組んできたが、平成26年度末の目標値43.0%に達しなかった。 原因としては、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉の成績低迷によるメディア等への露出低下と、ライフスタイルの多様化による日常生活の中でのスポーツ関心度の低下などが推察される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、トップスポーツとの連携を推進することで、地域活動のコーディネートや、各チームとの連携強化を目的とした協定の締結を行ない、トップスポーツ選手とふれあう機会の充実を継続的に行っていくだけでなく、市の広報媒体を利用しトップチーム等の活動情報の発信を行い、目標値の達成を目指す。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	トップスポーツとの連携の推進	チーム・選手の情報発信	－	情報のデータベース化	情報のデータベース化	情報のデータベース化	達成	197
2	トップスポーツとの連携の推進	社会貢献活動のコーディネート	－	実施	実施	実施	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	国際千葉駅伝事業	国際大会の開催（観客数）	329,100人	900人増	330,000人	318,000人	未達成	84,193
2	千葉国際クロスカントリー大会事業	国際大会の開催（観客数）	35,300人	700人増	36,000人	16,400人	未達成	987
3	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO	83
------	----

指標名	スポーツ・レクリエーション活動の参加者数	単位	人
-----	----------------------	----	---

指標の説明	市のスポーツ・レクリエーション教室や大会・行事の参加数とスポーツ施設、学校体育施設開放の延べ利用者数	担当局（区）	市民局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	4,463,000	4,478,000	4,498,000	△
現状値	4,447,491	4,449,333	—	—	

目標設定 の考え方	スポーツ・レクリエーション活動の場の提供や、老朽化した施設の改修などを推進することにより、参加者の増を図ることとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 市民のスポーツ・レクリエーションへの多様なニーズに対応するため、各種スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放事業などに取組んできたが、学校の統廃合による体育施設の減や、東日本大震災の影響により、高洲市民プールのプールが閉鎖したため、結果として利用者数が目標に達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】  現在工事を開始している高洲市民プールの再整備は、H28年度中に供用開始、H28年度に工事を開始する磯辺スポーツ広場はH29年度に供用開始するので、利用者の増加が期待できる。また、経常事業である「学校体育施設開放事業」も着実にを行い、安定した利用者の確保を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	海浜地区スポーツ広場の整備	海浜市民運動場	—	用地取得	用地取得	中止	中 止	0
2	ポートアリーナの改修	中央監視装置・熱源機器改修工事	実施設計	工事	完了	完了	達 成	259,350
3	高洲市民プールの整備	プール・体育館の建替え	—	設計・工事	設計・工事	設計	未達成	110,777

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	スポーツ施設管理事業	維持・管理	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	達 成	1,645,187
2	スポーツ活動支援	地区スポーツ教室開催	85教室	5教室増	90教室	79教室	未達成	10,724
3	スポーツ大会開催	家庭バレーボール大会・少年球技大会開催	353チーム	10チーム増	363チーム	344チーム	未達成	2,775
4	学校体育施設開放	利用回数(市民1人あたり)	2.56回	0.1回増	2.66回	2.42回	未達成	73,216



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3－2－2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO	84
------	----

指標名	ホームタウンチームのホームゲーム年間入場者数	単位	千人
-----	------------------------	----	----

指標の説明	ホームタウンチーム(千葉ロッテマリーンズ及びジェフユナイテッド千葉)のホームゲーム(QVCマリンフィールド及びフクダ電子アリーナ)の年間入場者数	担当局(区)	経済農政局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	1,650	1,720	1,780	✕
現状値	1,544	1,423	－	－	

目標設定の考え方	QVCマリンフィールドにおける過去4年間の最高収容率を目指し、目標値を設定した。また、フクダ電子アリーナについても、同様の収容率を目指すこととし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
H26年度の、QVCマリンフィールドの入場者目標数は、1試合あたり、20,000人とし、年間では1,440,000人としていた。しかし、実際には、1試合あたり、16,999人にとどまった。 これは、千葉ロッテマリーンズの成績が低迷し、最終順位も4位に終わるなど、シーズンを通じた盛り上がりが見られなかったことが原因であると考えられる。また、4月のQVCマリンは野球観戦には肌寒い日が続き、1試合平均14,542人と低かったことも理由として考えられる。 一方、フクダ電子アリーナの入場者目標数は、1試合あたり、10,000人とし、年間では、210,000人としていた。しかし、実際には、1試合あたり、9,911人とわずかに目標には及ばなかった。 これは、シーズン序盤のジェフユナイテッド千葉の成績の低迷により、1試合平均7,000人台の試合が続くことがあったことが原因であると考えられる。シーズン終盤はチームの成績の上昇に伴い入場者数も増えていったが、目標数には届かなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
QVCマリンフィールドについては、肌寒い4月にいかに多くの集客を図るかが重要である。チームの成績に因るところが大きいが、寒さを感じさせないような企画など球団がファンサービスに力を入れていく必要があり、市としても、協力できる部分があれば協力していく。 フクダ電子アリーナについては、J1に昇格すれば、アウェイサポーターの数が格段に増えるため、1試合あたり10,000人の目標数は到達できるものと考えられる。クラブがJ1に昇格するために、多くの市民の応援が得られるようなホームタウン推進事業を、引き続き継続していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	QVCマリンフィールドの充実	施設改修	トイレ改修、人工芝張替	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム、照明制御装置	達成	629,490

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－1 文化・芸術の振興

指標NO	85
------	----

指標名	この1年間に、文化・芸術活動を行ったことがある	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	21.0	23.0	25.0	✕
現状値	19.3	17.9	－	－	

目標設定 の考え方	文化芸術振興計画推進に伴う文化芸術関連事業数の増加などを図ることとし、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
文化芸術振興計画を推進することで、文化芸術活動に触れる機会の創出や、文化芸術活動者の増加を目指しているが、平成26年度末目標値の21.0%に達成はできなかった。原因としては、文化芸術の裾野を広げる趣旨から、多くの市民に文化芸術にふれあう場や機会の提供として、これまで鑑賞事業を展開の中心として進めてきたが、事業の内容が若い世代を対象とした内容やPRとしては弱かったため、年齢別の差が開いたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
平成28年度から第2次文化芸術振興計画を推進するにあたり、文化芸術振興施策の軸を鑑賞型から活動・行動型へシフトしていく。具体的には、様々なワークショップの実施により、文化芸術の間口を広くするとともに、千葉市文化センターを市の文化振興の拠点施設として位置付け、舞台芸術の振興のみならず、諸室を活用した幅広い事業展開を目指し、多くの市民の活動・行動意欲が湧き、あらゆる世代の市民が、文化による自己表現の場に触れ、共感を生み、つながり、文化を創り出す力にあふれたまちを目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742
2	千葉市民会館等文化施設管理運営（市民会館）	文化施設の管理・運営（総利用者数）	360,109人／年	401,594人／年	401,594人／年	344,358人／年	未達成	389,704
3	千葉市民会館等文化施設管理運営（文化センター）	文化施設の管理・運営（総利用者数）	229,826人／年	244,494人／年	244,494人／年	214,202人／年	未達成	658,382
4	千葉市民会館等文化施設管理運営（美浜文化ホール）	文化施設の管理・運営（総利用者数）	121,354人／年	122,767人／年	122,767人／年	131,033人／年	達成	354,806

施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－1 文化・芸術の振興

指標名	文化・芸術に触れる場や機会を身近に感じる	単位	%
-----	----------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	35.0	37.5	40.0	✕
現状値	32.5	27.4	－	－	

目標設定 の考え方	あらゆる世代の市民が文化・芸術に触れられる機会を充実することとして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
あらゆる世代の市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するため、文化施設の利用促進等の文化振興施策を推進してきたが、平成26年度末目標値の35.0%の目標は達成できなかった。細かく分析すると、イベントや文化施設の多い中央区では1ポイント上がったが、その他の区では、美浜区の-10.8ポイントをはじめとし、平均で約5ポイント下がった。今後は、多くの場で文化・芸術に触れられる機会を創出する必要がある。
【課題及び今後の取組みの方向性】
本指標を底上げするためには、多くの場で文化・芸術に触れられる機会を充実させることが必要となる。具体的な対策の例としては、平成26年度から、気軽に楽しめるワンコインコンサートを文化施設だけでなくコミュニティセンターや民間が所有する会場等の様々な場所で開催し、地域の偏りをなくすとともに、実施回数を増やす取組みを行っているので、それを継続し、かつ、より周知を図ることで、指標の向上に努める。 また、平成28年度から第2次文化芸術振興計画を推進するにあたり、あらゆる世代が文化芸術に触れ、身近な所で楽しさや面白さを共感できるような事業展開を図り、指標の向上に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742
2	千葉市美術館施設管理運営	施設の管理・運営(入場者数)	104,000/年	107,000/年	107,000/年	145,972人/年	達成	626,590
3	千葉市民会館等文化施設管理運営(市民会館)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	360,109人/年	401,594人/年	401,594人/年	344,358人/年	未達成	389,704
4	千葉市民会館等文化施設管理運営(文化センター)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	229,826人/年	244,494人/年	244,494人/年	214,202人/年	未達成	658,382
5	千葉市民会館等文化施設管理運営(美浜文化ホール)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	121,354人/年	122,767人/年	122,767人/年	131,033人/年	達成	354,806
6	文化事業等補助金(地域文化活性化事業)	「ベイサイドジャズ千葉」の費用の一部を補助(来場者数)	11,271人	1,691人増	12,962人	14,290人	達成	33,841

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－1 文化・芸術の振興

指標NO	87
------	----

指標名	文化ホール入場者数	単位	人
-----	-----------	----	---

指標の説明	若葉文化ホール及び美浜文化ホールの年間入場者数	担当局（区）	市民局
-------	-------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	132,000	135,000	138,000	✕
現状値	129,187	112,746	－	－	

目標設定 の考え方	文化ホールの認知度の向上と利用の促進を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	-------------------------------------

【達成状況の分析】 平成26年度末は目標値の132,000人を達成できなかったが、これは、若葉文化ホールが平成26年11月～平成27年3月の4か月間空調設備工事のため休館していたことによるものが大きいと考えられる（参考：平成24年度末値 130,451人 平成25年度末値 131,886人）。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後、指標を伸ばすには、これまで行ってきた利用促進策に加え、稼働率の低い平日について検討する必要がある。料金の平日割引など、利用促進策を検討・実施し、指標の向上に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742
2	若葉文化ホール管理運営	施設の運営・管理（入場者数）	49,954人／年	51,000人／年	51,000人／年	31,735人／年	未達成	187,029
3	美浜文化ホール管理運営	施設の運営・管理（入場者数）	79,233人／年	81,000人／年	81,000人／年	81,011人／年	達成	354,806

## 政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3-3-1 文化・芸術の振興

指標NO	88
------	----

指標名	千葉市美術館入場者数	単位	人
-----	------------	----	---

指標の説明	年間入場者数	担当局 (区)	市民局
-------	--------	------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	107,000	110,000	113,000	◎
現状値	104,000	145,972	—	—	

目標設定の考え方	千葉市美術館及び展覧会の認知度の向上と利用の促進を図ることとして、目標値を設定した。
----------	--

<p>【達成状況の分析】</p> <p>平成26年度は、企画展「赤瀬川原平の芸術原論 1960年代から現在まで」の入場者が18,127人となったことを筆頭に、12回開催した企画展・所蔵作品展の平均入場者数が1万2千人を超え、魅力的な展示事業を開催できたため、目標を大きく超えて達成できたと考えられる。</p>
<p>【課題及び今後の取組みの方向性】</p> <p>今後も、魅力的な展示事業が開催できるよう、調査研究を行うとともに、効果的な広報に努め、市民が文化・芸術に身近に触れられる機会の充実を図る。</p>

**指標を構成する事業  
計画事業**

計画事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

## その他事業

その他事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742
2	千葉市美術館施設管理運営	施設の管理・運営(入場者数)	104,000/年	107,000/年	107,000/年	145,972人/年	達成	626,590
3	ミュージアム・トライアングル	相互割引などの取組み	実施	実施	実施	実施	達成	0



施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－2 文化的財産の保全と活用

指標NO	89
------	----

指標名	市の歴史や文化財に愛着を感じる	単位	%
-----	-----------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	41.5	47.5	50.0	✕
現状値	39.9	38.3	—	—	

目標設定 の考え方	引き続き、博物館や文化財、郷土芸能などを活用した事業を展開するとともに、国に申請予定である加曽利貝塚の特別史跡指定や関連する取組みなどにより、市民の歴史や文化財への愛着を向上させることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
指標となるアンケート結果をみると「どちらともいえない」が34.6%にのぼり、関心のない市民が多い状況がうかがえる。とくに市内在住期間との関連性が顕著であり、在住期間が短い回答者ほど「どちらともいえない」と回答する比率が高くなっている。 市外から転入してきた市民が市の歴史や文化財に触れる機会を創出できていないため、十分な効果を挙げていない可能性が高い。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現在、博物館や埋蔵文化財調査センターで進めている取組みは、市の歴史や文化財への関心を深めることを目的とした事業が中心となっている。市民に愛着を感じてもらうために必要な事業であるが、その前提として、まず関心を持ってもらうための取組みを強化する必要がある。 新たに市内へ転入してきた市民、歴史や文化財に関心のない市民が博物館や埋蔵文化財調査センターへ足を運ぶような事業の企画、PRを今後、進めていく。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	加曽利貝塚の出土資料整理	出土資料の再整理	—	実施	完了	完了	達成	38,151
2	博物館の耐震改修	加曽利貝塚博物館耐震補強	—	工事	工事	中止	中止	9,083
3	文化財等の保存・活用の推進	旧検見川無線送信所	—	文化財調査	文化財調査	文化財調査	達成	4,128

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
2	加曽利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
3	市指定文化財・登録文化財の指定・登録	指定・登録件数	54件	6件	60件	57件	未達成	0
4	埋蔵文化財調査センター運営事業	普及事業(利用者数)	8,018人	24,500人	8,500人	8,279人	未達成	5,043

施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－2 文化的財産の保全と活用

指標NO	90
------	----

指標名	市指定・登録文化財の件数	単位	件
-----	--------------	----	---

指標の説明	市指定文化財件数および市登録文化財（地域文化財）の件数	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	-----------------------------	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	60	65	70	△
現状値	54	57	－	－	

目標設定 の考え方	文化財所有者との協議などを進め、今後も着実に件数を増加させることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 平成24年度以降、建造物や郷土芸能の指定・登録に向けて検討・準備を進めてきたが、「五十石遺跡出土把手付中空円面硯附盤1点（ごじゅっこくいせきしゅつどとってつきちゅうくうえんめんけんつけたりばんいってん）」「中鹿子第2遺跡出土土偶（なかかのこだいにいせきしゅつとどぐう）」「検見川神社の神楽・祭囃子（けみがわじんじゃのかぐらまつりばやし）」の3件増にとどまった。要因としては、文化財の価値についての調査や所有者・保持団体との調整に時間を要したため、目標とする指定・登録数には達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 建造物や郷土芸能のみを対象として検討・準備を進めた場合、調査や調整に時間を要してしまうため、目標値の達成は難しい。市の指定・登録の要件を満たす未指定の考古資料は多数存在するため、今後検討対象を広げることで目標値の達成を目指していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
2	加曽利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
3	市指定文化財・登録文化財の指定・登録	指定・登録件数	54件	6件	60件	57件	未達成	0
4	埋蔵文化財調査センター運営事業	普及事業（利用者数）	8,018人	24,500人	8,500人	8,279人	未達成	5,043

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－3 文化を守り、はぐぐむ
施策	3－3－2 文化的財産の保全と活用

指標NO	91
------	----

指標名	博物館の入館者数	単位	人
-----	----------	----	---

指標の説明	加曽利博物館及び郷土博物館の入館者数及び行事等の参加者数の年度ごとの延べ人数	担当局（区）	教育委員会事務局
-------	--	--------	----------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	52,000	58,000	60,000	◎
現状値	49,971	55,518	－	－	

目標設定の考え方	展示内容の充実や他文化施設等との連携、加曽利貝塚の国特別史跡指定を目指すことなど、話題性のある情報を積極的に発信することで、市民だけでなく広く市外からの入館者も見込むものとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
平成26年度は、郷土博物館の来場者はH23年度から約3,800人増え37,018人であった。また、史跡加曽利貝塚の特別史跡指定に向けたPR活動を積極的に展開したことにより、加曽利貝塚博物館のイベント参加者が大幅に増加した。8月1日以降博物館を休館したものの、史跡内での継続的なイベント開催により年間18,500人の来場者を迎えることができた。結果として、指標の目標値52, 000人に対し、現状値55,518人となり目標を達成することができた。
【課題及び今後の取組みの方向性】
更なる指標の向上のため、加曽利貝塚に関しては、国特別史跡指定を目指し、関係機関との協議・調整を行うとともに、史跡内の環境整備を行っていく。また、平成27年7月1日から加曽利貝塚博物館、郷土博物館の観覧料を無料化し、さらに入館者を増加させる環境を整えた。魅力ある展示やイベントを企画・開催することにより、さらなる入館者・イベント参加者の増加につなげていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	加曽利貝塚の出土資料整理	出土資料の再整理	－	実施	完了	完了	達成	38,151
2	博物館の耐震改修	加曽利貝塚博物館耐震補強	－	工事	工事	中止	中止	9,083

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
2	加曽利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
3	ミュージアム・トライアングル	相互割引などの取組み	実施	実施	実施	実施	達成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－1 国際化の推進

指標NO	92
------	----

指標名	外国人市民と日本人市民の互いの理解が進んでいる	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	20.0	25.0	30.0	△
現状値	12.5	12.9	—	—	

目標設定の考え方	多文化共生社会の実現に向け、外国人市民と日本人市民の相互理解の重要性が高まっているため、日本語指導など外国人市民の生活支援などを推進することとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
指標を構成する計画事業は、概ね目標を達成したが、住民基本台帳上の総人口数と外国人住民数は、平成23年度末が958,518人に対し21,372人、平成26年度末が962,545人に対し21,214人で、外国人住民が占める割合はともに約2.2%と概ね横ばいであり、指標も伸びてはいるものの微増にとどまっており、事業の充実が必要と考えている。
【課題及び今後の取組みの方向性】
2020年東京オリンピック開催に向け、6月に、フェンシング・レスリング・テコンドーの3競技が本市で開催されることが決定し、市民の関心が高まっています。この機会を捉え、関係機関と連携したより効果的な事業を推進していく。 外国人市民と日本人市民の互いの理解が進むためには、互いを知ることが重要であることから、市民が関心を持って参加できる外国人との交流機会の創出や活動内容の紹介など様々なツールや手法を駆使して、積極的に市民への周知を図っていく。 具体的には、国際交流、多文化共生に理解のある、また、関心の高い市民に、本市の国際化の推進力として引き続き活躍していただくとともに、ボランティア団体等を含む関係機関との連携を強化し、より組織的な事業の展開を図るものとした。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	—	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	姉妹友好都市との交流促進	姉妹・友好都市交流	2市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市、ケソン市、モントルー市、アスンシオン市	達成	0
3	姉妹友好都市との交流促進	青少年交流	3市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	達成	0
4	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同企業説明会	—	1回／年	1回／年	1回／年	達成	2,993

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217,500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	達成	840
4	国際交流・協力活動助成補助金	国際交流・協力等を行うボランティア団体への支援	12団体	39団体	15団体	14団体	概ね達成	2,292
5	国際交流プラザ管理経費	プラザ管理業務（利用者数）	19,850人	63,000人	22,000人	23,034人	達成	22,226
6	外国人市民懇談会	外国人市民の参加者数	37人	120人	40人	20人	未達成	36
7	外国人市民向け情報誌製作	外国語版生活ガイドブックの製作	640部	600部	100部	350部	達成	0



施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－1 国際化の推進

指標NO	93
------	----

指標名	国際交流ボランティア幹旋件数	単位	件
-----	----------------	----	---

指標の説明	国際交流ボランティアに外国人への通訳や日本語指導、ホームステイ等の活動を幹旋した件数	担当局（区）	総務局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	650	850	1,000	△
現状値	541	573	－	－	

目標設定の考え方	グローバル化の進展による外国人市民の増加に伴い、国際交流ボランティアによる生活等支援の必要性の高まりに的確に対応していくため、値の向上を図られるものとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 千葉市における外国人住民数は、目標設定時から横ばいで推移している状況である。 ボランティア幹旋件数は外国人住民数の増減に比例するものではないものの、その影響は大きく、結果として平成26年度末における中間評価では、H23年度現状値からの伸び率がH27年中間評価目標値に対し約29%であり、目標に達成していない状況にある。 その中で微増となっているのは、制度の周知に務めた結果であると分析している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、来日する外国人旅行者の増加が見込まれており、通訳を始めとするボランティアの活躍の場が増大することが予想されるため、これを機に事業の周知を行い、拡充を図る。 一方で、上記のとおり千葉市における外国人住民数は、横ばいで推移している状況であり、今後も同様の状況が続くことが予想される。そのため、外国人市民に対して、本市国際交流協会の存在・活動内容の周知に努めることにより、日本人ボランティアの活動機会の拡大を図る。 また、それとは逆に、日本人市民に対する世界各地の文化紹介・通訳等という形で、外国人ボランティアの活用を図り、もって幹旋件数の増を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	－	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	姉妹友好都市との交流促進	姉妹・友好都市交流	2市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市、ケソン市、モントルー市、アスンシオン市	達成	0
3	姉妹友好都市との交流促進	青少年交流	3市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市ノースバンクーバー市モントルー市	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217,500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	国際交流・協力活動助成補助金	国際交流・協力等を行うボランティア団体への支援	12団体	39団体	15団体	14団体	概ね達成	2,292
4	青少年交流事業補助金	青少年交流	1件（13人）	（55人）	1件（20人）	1件（20人）	達成	6,587



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－1 国際化の推進

指標NO	94
------	----

指標名	千葉市を住みよいと感じる外国人市民の割合	単位	%
-----	----------------------	----	---

指標の説明	外国人市民へのアンケート結果のうち、子育てや学校教育、生活相談・地域との共生など9項目の肯定的回答の割合の平均値	担当局（区）	総務局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	65.0	70.0	75.0	◎
現状値	63.6	70.1	—	—	

目標設定の考え方	外国人市民が日本人市民と共生しながら、子育てや就業などの面で本市を住みやすいと感じる生活環境の向上を目指すこととして、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 本市に対する外国人市民の感覚に関する設問であるため、個々の要因を把握するのは難しいが、指標を構成する設問のうち、「近所の住民が親切」と回答した外国人市民が約15%、「子育てがしやすい」と回答した方が約12%、「仕事を見つけやすい」と回答した方が約7%増加しており、結果として指標が伸びた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、各種取り組みを推進する。 なお、より効果的な意見をいただくため、外国人住民を対象としたアンケートの手法について再検討する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	—	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217,500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	達成	840
4	国際交流・協力活動助成補助金	国際交流・協力等を行うボランティア団体への支援	12団体	39団体	15団体	14団体	概ね達成	2,292
5	国際交流プラザ管理経費	プラザ管理業務（利用者数）	19,850人	63,000人	22,000人	23,034人	達成	22,226
6	外国人市民懇談会	外国人市民の参加者数	37人	120人	40人	20人	未達成	36
7	外国人市民向け情報誌製作	外国語版生活ガイドブックの製作	640部	600部	100部	350部	達成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－2 大学・企業等との連携の推進

指標NO	95
------	----

指標名	この1年間に、地域の大学と関わる機会があった	単位	%
-----	------------------------	----	---

担当局（区）	総合政策局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	8.0	9.0	10.0	○
現状値	6.5	7.9	—	—	

目標設定の考え方	大学の公開講座受講者数の推移や、地域のまちづくりにおいて市と大学が連携して取り組む事業数が増加傾向にあること等を踏まえて目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
大学が地域向けの生涯学習講座を開催するなど、地域志向にシフトする中、計画事業がおおよそ達成できたことに加え、その他事業についても目標を達成できた。また、「市と大学が連携して実施した取組数」も中間評価の倍以上となる162事業となるなど、本市が全庁的に積極的に連携を進めた結果として、市民が大学と関わる機会が増加したため、おおよそ目標を達成したと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
中間評価はおおよそ目標を達成したものの、依然市民が地域の大学と関わる機会は多くない状況である。 少子超高齢化の進展や産業人材の育成など新しい行政課題についてさらなる連携を進めるとともに、本市周辺の大学とも連携を検討するなど、本市民に地域の知的資源である大学と関わる機会を増やすことで、市民の生きがいやキャリアアップ、地域に貢献できる機会等を増やしていく。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	まちづくり活動団体への助成(稲毛区)	まちづくり活動団体への助成	10件／年	5件／年	15件／年	区テーマ解決支援5件／年	未達成	745
2	若葉区まちづくり支援システムの活用	まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実	運用・充実 ★	達成	1,714
3	若葉区まちづくり支援システムの活用	普及啓発	—	出張講座	出張講座	普及啓発 出張講座 ★	達成	1,714
4	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173事業／年	27事業／年増	200事業／年	364事業／年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市・大学連絡会議	連絡会議	1回／年	3回	1回／年	1回／年	達成	62
2	連絡調整会議(稲毛区)	会議開催	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	達成	6

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－2 大学・企業等との連携の推進

指標NO	96
------	----

指標名	市と大学が連携して実施した取組数	単位	事業
-----	------------------	----	----

指標の説明	市と市内14大学等が連携して実施した事業数	担当局（区）	総合政策局
-------	-----------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	80	110	140	◎
現状値	51	162	－	－	

目標設定 の考え方	近年の連携事業の増加数を踏まえ、毎年度10事業程度増加するものとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 少子高齢化の進展や厳しい財政状況などを背景に、近年行政課題は増加するとともに多岐にわたる状況である。 こうした状況を背景に、各種計画事業・その他事業を概ね目標どおり推進するとともに、平成22年に千葉大学との包括連携協定締結を皮切りに、市内大学・短大とは、経済部やこども未来部など個別分野も含めて6件もの協定を締結し、大学連携を推進してきたところである。 また、平成26年度末現在で市内の12大学・短大と千葉市・大学連絡会議を組織し、毎年、市長と学長によるトップレベルの会議を開催し、市政に関わる各種課題について意見交換を実施し、この結果を具体的に事業に反映するため、庁内関係課を含めて対応を図ってきた。 これらの大学連携を推進する仕組みを有効に活用することで、各種課題を解決するための連携が進んだ結果と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 市内の大学・短大と大学連携会議等を活用し、時機に応じた包括的な課題について意見交換を行うなど、引き続き本市の課題解決のための連携を推進する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	まちづくり活動団体への助成(稲毛区)	まちづくり活動団体への助成	10件／年	5件／年	15件／年	5件/年	未達成	8,877
2	若葉区まちづくり支援システムの活用	まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実	運用・充実 ★	達成	1,714
3	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173件／年	27件／年増	200件／年	364事業/年	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市・大学連絡会議	連絡会議	1回／年	3回	1回／年	1回／年	達成	62
2	千葉市・大学等共同研究	共同研究事業の実施	24件	6件	30件	30件	達成	4,686
3	連絡調整会議(稲毛区)	会議開催	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	達成	6

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る
施策	3－4－2 大学・企業等との連携の推進

指標NO	97
------	----

指標名	大学・企業等との連携協定数	単位	件
-----	---------------	----	---

指標の説明	市と連携協定を締結した大学・企業等の数	担当局（区）	経済農政局
-------	---------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	8	10	12	◎
現状値	7	12	－	－	

目標設定の考え方	2年ごとに1件ずつ大学または企業と連携協定を締結していくとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 大学及び企業と積極的に連携協定を結んできており、H27年中間目標値を超えることができた。内訳は以下のとおり。 ・H23年度末（7件）：千葉大学、淑徳大学、（公社）こども環境学会、（独）放射線医学総合研究所、（独）都市再生機構、イオン（株）、千葉銀行 ・H25年度末（9件）：上記プラス、植草学園、東京情報大学 ・H26年度末（12件）：上記プラス、三井不動産、セブン－イレブン・ジャパン、敬愛大学  ※「経済活性化」という要素を含む協定が対象。
【課題及び今後の取組みの方向性】  これまでは地元の大企業や大学等を連携協定の対象としてきたが、今後は、地域経済活性化に向けて、効果の検証についても検討していく。また、大企業に限らず中小企業も対象とし、包括的な協定だけでなく、目的を絞った協定や、期間限定の協定など、協定の形態も柔軟にし、更なる指標の向上を目指していく。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市・大学連絡会議	連絡会議	1回／年	3回	1回／年	1回／年	達成	62

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	98
------	----

指標名	市の提供する情報は分かりやすく、充実している	単位	%
-----	------------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	32.0	36.0	40.0	✕
現状値	28.2	28.0	－	－	

目標設定 の考え方	様々な手法により、あらゆる世代に対し、分かりやすく充実した市政情報の提供を図ることとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 市長との対話会は予定どおりの回数を開催しているが、参加者数は目標に届いていない。要因として、以前は大型ショッピングセンター等の大会場で開催することもあったが、最近は市民により身近に感じていただくために、公民館などの狭い会場で開催していることが考えられる。 また、ツイッター版対話会の参加者数においても、参加者募集の広報に努めたが目標達成には至らなかった。市政出前講座に関しても、事業を開始して約10年が経過し、年々開催件数・受講者数が減少している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今までの取り組みを着実に継続するだけでなく、新たな取り組みとして、平成26年度より、市長の出前トーク（市長が市の事業利用者等のもとへ出かけ自由な意見交換を行う）を開始し、市民への分かりやすい情報提供を目指していく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市政だより発行事業	発行は月2回(1日号・15日号)	配布率 85.08%	配布率 85.08%	配布率 85.08%	配布率 82.49%	概ね達成	362,621
2	千葉市ホームページ運営管理事業	ホームページの年間セッション数	5,634千回	1,866千回増	7,500千回	10,138千回	達成	42,547
3	市長との対話会	対話会7回開催 ツイッター版対話会2回開催 (年間参加者数)	640人	年に、対話会を8回程度、 ツイッター版対話会を2回程度開催予定	1,000人	564人	未達成	107
4	市長の出前講座	年8回開催(年間参加者数)	324人	3年間で合計24回開催予定	330人	280人(3年間で23回実施)	概ね達成	176
5	市政出前講座	申込に応じて随時出前講座を開催(年125回) (年間参加者数)	4,572人/年	13,800人	4,600人/年	3,032人/年	未達成	0



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	99
------	----

指標名	住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいる	単位	%
-----	---------------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	30.0	35.0	40.0	✕
現状値	25.9	24.3	—	—	

目標設定の考え方	自ら課題を発見し解決に取り組む組織づくりや仕組みづくりへの関心や意欲を高め、指標の向上を図ることとし、目標値に設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
各区のまちづくり活動団体の助成等を中心に、市民参加・協働に関する事業などの取り組みを行ってきたところではあるが、平成23年度末の現状値を下回ってしまった。 原因として、地域コミュニティの希薄化、地域活動の担い手不足などにより、町内自治会など既存の地域団体の活動を継続していくことが難しくなっていることが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
将来に渡り住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営を継続できるようにするための仕組みとして、平成26年度から地域運営委員会の制度をスタートさせた。地域運営委員会の設立を各地区で進めるとともに、より多くの住民が地域運営委員会の活動に関わる仕組みを検討し、目標の達成を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	協働事業提案制度の実施	市民からの事業提案	募集・選考	実施	実施	実施	達成	4,871
2	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増／年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0
3	若葉区まちづくり支援システムの活用	まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実	運用・充実 ★	達成	1,714
4	若葉区まちづくり支援システムの活用	普及啓発	—	出張講座	出張講座	普及啓発 出張講座 ★	達成	
5	美浜区人財バンク	人財バンク	—	公募、人材マッチング、地域大学校の開設	公募、人材マッチング、地域大学校の開設	人材マッチング、美浜区人財バンク活用講座の実施★	達成	70
6	まちづくり活動団体への助成(中央区)	まちづくり活動団体への助成	中央区 15件/年	45件/年	45件/年	9件/年	未達成	8,877
7	まちづくり活動団体への助成(中央区)	地域リーダー育成	—	中央区 2回/年	中央区 2回/年	2回/年	達成	
8	まちづくり活動団体への助成(花見川区)	まちづくり活動団体への助成	花見川区 5件/年	3件/年増	8件/年	13件/年	達成	
9	まちづくり活動団体への助成(稲毛区)	まちづくり活動団体への助成	10件／年	5件／年	15件／年	区テーマ解決支援5件/年	未達成	
10	まちづくり活動団体への助成(緑区)	まちづくり活動団体への助成	緑区 10件/年	5件/年増	15件/年	13件/年	未達成	
11	まちづくり活動団体への助成(美浜区)	まちづくり活動団体への助成	美浜区 10件/年	5件/年増	15件/年	9件/年	未達成	
12	まちづくり活動団体への助成(美浜区)	活動団体交流会	—	美浜区 2回／年	美浜区 2回／年	2回/年	達成	
13	若葉区地域福祉団体活動支援	地域福祉団体活動助成	—	10件/年	10件/年	10件/年	達成	480
14	地域見守り活動への支援	助成	4団体	30団体増	34団体	34団体	達成	0
15	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
16	避難所運営体制の整備	避難所運営委員会の設置	市民向け手引きの作成	全市的に設置	全市的に設置	全市的に設置	達成	0
17	市民防犯活動の支援	防犯パトロール活動団体	743団体	141団体増	884団体	718団体	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民参加協働推進事業	市民参加・協働の取組項目数	270項目	45項目増	315項目	333項目	達成	1,130
2	地域運営アドバイザー派遣事業	アドバイザー派遣	0地域	14地域	14地域	延べ3地域	未達成	168
3	(仮称)連携・協働による地域課題解決支援事業(25年度新規事業)	円卓会議設置	2地域	6地域	8地域	5地域	未達成	14,486

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	100
------	-----

指標名	この1年間に、地域活動やボランティア活動に参加したことがある	単位	%
-----	--------------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	27.0	31.0	35.0	△
現状値	22.2	23.2	－	－	

目標設定 の考え方	情報提供の充実や啓発活動を行うことにより、地域活動やボランティア活動への参加を促進することとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
NPO法人の活動の促進、ボランティアデータベース「ちばぼら」の運用、千葉市民活動フェスタにおける地域活動等のPR、シニア世代が地域活動等を行うことへの支援、千葉市ボランティアセンターの支援などを行い、地域活動等を促進してきたが、平成26年度末目標値27.0%を達成できなかった。 想定より、市民の地域活動等への理解が得られなかったことによると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
上記取り組みの継続に加え、ボランティア活動支援の充実を図り、地域活動等の促進を目指していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民公益活動支援システムの構築	NPO法人認定・認証システム	開発準備	開発	運用	運用	達成	1,030
2	市民公益活動支援システムの構築	ボランティアシステム	データベース作成、一部開発・運用	開発	運用	運用	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民参加協働推進事業	市民参加・協働の取組項目数	270項目	45項目増	315項目	333項目	達成	1,130
2	ことぶき大学校運営	ボランティア実践コース、創造活動コース	運営	運営	運営	運営	達成	87,400
3	地域ぐるみ福祉ネットワーク	社会福祉協議会に対し補助(補助事業数)	2事業	2事業	2事業	2事業	達成	25,527
4	市民公益活動促進事業	WEBサイト「ちばぼら」	運営	運営	運営	運営	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	101
------	-----

指標名	ホームページのセッション数(訪問回数)	単位	千回
-----	---------------------	----	----

指標の説明	千葉市公式サイトへの訪問回数(サイトに訪れ、巡回し、離脱するまでを1回とし、それを累計したもの)	担当局(区)	市民局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	7,500	9,500	11,500	◎
現状値	5,634	10,138	－	－	

目標設定 の考え方	ホームページの見直しや日常的な改善などにより、訪問者数の増加を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 閲覧者に対し見やすいホームページとするため、サイト構成の見直しや日常的な改善などを行い、また市公式Twitterにホームページのリンクを記載し、サイトへの誘導を行った。 平成27年2月に、コンテンツマネジメントシステムを更新するとともに、ホームページのリニューアルを行い、情報にたどりやすくするなどの工夫を行い、中間目標を達成することができた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 リニューアルを行った直後であるため閲覧される回数は増えていることが推測できる。今後も継続した訪問者数の増加を目指していくため、市民からホームページに対する編集/提案を受け付けるなど、今後も日常的な改善を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市ホームページ運営管理事業	ホームページの年間セッション数	5,634千回	1,866千回増	7,500千回	10,138千回	達成	42,547

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	102
------	-----

指標名	ちば市民活力創造プラザ登録団体数	単位	団体
-----	------------------	----	----

指標の説明	ちば市民活力創造プラザに登録した団体数	担当局（区）	市民局
-------	---------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	663	783	903	◎
現状値	543	683	－	－	

目標設定 の考え方	「ちば市民活力創造プラザ」の運営や情報の充実を図るとともに、地域活動やボランティア活動などに取り組む団体の活動を促進することとし、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
平成26年度末の目標値を達成することができた。平成26年度から指定管理者制度を導入し、旧ちば市民活力創造プラザ（現「千葉市民活動支援センター」）の情報提供サービスを充実させたこと、計画事業「市民公益活動支援システムの構築」により、認証を受けたNPO法人や任意団体等が積極的に地域活動等に取り組めるシステムを提供した結果、達成できたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
千葉市民活動支援センターのサービスである、ボランティアデータベース「ちばぼら」の情報・機能の充実させ、地域活動等の促進を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民公益活動支援システムの構築	NPO法人認定・認証システム	開発準備	開発	運用	運用	達成	1,030
2	市民公益活動支援システムの構築	ボランティアシステム	データベース作成、一部開発・運用	開発	運用	運用	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民参加協働推進事業	市民参加・協働の取組項目数	270項目	45項目増	315項目	333項目	達成	1,130
2	市民公益活動促進事業	WEBサイト「ちばぼら」	運営	運営	運営	運営	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	103
------	-----

指標名	町内自治会加入率	単位	%
-----	----------	----	---

指標の説明	全世帯のうち町内自治会に加入している世帯の割合	担当局（区）	市民局
-------	-------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	73.5	75.5	77.5	✕
現状値	71.5	70.0	－	－	

目標設定の考え方	各区における加入促進の取組みを踏まえ、目標値を設定した。
----------	------------------------------

【達成状況の分析】 加入世帯数は増加しているものの、世帯数の増加の影響で、加入率については減少した。 他にも、家屋の形態としてマンションが増えており、マンションでは管理組合があることから、町内自治会の結成まで至らない場合が多い。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、町内会への加入については目標達成に向け取り組んでいくとともに、自治会加入や自治会の結成等について、市HPや市政だより等で広報を実施する。また、転入窓口である区役所や市営住宅の募集窓口等で加入促進のためのパンフレットを配布する。他にも、20戸以上の住宅（戸建て・共同住宅）の開発計画を関係部署内で情報共有し、開発業者等に対し、入居予定者への町内自治会の結成及び加入促進の協力を依頼する。加えて、平成25年度から町内自治会と同様に取り扱っている「みなし自治会（地域活動を行っており、一定の要件を満たしているマンション組合）」から結成手続き等の問合せがあった際に、職員が出向き、希望があれば随時説明会を実施し、町内自治会への加入促進を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増／年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0
2	町内自治会集会所の整備	旧真砂第一小学校跡施設における町内自治会集会所整備	—	改修工事	完了	中止	中止	323

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	町内自治会集会所建設等事業補助金	助成	実施	実施	実施	実施	達成	72,486



施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－1 市民参加・協働の推進

指標NO	104
------	-----

指標名	地域課題に取り組む連携会議設置地区数	単位	地区
-----	--------------------	----	----

指標の説明	地域の様々な団体が連携・協働して地域課題に取り組む体制（連携会議）の設置地区数	担当局（区）	市民局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	8	26	48	△
現状値	2	4	－	－	

目標設定の考え方	多様化する地域課題に対応するため、様々な主体が連携しながら取り組む必要があることから、連携会議の設置を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 平成23～24年度にかけて、千葉県連携協働による地域課題解決モデル事業に4地区で取り組み、平成25年度は当該4地区で市の地域課題解決連携支援モデル事業を行った。モデル事業の成果を踏まえ、平成26年度から地域運営委員会の制度をスタートさせた。地域運営委員会の設立には地域の理解が前提となり十分な協議・検討が必要となるため、平成26年度末時点での設立地区数は大きくは伸びず達成には至らなかった。
【課題及び今後の取り組みの方向性】 ・地域運営委員会の設立を進めるには、地域運営委員会の必要性への理解や自分たちの住む地域を自分たちの手で良くしていこうという機運をいかに高めていくかが課題である。 ・地域運営委員会の必要性をわかりやすく伝えるとともに、他地区の活動事例なども紹介しながら、理解を深めていく必要がある。また、地域運営委員会の活動が円滑に進むよう、市は財政的支援（地域運営交付金等の補助制度）、人的支援（地域担当職員制度の創設）、活動拠点確保支援を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	協働事業提案制度の実施	市民からの事業提案	募集・選考	実施	実施	実施	達成	4,871

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域運営アドバイザー派遣事業	アドバイザー派遣	0地域	14地域	14地域	延べ3地域	未達成	168

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－2 男女共同参画の推進

指標NO	105
------	-----

指標名	男女が共に個性と能力を十分に発揮している	単位	%
-----	----------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	21.3	24.6	30.0	✕
現状値	18.0	15.5	—	—	

目標設定 の考え方	男女共同参画の推進を図るため、普及啓発活動などの取組みを推進することとして、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
男女共同参画の推進を図るため、普及啓発活動などの取組みを推進することとして、実施計画事業、その他経常事業、マニフェスト事業等様々な取組みを実施してきたところであるが、H23年度末現状値を下回ってしまった。30歳以上では値も低く、2.3～3.6%下がっていた。しかし各年代別の詳細をさらに分析すると、13～19歳、20～29歳では肯定的な意見の割合が高く、しかも今回のアンケートでも指標は伸びており、29歳までの若い世代に向けた取組みに関しては、着実に結果が出ていることも分かった。 13～19歳：44.5%(5.3%アップ)、20～29歳：26.3%(2.0%アップ)
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後の取組みとしては、結果の出ている13～19歳、20～29歳の若い世代については、今まで通り、市男女共同参画センターを中心とした様々な取組みを着実に続けていく。 また、30歳以上の世代の指標が下がったことについては、固定的性別役割分担意識など様々な原因が考えられるため、更なる分析を行い、効果的な対策を検討していく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業者の登録者数	41団体	34団体増	75団体	75団体	達成	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画センター管理運営事業	調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務(利用者数)	89,313人	20,207人増	109,520人	68,857人	未達成	445,841

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－2 男女共同参画の推進

指標NO	106
------	-----

指標名	附属機関の女性委員の割合	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	附属機関（審議会など）委員に占める女性の割合	担当局（区）	市民局
-------	------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	31.0	34.0	38.0	✕
現状値	27.8	27.3	－	－	

目標設定の考え方	政策決定過程への女性の参画を推進するため、女性委員の割合向上を目指すこととして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
政策決定過程への女性の参画を推進するため、附属機関の女性委員の割合向上を目指し、実施計画事業、その他経常事業、マニフェスト事業等様々な取り組みを実施してきたところであるが、H26年度末目標値の31.0%に到達しなかった。 取組みとしては、実施計画事業等により、男女共同参画推進へ向けた意識啓発や環境づくりを行ったほか、附属機関の委員選任時における各所管課との女性委員登用に係る事前協議を実施している。また、庁内ネットワークを活用した職員向けの啓発活動や職員を対象とした研修会を実施するなど、本市の女性登用率の現状や取組みに対する理解や意識の向上を図っている。しかし、委員の選任にあたり、特定の専門的な分野における女性委員候補者が少ない現状が続いているため、女性委員の割合を目標値まで増加させることができなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】
社会全体の男女共同参画に関する更なる意識啓発を進めていく必要があるとともに、庁内職員への意識啓発や理解促進についても十分でないことから、これまでの取組みについて引き続き実施していく。具体的には、マニフェストに関する取組事業「附属機関への女性委員の登用促進」の取組みを着実に推進し、附属機関の委員選任時における各所管課との女性委員の登用に係る事前協議を徹底するとともに、職員向け研修会の実施等により、現状理解や意識啓発を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業者の登録者数	41団体	34団体増	75団体	75団体	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画センター管理運営事業	調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数）	89,313人	20,207人増	109,520人	68,857人	未達成	445,841

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	3－5 市民の力をまちづくりの力へ
施策	3－5－2 男女共同参画の推進

指標NO	107
------	-----

指標名	男性が1週間で育児にかかわる時間	単位	時間/週
-----	------------------	----	------

指標の説明	市内の保育所及び幼稚園に通う子どもの保護者である男性が、1週間に育児にかかわる平均時間数	担当局（区）	こども未来局
-------	--	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	22	23.5	25.5	✕
現状値	21	18	－	－	

目標設定の考え方	ワークライフバランスを推進するため、男性の子育て支援することとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
父親の子育てへの積極的な関わり及び子育てを含めたワークライフバランスを推進するため、イクメンハンドブックの配布や男女共同参画推進事業者登録制度等による啓発のほか、平成26年度から新たに男性の育児休業取得促進奨励金制度を創設するとともに、男性の家事・育児講座・イクメンイベントを開催するなど、男性が主体的に育児に関わるための取組みを行っているが、平成26年度末目標値を達成することができなかった。要因としては、「育児は女性の役割」という意識が根強くあり、男性の育児への主体的・積極的な関わりまで至らないことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
男性による育児に関する社会的気運が高まりつつあるものの、「育児は女性の役割」という意識が根強くあることや、父親の育児休業取得率も低い状況があるため、男性の育児への主体的・積極的な関わりを促進していく必要がある。 引き続き、父親の子育てへの積極的な関わり及び子育てを含めたワークライフバランスを推進するため、男性の育児休業取得促進奨励金やイクメンを支援する「イクメンハンドブック」の配布を始めとする啓発活動を実施し、「男性が子育てして楽しいまち」を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業者の登録者数	41団体	34団体増	75団体	75団体	達成	0
2	男性の子育て支援	両親学級の土日開催	－	1回/月	1回/月	年間13回	達成	3,700

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	男女共同参画センター管理運営事業	調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数）	89,313人	20,207人増	109,520人	68,857人	未達成	445,841
2	男女共同参画推進啓発事業	市民の意識啓発（イクメンハンドブックの配布など）	実施	実施	実施	実施	達成	8,376



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

指標NO

108

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－1 防災対策の推進

指標名	災害に強いまちづくりが進んでいる	単位	%
-----	------------------	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	40	50	60	△
現状値	14.4	22.4	－	－	

目標設定の考え方	東日本大震災以降、市民の防災対策への関心が高まる中、現状値は非常に低いものであり、今後、市民の安全・安心を守るため、ハード・ソフト両面の施策展開及び市民への周知を十分進めることとし目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
東日本大震災の教訓などを踏まえ、学校や下水道など公共施設の耐震化を進めたほか、防災行政無線の改修や危機管理センター基本構想の策定など体制の強化を図ったことなどにより、指標の数値は上昇しているが、H26末の目標値には到達しなかった。 原因としては、市民に身近な事業である、「自主防災組織の結成促進」「耐震診断・耐震改修助成の推進」「家具転倒防止対策」「ちばし安全・安心メールの配信数」などが目標値に達していないことなどが考えられる。 また、近年、国内では、地震以外にも、大規模な土砂災害、火山噴火など様々な災害が発生しており、市内でも、平成25年台風26号での浸水被害、平成26年2月の大雪による帰宅困難者の発生などが起こっていることも、指標の数値が目標まで伸びない原因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市民が災害に強いまちづくりを実感できるよう、身近な事業である、「自主防災組織の結成促進」「耐震診断・耐震改修助成の推進」「ちばし安全・安心メールの配信」などについて、引き続き、周知を図り、推進していく。 また、第2次実施計画事業「地震被害想定の見直し」で算出する新たな被害想定を踏まえ、地域防災計画を見直し、行政による減災事業を推進するとともに、感震ブレーカーの設置など市民自らが行う防災対策を促進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防災行政無線の改修	防災行政無線 自動音声応答システム 屋外受信機	－ 123基	整備 30基増	整備完了 153基	整備完了 151基	概ね達成	192,276
2	防災行政無線の改修	地域防災無線 非常固定空中線 中継局	67か所 －	139か所増 畑中継局増設	206か所 整備完了	209か所 整備完了	達成	
3	防災井戸の機能確保	発電機の整備	発電機 30台	60台増	90台	90台	達成	4,881
4	危機管理センターの設置	危機管理センターの設置	調査・研究	基本構想策定	基本構想策定	基本構想策定	達成	0
5	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
6	学校施設の安全確保	校舎の耐震補強	小学校 35校 中学校 12校	小学校 50校 中学校 25校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	完了	小学校 50校 中学校 25校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	達成	12,351,752
7	学校施設の安全確保	屋内運動場の耐震補強	小学校 37校 中学校 18校	小学校 44校 中学校 13校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	完了	小学校 44校 中学校 13校 高等学校 1校 特別支援学校 1校	達成	
8	学校施設の安全確保	校舎の改築 緑町小学校、松ヶ丘中学校	工事	工事	完了	完了	達成	
9	鉄道駅の耐震補強	鉄道高架補強	221本	21本	242本	242本	達成	84,836
10	市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替	橋梁架替	詳細設計	用地取得、仮橋・迂回路 築造、既設橋撤去	仮橋・迂回路築造、既設 橋撤去	既設橋撤去 迂回路整備完了	概ね達成	684,713
11	主要地方道穴川天戸線（玄鼻橋）の橋梁架替	橋梁架替	迂回路詳細設計	用地取得、橋梁詳細設 計、仮橋・迂回路築造	仮橋・迂回路整備完 了	仮橋架設完了	概ね達成	261,359
12	下水道施設の耐震化	管渠耐震化	下水道総合地震対策計 画策定 7km	13km	20km	34km	達成	4,415,465
13	下水道施設の耐震化	マンホールトイレ設置	6か所	8か所	14か所	34か所	達成	
14	下水道施設の耐震化	ポンプ場耐震化	12か所	3か所	15か所	17か所	達成	





政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

指標NO

109

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－1 防災対策の推進

指標名	耐震補強が必要な橋梁の改善率	単位	%
-----	----------------	----	---

指標の説明	震災時に損壊のおそれのある道路橋の耐震化を行った割合	担当局（区）	建設局
-------	----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	77.7	87.8	100	◎
現状値	60.4	79.1	－	－	

目標設定 の考え方	地震などの災害時に、避難や復旧活動などに支障を来さないよう交通の寸断を防止するため、橋梁の耐震化を推進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 国経済対策による補正予算を積極的に活用し、緊急輸送道路に関する橋梁の耐震化を重点的に推進した結果、目標値を達成できた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 緊急輸送道路に関する橋梁の耐震化が完了したことから、今後は、第三者への影響が大きい鉄道を跨ぐ一部の耐震補強未対策橋梁について、鉄道事業者との協議調整を進め、耐震化を可能な限り前倒しできるよう事業を推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	橋梁の整備(耐震強化及び長寿命化)	耐震補強	91橋	19橋	110橋	110橋	達成	3,538,090

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－1 防災対策の推進

指標NO	110
------	-----

指標名	下水道管の耐震化率	単位	%
-----	-----------	----	---

指標の説明	下水処理場と避難所等を結ぶ重要な幹線等(723km)に対する耐震化済延長の割合	担当局(区)	建設局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	45.2	58.5	76.2	○
現状値	32.0	43.1	－	－	

目標設定 の考え方	下水道管渠の耐震化を推進することとして目標値を設定した。
--------------	------------------------------

【達成状況の分析】 地震発生時の下水道の流下機能を確保するため、主要な下水道管渠の耐震化整備を重点的に進めているが、平成26年度末は目標値の45.2%に到達しなかった。目標値を下回った理由として、下水道の耐震化済延長を、耐震化工事の延長とカメラによる耐震性能調査での基準を満たす管延長としているが、調査による耐震性能を有している下水道管渠が、当初の想定を下回ったためである。 なお、カメラによる耐震性能調査での基準を満たさなかった箇所については、翌年度以降順次耐震化工事を行っている。
【課題及び今後の取組みの方向性】 耐震化率はカメラ調査の結果によるところが大きく、耐震化性能を有している下水道管渠の延長が想定を下回るケースでは、次年度以降の下水道管渠耐震化工事にて目標値を達成できると想定している。今後は、近い将来発生が予測される首都直下地震を見据え、下水道総合地震対策計画に基づき、都市機能の継続性や市民生活の維持・確保に向けて、計画的かつ効率的に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	下水道施設の耐震化	管渠耐震化	下水道総合地震対策計画策定 7km	13km	20km	34km	達成	4,415,465

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－2 防災体制の充実

指標NO	112
------	-----

指標名	地域において、災害時の協力体制が整っている	単位	%
-----	-----------------------	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	35.0	45.0	60.0	○
現状値	25.5	32.8	—	—	

目標設定の考え方	切迫性が指摘されている首都直下地震に備え、市民の防災意識を高める必要がある。 また、地域防災計画の見直しで「自助・共助の役割を明確化」し、特に共助に関連する事業展開を強化することを加味し、設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
地域における共助の取組みを進めたことなどにより、当指標についての市民の意識が大幅に向上したものと考えられるが、平成26年度末の目標値には届かなかった。 指標を構成する事業のうち、共助を支える公助としてのハードウェアの整備については、防災行政無線の改修等が順調に進捗した。また、地域における共助の取組みについては、「避難所運営体制の整備」として避難所運営委員会の設立が進んでいるとともに、平成26年からは「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」に基づき、町内自治会等に避難行動要支援者名簿を提供し、地域における「避難行動要支援者の支援体制構築」を進めるなど、地域における取組みが進んでいる。さらに、各区独自事業で自助・共助の意識啓発に努めた。なお、自主防災組織の結成促進や「ちばし安全・安心メール」の登録数については進捗が遅れていることが、目標値に届かなかった原因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
共助を支えるハードウェアの整備として、災害用備蓄の強化などを引き続き実施する。 また、防災活動に関わる市民の数を増やしていくため、避難所運営委員会の設立、自主防災組織の結成、避難行動要支援者名簿の提供などの地域への働きかけや、「ちばし安全・安心メール」の登録呼びかけなど、地域住民の自助・共助意識の啓発及び支援に引き続き取り組む。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
2	防災行政無線の改修	防災行政無線 自動音声応答システム 屋外受信機	— 123基	整備 30基増	整備完了 153基	整備完了 151基	概ね達成	192,276
3	防災行政無線の改修	地域防災無線 非常固定空中線 中継局	67か所 —	139か所増 畑中継局増設	206か所 整備完了	209か所 整備完了	達成	
4	防災井戸の機能確保	発電機の整備	発電機 30台	60台増	90台	90台	達成	4,881
5	避難所運営体制の整備	避難所運営委員会の設置	市民向け手引きの作成	全市的に設置	全市的に設置	全市的に設置	達成	0
6	地域の防災力の向上（中央区くらし安心・自主防災マップ作成）	中央区くらし安心・自主防災マップ	—	作成	完成	完成	達成	1783
7	地域の防災力の向上（花見川区地域主体型防災訓練）	花見川区地域主体型防災訓練	2地区	3地区増	5地区	5地区	達成	
8	地域の防災力の向上（稲毛区セーフティマップ）	稲毛区セーフティマップ	講習会、作成	調査、作成	完成	完成	達成	
9	地域の防災力の向上（若葉区震災対応総合図・行動マニュアル）	若葉区震災対応総合図・行動マニュアル	—	作成	完成	完成	達成	
10	地域の防災力の向上（こども防災体験（緑区））	こども防災体験	1回／年	3回／年増	4回／年	4回／年	達成	
11	地域の防災力の向上（こども防災体験（美浜区））	こども防災体験	—	1回／年	1回／年	1回／年	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	災害情報ネットワークの整備	市民への情報配信	39,000人	44,500人	50,000人	42,792人	未達成	2,924
2	防災訓練（九都県市）	合同防災訓練の実施	1回	1回	1回	1回	達成	89,957
3	防火・防災訓練（自主防災組織）	防火・防災訓練の実施	33,456人	35,129人	38,475人	31,106人	未達成	7,757



施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－2 防災体制の充実

指標NO	113
------	-----

指標名	災害に備えて避難場所の確認や、食糧の備蓄、非常用持出品の用意などを行っている	単位	%
-----	--	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	45.0	52.0	60.0	△
現状値	38.4	40.4	—	—	

目標設定の考え方	切迫性が指摘されている首都直下地震に備え、市民の防災意識を高める必要がある。 また、地域防災計画の見直しで「自助・共助の役割を明確化」し、特に自助に関連する事業展開を強化することを加味し、設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
災害への備えの意識を風化させることなく、「共助」とともに「自助」の必要性について啓発を行っているところであるが、平成26年度末は目標である45.0%に達成しなかった。 自主防災組織の新規結成を促進しているが、実際に結成まで至った組織が目標よりも少なく、その結果自主防災組織が行う一部防災訓練の参加者数が目標値に至らなかった。自主防災組織における訓練は、組織の防災力だけでなく、当指標のような個人の防災力も向上させることができるが、防災訓練の参加者数が目標値に至らなかったため、指標の値の伸びも少なかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
共助だけでなく自助の必要性について、ホームページやチラシ等を利用して広報していくとともに、市政出前講座等を利用して啓発を行い、市民の防災意識の高揚を図っていく。また、自主防災組織の訓練として、これまでの初期消火訓練や応急救護訓練に加え、避難所開設・運営訓練も含めることとし、市民の訓練参加を促進する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
2	地域の防災力の向上（中央区くらし安心・自主防災マップ作成）	中央区くらし安心・自主防災マップ	—	作成	完成	完成	達成	4,715
3	地域の防災力の向上（花見川区地域主体型防災訓練）	花見川区地域主体型防災訓練	2地区	3地区増	5地区	5地区	達成	
4	地域の防災力の向上（稲毛区セーフティマップ）	稲毛区セーフティマップ	講習会、作成	調査、作成	完成	完成	達成	
5	地域の防災力の向上（若葉区震災対応総合図・行動マニュアル）	若葉区震災対応総合図・行動マニュアル	—	作成	完成	完成	達成	
6	地域の防災力の向上（こども防災体験（緑区））	こども防災体験	1回／年	3回／年増	4回／年	4回／年	達成	
7	地域の防災力の向上（こども防災体験（美浜区））	こども防災体験	—	1回／年	1回／年	1回／年	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防災訓練（九都県市）	合同防災訓練の実施	1回	1回	1回	1回	達成	89,957
2	防火・防災訓練（自主防災組織）	防火・防災訓練の実施	33,456人	35,129人	38,475人	31,106人	未達成	7,757

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－2 防災体制の充実

指標NO	114
------	-----

指標名	災害時地域支えあい事業取組団体数	単位	団体
-----	------------------	----	----

指標の説明	災害時地域支えあい事業に取り組んでいる自治会等の団体数	担当局（区）	総務局
-------	-----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	138	246	438	△
現状値	66	71	－	－	

目標設定の考え方	各区の新規取組団体数を段階的に拡大する考え方により、目標値を設定した。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】 災害時地域支えあい事業については、平成26年7月に「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」が施行されたことにより、条例に基づく町内自治会等への避難行動要支援者名簿の提供へ移行した。 なお、避難行動要支援者名簿を提供している団体数は、平成26年度末時点で112団体である。
【課題及び今後の取組みの方向性】 避難行動要支援者の支援体制構築については、「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」に基づく地域への名簿提供の制度を活用して進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
2	避難所運営体制の整備	避難所運営委員会の設置	市民向け手引きの作成	全市的に設置	全市的に設置	全市的に設置	達成	0
3	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増／年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	災害時地域支えあい事業	災害時地域支えあいに取り組む団体数	66	72	138	71	未達成	0

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－2 防災体制の充実

指標NO	115
------	-----

指標名	自主防災組織結成率	単位	%
-----	-----------	----	---

指標の説明	全世帯数に対して自主防災組織に加入している世帯数の割合	担当局（区）	総務局
-------	-----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	71.1	75.5	82.0	✕
現状値	66.8	65.0	－	－	

目標設定 の考え方	毎年30組織を計画的に結成するベースで、目標値を設定した。
--------------	-------------------------------

【達成状況の分析】 「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の精神に基づき組織される自主防災組織の結成を促進しているところであるが、平成26年度末は目標である71.1%に達成しなかった。 指標としている自主防災組織結成率は、「加入世帯数／全世帯数」で算出しているが、分母となる全世帯数が、平成23年度末までが推計人口（4月1日現在）、平成24年度から住民基本台帳（3月31日現在）を使用しており、平成26年度から住民基本台帳法の改正により世帯数に外国人住民世帯を含んだことから全世帯数が増となったこと、また、自主防災組織の新規結成を促進しているが、新規結成が伸び悩んだことから、目標値に到達できなかったと考える。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後は、ホームページや結成促進のチラシなどを用いて、未結成町内自治会やマンション管理組合に自主防災組織の結成の働きかけを行っていく。 具体的には、未結成自治会、マンション管理組合あてに結成の案内を郵送するとともに、各区が実施している町内自治会未結成地域を対象とした説明会での案内や市政出前講座を利用して、自主防災組織の結成を働きかける。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
2	避難所運営体制の整備	避難所運営委員会の設置	市民向け手引きの作成	全市的に設置	全市的に設置	全市的に設置	達成	0
3	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増／年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

116

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－2 防災体制の充実

指標名	避難所運営委員会設置率	単位	%
-----	-------------	----	---

指標の説明	全ての避難所に対して避難所運営委員会が設置された割合	担当局（区）	総務局
-------	----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	19.0	57.0	100.0	
現状値	－	68.6	－	－	

目標設定の考え方	地域の防災力の向上を図るため、全ての避難所に避難所運営委員会を設置することとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】  
地域の防災力向上のため、全ての避難所に地域住民が参加した避難所運営委員会を設立することを目指し取り組んだ結果、平成26年度末の目標値は達成した。  
具体的には、各地区町内自治会連絡協議会や町内自治会の集まりで避難所運営委員会の周知や設立促進のための説明を積極的に行うとともに、各避難所の運営委員会設立準備会議に参加し、設立に向けた支援を行うことなどにより、緑区において全ての避難所で運営委員会が設立されるなど、平成26年度末までに避難所283か所のうち194か所で設立された。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
引き続き町内自治会関係者に避難所運営委員会の周知や設立促進のための説明を行うとともに、避難所運営委員会設立準備会議の支援を積極的に行っていくことにより、全ての避難所での避難所運営委員会の設立を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	避難所運営体制の整備	避難所運営委員会の設置	市民向け手引きの作成	全市的に設置	全市的に設置	全市的に設置	達成	0
2	自主防災組織の結成促進	自主防災組織の結成数	936組織	90組織	1,026組織	989組織	未達成	31,848
3	防災行政無線の改修	防災行政無線 自動音声応答システム 屋外受信機	－ 123基	整備 30基増	整備完了 153基	整備完了 151基	概ね達成	192,276
4	防災行政無線の改修	地域防災無線 非常固定空中線 中継局	67か所 －	139か所増 畑中継局増設	206か所 整備完了	209か所 整備完了	達成	
5	防災井戸の機能確保	発電機の整備	発電機 30台	60台増	90台	90台	達成	4,881
6	町内自治会の加入促進	加入世帯数	295,000世帯	2,000世帯増／年	301,000世帯	298,494世帯	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	災害情報ネットワークの整備	市民への情報配信	39,000人	44,500人	50,000人	42,792人	未達成	2,924



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

指標NO

117

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－3 消防・救急体制の充実

指標名	市の消防・救急体制が整っている	単位	%
-----	-----------------	----	---

担当局（区）	消防局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	53.0	56.0	60.0	○
現状値	49.3	52.1	—	—	

目標設定の考え方	市民が安全・安心な暮らしをおくるため、市民の身体・生命及び財産を守ることは極めて重要であることから、さらなる向上を目指し目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
H27中間評価については、共同指令センターの整備など消防指令体制の充実や高度な救命処置を行う事のできる救急救命士の養成のほか、消防団無線のデジタル化整備など消防団活動体制の充実や救命講習会の開催による応急手当の普及啓発により市民の防火防災意識が高まったこともあり、現状値が目標値に若干到達しなかったものの、概ね達成することができたものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
複雑多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防署・所の整備や地域消防防災の中核的役割を担う消防団の器具置場の建替を行うなど、消防力の強化を図るとともに、救急体制の充実強化のため、青葉病院に救急ワークステーションを設置し、救急救命士をはじめとした救急隊員のスキルアップを図る。 また、救命率の向上を図るため、救命講習会を開催するとともに、市民ボランティアによる応急手当インストラクター等を養成し、市民と協働した応急手当の普及啓発を図る。 さらに、火災の発生危険や火災に伴う人命の危険を排除するため、住宅用火災警報器の普及啓発をはじめ住宅防火対策を推進するとともに、立入検査等により防火対象物に対する違反是正の強化を図る。 これからも市民の信頼と負託に応えるため、職員1人ひとりが任務に誇りと使命感を持ち、あらゆる事象に迅速的確に対応できる消防体制を確立するとともに、より質の高い消防行政サービスを市民へ提供する体制を構築し、甚大な被害が予測される自然災害など、各種災害から市民の安全・安心を守るため、全職員が一丸となって「安全で災害に強いまちづくり」を目指す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	女性消防職員用施設改修	女性職員の交替勤務のための施設改修	3消防署	3消防署増	6消防署	9消防署	達成	56,219
2	消防指令体制の充実	消防救急無線デジタル化整備	消防救急無線デジタル化基地局設置工事	基地局設置工事	供用	供用	達成	964,583
3	消防指令体制の充実	消防救急無線移動局整備	—	319台増	319台	319台	達成	
4	消防指令体制の充実	共同指令センター管理運営	共同指令センター管理運営 詳細設計	整備	運営	運営	達成	
5	ICTを活用した救急業務の推進	ICTシステム整備	モデル事業の実施	画像伝送・受信装置の設置	運用	休止	休止	0
6	消防署・所の整備	宮崎出張所の建替(実施設計)	—	実施設計	実施設計	実施設計	達成	20,821
7	消防団活動体制の充実	消防団無線のデジタル化整備	—	整備	整備	整備	達成	84,470
8	消防団活動体制の充実	消防団器具置場の更新	—	3棟	3棟	1棟	未達成	
9	消防団活動体制の充実	小型動力ポンプ付き積載車の整備	小型動力ポンプ付き積載車 41台	1台増	42台	42台	達成	
10	消防事務処理システムの構築	消防事務処理システムの構築	—	構築	供用	供用	達成	59,248
11	救急救命士の養成	救急救命士の養成	救急救命士養成 139人	12人増	151人	151人	達成	0
12	救急救命士の養成	気管挿管処置可能者養成	気管挿管処置可能者養成 60人	6人増	66人	76人	達成	0
13	救急救命士の養成	薬剤投与処置可能者養成	薬剤投与処置可能者養成 84人	6人増	90人	100人	達成	0
14	救急救命士の養成	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡使用気管挿管可能者養成	—	59人増	59人	57人	概ね達成	0





政策評価シート【個票：客観指標】


別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－3 消防・救急体制の充実

指標NO	118
------	-----

指標名	建物の延焼率	単位	%
-----	--------	----	---

指標の説明	建物から出火した火災件数のうち、複数棟が焼損した火災件数の割合	担当局（区）	消防局
-------	---------------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	9.8	9.5	9.2	
現状値	10.2	9.5	－	－	

目標設定の考え方	住宅火災の被害を最小限にすることは、火災予防と消防体制の充実を図り、火災に強いまちづくりを進めるために重要であることから、消防活動体制の強化、火災予防対策の推進などにより、割合の低減を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
延焼率の値については、火災の発生件数が各年の気象状況や火災原因（放火に起因するもの等）に大きな影響を受けるため、3年間の平均値をとることとしている。 今回、H27の中間目標である9.8%は達成できたものの、これはH24の値が突出して低かった（7.5%）ことが影響しているためであり、逆にH25、H26の値は目標値を大幅に上回ってしまっている（H25：10.3%、H26：10.7%）ため、H30中間評価において、目標値の9.5%を達成できないことが懸念される。 （延焼率＝延焼火災件数／建物火災件数→H24：12件/161件、H25：18件/174件、H26：18件/169件）
【課題及び今後の取組みの方向性】
火災が発生した場合において、住宅用火災警報器や各種消防用設備等により、火災が早期に発見され、有効な初期消火によって、拡大が未然に防止されるように、引き続き住宅防火対策及び査察の充実強化を推進する。また、消防指令体制の更なる充実、出動拠点である消防署・所及び消防団器具置場の整備等により、消防隊及び消防団員の出動・現場到着がより迅速化し、早期の消火活動を開始することで隣接建物への延焼を防ぐ。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	消防指令体制の充実	消防救急無線デジタル化整備	消防救急無線デジタル化基地局設置工事	基地局設置工事	供用	供用	達成	964,583
2	消防指令体制の充実	消防救急無線移動局整備	－	319台増	319台	319台	達成	
3	消防指令体制の充実	共同指令センター管理運営	共同指令センター管理運営 詳細設計	整備	運営	運営	達成	
4	消防署・所の整備	宮崎出張所の建替（実施設計）	－	実施設計	実施設計	実施設計	達成	20,821
5	消防団活動体制の充実	消防団無線のデジタル化整備	－	整備	整備	整備	達成	84,470
6	消防団活動体制の充実	消防団器具置場の更新	－	3棟	3棟	1棟	未達成	
7	消防団活動体制の充実	小型動力ポンプ付き積載車の整備	小型動力ポンプ付き積載車 41台	1台増	42台	42台	達成	
8	住宅防火対策の推進	町内自治会への住宅用火災警報器普及啓発	72自治会/年	町内自治会への設置及び維持管理の説明	全自治会（1,068）※平成23年4月現在	全自治会（1,068）延べ説明件数 1,231件	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	警防活動体制整備事業	消防技能管理基準に基づく訓練（対象者数）	1級157名 2級329名	510名/年	510名/年	528名/年	達成	0
2	警防活動体制整備事業	警防技術大会開催による部隊連携の充実強化	個人36名 団体36隊（126名）	個人108名 団体108隊（378名）	個人108名 団体108隊（378名）	個人117名 団体108隊（360名）	達成	0
3	予防査察業務	査察の充実強化（査察件数）	5,400件	18,900件	6,300件	5,525件（3か年平均6,561件）	達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－3 消防・救急体制の充実

指標NO	119
------	-----

指標名	心肺機能停止傷病者の救命率	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	救急隊員が搬送した心肺機能停止傷病者総数のうち、1か月後生存した者の数の割合 ※心肺停止に至った原因が心原性疾患によるもので、かつ、市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例による。	担当局（区）	消防局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	16.0	18.0	20.0	✕
現状値	12.9	11.6	－	－	

目標設定の考え方	消防・救急体制の充実による、一人でも多くの人命を救助・救命できる体制づくりを進めるにあたり、ICTを活用した救急業務の効果的な運用や、心肺蘇生法などの応急手当普及啓発の実践などにより、値の向上を図ることとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 H27中間評価（直近3年救命率の平均値）については目標値を下回ったが、H26単年度の救命率は、目標値（16％）に達した。 また、指標を構成する計画事業については、一部事業を除き達成することができた。特に応急手当の普及啓発について計画を大きく上回った。 しかしながら、計画事業のほかに「個々の傷病者の病態」、「医療機関での救命処置」など複数の要因が影響したため、H23末現状値を下回ったものと推測される。
【課題及び今後の取組みの方向性】 救命率を向上させるため、応急手当の普及啓発、ICTを活用した救急情報共有システムの整備や救急救命士養成等の取組みをを引き続き実施し、救急体制の充実を図って行く。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ICTを活用した救急業務の推進	ICTシステム整備	モデル事業の実施	画像伝送・受信装置の設置	運用	休止	休 止	0
2	救急救命士の養成	救急救命士の養成	救急救命士養成 139人	12人増	151人	151人	達 成	0
3	救急救命士の養成	気管挿管処置可能者養成	気管挿管処置可能者養成 60人	6人増	66人	76人	達 成	0
4	救急救命士の養成	薬剤投与処置可能者養成	薬剤投与処置可能者養成 84人	6人増	90人	100人	達 成	0
5	救急救命士の養成	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡使用気管挿管可能者	－	59人増	59人	57人	概ね達成	0
6	応急手当の普及啓発	救命講習会の開催	救命講習会の受講者数 8,000人（単年度分）	24,000人	24,000人	38,489人	達 成	0
7	応急手当の普及啓発	応急手当インストラクターと協働した救命講習会の開催	応急手当インストラクターと協働した救命講習会 2回	6回	6回	101回	達 成	0
8	応急手当の普及啓発	こども救命講習会の開催	こども救命講習会 2回	6回	6回	29回	達 成	0
9	応急手当の普及啓発	応急手当普及協力事業所の認定	応急手当普及協力事業所の認定 296件	90件増	386件	462件	達 成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－4 交通安全の推進

指標NO	120
------	-----

指標名	市内の道路は、歩行者や自転車が安全に通行できる	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局 (区)	建設局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	22.9	26.5	30	
現状値	19.4	25.0	－	－	

目標設定 の考え方	市民の安全・安心な移動空間の確保は極めて重要であることから、自転車走行環境の整備や歩道の整備等により、市民の安全・安心な移動空間を確保することとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
歩道の整備や交差点の改良について、用地取得が遅れたことや国交付金等の財源不足が生じたことにより未達成であったが、放置自転車対策の推進や自転車走行環境の整備、生活道路の整備、電線共同溝の整備等がほぼ個別目標を達成したことで、市民生活において、道路の安全性や安心感を実感することができ、目標値を達成できたものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
未達成となった歩道の整備や交差点の改良については、今後も引き続き事業への理解を得られるよう交渉を進め、事業を推進していくとともに、安定的な財源の確保に努めていく。また、通学路の安全対策を緊急的に実施する必要性が生じたことで、事業が遅延した交通安全施設の充実及び歩道の改良については、改めて事業を推進し、市民の安全・安心な移動空間を確保していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	電線共同溝の整備	電線共同溝整備	22.2km	1.1km	23.3km	23.4km	達成	466,077
2	歩道の整備	歩道の整備	392.75km	1.30km	394.05km	592m	未達成	269,650
3	交差点の改良	交差点改良	調査 1か所 整備 3か所	調査 3か所 整備 7か所	調査 3か所 整備 1か所 完了 6か所	調査 2か所 整備 2か所 完了 4か所	未達成	362,550
4	主要地方道千葉大網線(ニューサンピア千葉交差点)の整備	ニューサンピア千葉交差点整備	詳細設計、用地取得	改良(右折レーン・歩道拡幅)	完了	完了	達成	245,336
5	交通安全施設の充実	道路案内標識	585基	27基	612基	595基	未達成	310,021
6	交通安全施設の充実	地点名標識	359か所	18か所	377か所	396基	達成	
7	交通安全施設の充実	道路照明灯	17,750基	54基	17,804基	17,788基	未達成	
8	踏切道の安全対策	踏切道の改良	1か所	1か所	1か所	2か所	達成	183,700
9	放置自転車対策の推進	自転車駐車場の整備	142か所	整備 1か所 再整備 1か所	143か所	145か所	達成	27,093
10	自転車走行環境の整備	自転車レーン等の整備	3路線	3路線	6路線	10地区 8路線	達成	107,850
11	生活道路の整備	生活道路の整備	調査 4路線 整備 5路線	調査 1路線 整備 11路線	調査 1路線 整備 5路線 完了 6路線	調査 3路線 整備 4路線 完了 5路線	概ね達成	319,241
12	市道横戸町23号線の整備	道路整備	用地取得率 50.2%	用地取得 10件、道路拡幅、歩道新設	供用開始	用地取得 71.7%	未達成	51,110
13	歩道の改良	歩道の段差解消	14,408か所	764か所	15,172か所	14,771か所	未達成	482,755
14	歩道の改良	視覚障害者誘導用ブロック設置	39.1km	35.99km	75.09km	62.03km	未達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	道路維持事業(安全施設修繕)	ガードレール修繕、カーブミラー修繕等	実施	実施	実施	実施	達成	151,559
2	道路維持事業(道路照明灯修繕)	部品交換等	実施	実施	実施	実施	達成	203,261



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－4 交通安全の推進

指標NO	121
------	-----

指標名	交通事故死傷者数	単位	人
-----	----------	----	---

指標の説明	交通事故を原因とし、24時間以内に死亡した人数および負傷者数	担当局（区）	市民局
-------	--------------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	4,217	3,569	3,065	◎
現状値	4990	3,863	－	－	

目標設定の考え方	市民の交通安全の確保は極めて重要であることから、交通事故死傷者数の削減を図ることとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 本市及び、警察や交通安全協会、安全運転管理者協議会などの関係団体等による交通安全教育や普及啓発活動などソフト面での施策や、交差点の改良や生活道路の整備などのハード面での施策により、交通事故死傷者数を減少することができたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 自転車に関係する事故の割合が依然として高い状況であり、特に道路交通法の改正（H27年6月1日）など、自転車安全利用に対する関心が高まっている状況の中、スケアード・ストレイト教育技法（スタントマンによる歩行者・自転車と自動車による仮想事故の再現により、交通事故の恐怖を直視する体験型教育手法）を取り入れた交通安全教室や自転車安全利用講習会、自転車マナーアップイベントなどによる交通安全教育や普及啓発活動を実施していくことで自転車安全利用の促進を図る。 また、近年の交通事故の特徴として、高齢者が関わる事故の割合が増加していることから、引き続き高齢者を対象とした交通安全講話を実施していく。 なお、交通安全の推進には、警察や交通安全協会、安全運転管理者協議会などの関係団体等との連携が不可欠であるため、引き続き各種活動等における連携強化を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自転車安全利用の促進	自転車交通安全教室	5回／年	5回／年増	10回／年	12回／年	達成	0
2	交差点の改良	交差点改良	調査 1か所 整備 3か所	調査 3か所 整備 7か所	調査 3か所 整備 1か所 完了 6か所	調査 2か所 整備 2か所 完了 4か所	未達成	362,550
3	生活道路の整備	生活道路の整備	調査 4路線 整備 5路線	調査 1路線 整備 11路線	調査 1路線 整備 5路線 完了 6路線	調査 3路線 整備 4路線 完了 5路線	概ね達成	319,241

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－4 交通安全の推進

指標NO	122
------	-----

指標名	放置自転車台数	単位	台
-----	---------	----	---

指標の説明	千葉市内の自転車等放置禁止区域内における放置自転車台数	担当局（区）	建設局
-------	-----------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	3,700	3,300	3,000	◎
現状値	4,200	1,400	－	－	

目標設定 の考え方	自転車駐車場の整備の推進等により、放置自転車台数の減少を図ることとして目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
市内鉄道駅等への平成26年度末における自転車乗入台数は、平成23年度に比べて約4, 000台減少していることに加え、放置自転車対策に関する取組みとして、即日撤去や放置指導の継続的实施及び千葉駅東口に民間事業者による新たな時間貸し自転車駐車場が設置されたことが放置自転車台数の減少に寄与したと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
商業施設周辺の買い物客等による放置自転車対策が課題となっていることから、平成25年度、一定規模以上の大規模店舗等を新築または増築する場合に、自転車駐車場の設置を義務付ける条例改正を行い、新たな大規模店舗等の自転車駐車場整備の促進を図ることとした。 また、駅付近の既存の商業施設管理者に敷地内の自転車駐車場整備を要請するとともに、歩道幅員が確保できるなど道路占用許可基準を満足する路上自転車駐車場について、商店街振興組合などに占用許可することにより、民間による自転車駐車場整備を促進する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放置自転車対策の推進	自転車駐車場の整備	142か所	整備 1か所 再整備 1か所	143か所	145か所	達成	27,093

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放置自転車追放指導	口頭での指導、放置自転車の整理	実施	実施	実施	実施	達成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－5 防犯対策の推進

指標NO	123
------	-----

指標名	市内の治安は良い	単位	%
-----	----------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	60.0	65.0	70.0	△
現状値	42.7	52.5	—	—	

目標設定 の考え方	市内の犯罪を減らし、市民の体感治安の改善を図ることとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
市内の刑法犯認知件数は着実に減少しており、体感治安の数値も上昇している。 ただし、調査時に近隣で犯罪が発生したり、社会的な問題となるような犯罪が起きますと、体感治安は悪化することが想定されるため、実際の犯罪件数の減少分が直接的に体感治安に結びついていないことも考えられる。 また、高齢化に伴い、近年市内の防犯パトロール隊の団体数及び人員が横ばいから減少傾向であることから、治安への不安感に表れている可能性がある。
【課題及び今後の取組みの方向性】
平成27年度から平成29年度を計画期間とする第3次地域防犯計画に盛り込んだ事業の確実な実行により、刑法犯認知件数のさらなる減少を目指していく。特に子どもや高齢者など社会的に配慮を要する人たちを狙った犯罪をできるだけ未然に防ぐため、登下校時における安全確保の取組みや、振り込め詐欺に関する注意啓発、街頭キャンペーンの実施などに重点的に取り組んでいく。加えて、防犯パトロール隊については、既存の団体が活動を継続していけるよう支援を強化していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民防犯活動の支援	防犯パトロール活動団体	743団体	141団体増	884団体	718団体	未達成	0
2	地域防犯ネットワークの推進	防犯への協力に関する覚書締結	49団体	3団体/年	58団体	58団体	達成	0
3	防犯街灯の設置促進	LED灯設置への補助	—	840灯	840灯	374灯	未達成	26,662
4	美浜区安全会議	安全会議	2地区	3地区	5地区	8地区	達成	0
5	美浜区安全会議	地域防犯マップの作成	2地区	3地区	5地区	未実施	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ちばし安全・安心メール	防犯情報の配信	38,940人に配信	11,060人の配信登録追加	50,000人に配信	42,792人に配信	未達成	4,131
2	防犯ウォーキング(中央区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	2,184人	916人	3,100人	2956人	概ね達成	0
3	防犯ウォーキング(花見川区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,583人	787人	2,370人	1,941人	概ね達成	738
4	防犯ウォーキング(稲毛区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,907人	293人	2,200人	1,990人	未達成	368
5	防犯ウォーキング(若葉区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,735人	265人	2,000人	2,042人	達成	227
6	防犯ウォーキング(緑区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,346人	450人	1,796人	1,537人	未達成	207
7	防犯ウォーキング(美浜区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,972人	585人	2,557人	1,846人	未達成	74

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－5 防犯対策の推進

指標NO	124
------	-----

指標名	この１年間に、地域において防犯活動に参加したことがある	単位	％
-----	-----------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	15.0	20.0	25.0	✕
現状値	13.8	11.0	－	－	

目標設定の考え方	防犯パトロール隊への物品支援や防犯ウォーキングの周知を図り、気軽にパトロールへ参加できる環境を整えることとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
平成26年末の防犯活動への参加率は平成23年末と比較し減少している。要因としては、パトロール隊員の高齢化により、パトロール活動が出来なくなる人がいることが考えられる。また、防犯パトロール隊未結成地区に防犯パトロール隊支援物品配付事業等の事業の周知を行なっているものの、高齢化や人員確保が困難なことから、防犯パトロール隊団体数及び参加者数が横ばいの状況になっており、新たな参加者が増えない状況になっていることが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
防犯パトロール隊支援物品配付事業の周知や、講座の開催、キャンペーンの実施等を通じて、防犯活動の意識醸成を図りながら、防犯活動への参加者の増加を目指す。加えて、若年層への防犯活動の支援を広めるため、大学生等に対し働きかけを行なっていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民防犯活動の支援	防犯パトロール活動団体	743団体	141団体増	884団体	718団体	未達成	1290

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング（中央区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	2,184人	916人	3,100人	2,382人	概ね達成	418
2	防犯ウォーキング（花見川区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,583人	787人	2,370人	1,940人	概ね達成	737
3	防犯ウォーキング（稲毛区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,907人	293人	2,200人	1,990人	未達成	368
4	防犯ウォーキング（若葉区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,735人	265人	2,000人	2,042人	達成	227
5	防犯ウォーキング（緑区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,346人	450人	1,796人	1,537人	未達成	207
6	防犯ウォーキング（美浜区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,972人	585人	2,557人	1,846人	未達成	195

政策評価シート【個票：客観指標】


別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－5 防犯対策の推進

指標NO	125
------	-----

指標名	刑法犯認知件数	単位	件
-----	---------	----	---

指標の説明	警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数	担当局（区）	市民局
-------	--------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	13,100	10,900	9,000	
現状値	15,542	12,321	—	—	

目標設定の考え方	市民の安全の確保は極めて重要であることから、刑法犯認知件数の削減を図ることとして、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 市内の刑法犯認知件数は着実に減少しており、平成26年は12, 321件と前年から1, 934件減少し、目標値を達成した。 この結果は、警察当局の日頃の活動の成果はもちろんのこと、防犯パトロール隊の日々の活動や、市内に拠点をもつ事業者と「防犯への協力に関する覚書の締結」を進めるなどの地域防犯ネットワークの推進を進めてきたためと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 平成27年度から平成29年度を計画期間とする第3次地域防犯計画に盛り込んだ事業の確実な実行により、刑法犯認知件数のさらなる減少を目指していく。特に子どもや高齢者など社会的に配慮を要する人たちを狙った犯罪をできるだけ未然に防ぐため、登下校時における安全確保の取組みや、振り込め詐欺に関する注意啓発、街頭キャンペーンの実施などに重点的に取り組んでいく。加えて、防犯パトロール隊については、既存の団体が活動を継続していけるよう支援を強化していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民防犯活動の支援	防犯パトロール活動団体	743団体	141団体増	884団体	718団体	未達成	0
2	地域防犯ネットワークの推進	防犯への協力に関する覚書締結	49団体	3団体/年	58団体	58団体	達成	0
3	防犯街灯の設置促進	LED灯設置への補助	—	840灯	840灯	374灯	未達成	26,662
4	美浜区安全会議	安全会議	2地区	3地区	5地区	8地区	達成	0
5	美浜区安全会議	地域防犯マップの作成	2地区	3地区	5地区	未実施	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ちばし安全・安心メール	防犯情報の配信	38,940人に配信	11,060人の配信登録追加	50,000人に配信	42,792人に配信	未達成	4,131
2	防犯ウォーキング(中央区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	2,184人	916人	3,100人	2956人	概ね達成	0
3	防犯ウォーキング(花見川区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,583人	787人	2,370人	1,941人	概ね達成	738
4	防犯ウォーキング(稲毛区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,907人	293人	2,200人	1,990人	未達成	368
5	防犯ウォーキング(若葉区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,735人	265人	2,000人	2,042人	達成	227
6	防犯ウォーキング(緑区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,346人	450人	1,796人	1,537人	未達成	207
7	防犯ウォーキング(美浜区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,972人	585人	2,557人	1,846人	未達成	74



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－6 消費生活の安定・向上

指標NO	126
------	-----

指標名	消費者被害に関する情報提供や相談体制が充実している	単位	%
-----	---------------------------	----	---

担当局（区）	市民局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	15.0	20.0	25.0	○
現状値	11.9	14.0	－	－	

目標設定の考え方	消費者被害の防止・救済に積極的に取り組むこととして、目標値を設定した。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】
消費者被害の拡大防止・早期救済を図るため、情報提供や相談体制の充実をめざし、消費生活相談業務や情報提供を行ってきたが、26年末目標値の15%に到達しなかった。 近年、消費者被害や消費者事故等について、各種メディアで報道され、消費者の興味関心が高まっており、中央省庁等から広く注意喚起されている。 本市では、第2次千葉市消費生活基本計画に基づき、消費生活相談体制の強化を行い、各区役所と民間商業施設での出張相談や、インターネットによる消費生活相談の受付を行い、活用を促進してきたところである。また、消費生活に関する情報提供の促進として、各種広報紙・ホームページ・電子メールなど、さまざまな媒体を通じて消費生活に役立つ様々な情報提供や注意喚起を行ってきた。 これらの活動により、指標の数値は向上しているが、目標値に到達しなかった原因として考えられるのは、区役所等出張相談において情報通信機器が利用できず、迅速な解決が難しかったことや、インターネット等を活用していない市民へ、他の方法による情報提供・注意喚起が十分に行えていないこと、相談窓口の周知が徹底されていなかったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後、情報提供や相談体制の充実を目指し、第2次千葉市消費生活基本計画による「相談体制の強化」、「情報提供の促進」を引き続き実施していく。 具体的には、引き続き各区役所で月2回の出張相談を実施することにより区役所との連携を強化し、高齢者や障害者に関する相談窓口との連携強化を行い、消費生活相談窓口の周知の徹底を図る。 また、消費者被害防止に関する有効な情報を市政だよりやホームページに提供する。 出張相談については、その場での迅速な対応が取れるように、タブレット型端末を導入する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	消費生活相談の充実	消費生活相談の充実	電話・面談	電子メールによる受付	電話・面談・電子メール	電話・面談・電子メール	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	消費者教育事業（消費生活講座）	消費生活に関する講座	6講座 166人	4講座増	10講座 300人	17講座 345人	達成	436
2	消費者教育事業（巡回講座）	巡回講座	28回 2,039人	12回増	40回 3,000人	97回 4,850人	達成	32



政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

指標NO

127

施策の柱	4－1 市民の安全・安心を守る
施策	4－1－6 消費生活の安定・向上

指標名	消費生活講座等の受講者数	単位	人／年
-----	--------------	----	-----

指標の説明	消費生活に関する市民向け講座等の受講者数	担当局（区）	市民局
-------	----------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	460	520	580	◎
現状値	400	567	－	－	

目標設定 の考え方	消費者被害に関する情報提供や普及啓発を推進することとして、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】  
高齢者の消費者被害が増加していることから、高齢者等の見守りを地域で行う市民向けに9回連続の講座（消費者サポーター養成講座）を開催したことや、警察と連携した高齢者向けの悪質商法等被害防止講演会を平成26年度から各区役所で実施したことから、受講者が増加したと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】  
引き続き、消費者被害に関する講演会等を実施していく。また消費者を取り巻く環境は変化しているため、消費者サポーターの継続的な活動につなげられるような講座を目指していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	消費生活相談の充実	消費生活相談の充実	電話・面談	電子メールによる受付	電話・面談・電子メール	電話・面談・電子メール	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	消費者教育事業 （消費生活講座）	消費生活に関する講座	6講座 166人	4講座増	10講座 300人	17講座 345人	達成	436
2	消費者教育事業 （巡回講座）	巡回講座	28回 2,039人	12回増	40回 3,000人	97回 4,850人	達成	32

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－1 市街地の整備

指標NO	128
------	-----

指標名	駅前など、市内の市街地は整備されて魅力的だと感じる	単位	%
-----	---------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	40.0	45.0	50.0	△
現状値	31.0	32.1	－	－	

目標設定の考え方	JR千葉駅周辺の再開発や幕張駅北口の区画整理事業の推進により、市街地の魅力の向上を図ることを目指し、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
市街地の魅力向上を目指し、再開発や区画整理事業を推進しているが、平成26年度末目標値には到達しなかった。 計画事業「千葉駅西口地区第二種市街地再開発」の取組みとして千葉駅西口の駅前広場や再開発ビルが完成したことにより、同駅周辺において一定の魅力向上を図ることはできたものの、同駅舎自体の建替工事が東日本大震災などの影響で遅れが生じていることなどから、印象を損ねたものと推察される。 また、土地区画整理事業による市街地の形成は、東幕張地区に予算を集中的に投入し、事業進捗は概ね目標どおり達成することができたが、検見川・稲毛地区及び寒川第一地区においては、予算規模の縮小により計画どおりの進捗が図れなかった。 さらに、「幕張新都心若葉住宅地区の整備促進」については、道路、公園は完成したものの、住宅の立地は今後進められることから、魅力的な市街地として指標を改善するには不十分だったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
千葉駅の魅力向上には、JRによる同駅の建替工事完成とエキナカ施設の供用開始、さらにはJR・モノレールの連絡通路の供用開始による乗換利便性の向上が大きく影響する。現在は、これらすべての完成目標を平成30年夏以降に置き、JR・モノレールの連絡通路の整備や千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備などを促進していく。 また、東幕張地区については、駅前広場を含む幹線道路等の早期完成に向け、公共施設の整備・改善を行っていく。 今後、都市型住宅の立地によりまちづくりが進められる幕張新都心若葉住宅地区は、現在事業者と地区計画の策定に取り組んでおり、魅力的な市街地の形成に向けた取組みを進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	駅前広場	－	整備 6,280㎡	供用	供用	達成	1,937,448
2	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	区画道路	1路線供用	整備 320㎡	供用	供用	達成	
3	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	歩道橋	－	整備	供用	供用	達成	
4	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達成	
5	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	千葉港黒砂台線の道路整備の推進	一部供用	歩車道整備	供用	供用	達成	
6	検見川・稲毛地区土地区画整理	道路築造	12,745m	410m	13,155m	13,035m	未達成	602,993
7	寒川第一土地区画整理	道路整備	1,895m	199m	2,094m	2,005m	未達成	481,433
8	東幕張土地区画整理	道路築造	1,587m	750m	2,337m	2,270m	概ね達成	2,244,449
9	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事（スケジュール遅れ）	未達成	80,224
10	JR千葉駅建替えの促進	JRや地元関係者との意見交換会	－	2回／年	2回／年	3回／年	達成	
11	千葉西銀座（1・2街区）地区市街地再開発の促進	市街地再開発事業	準備組合設立に向けた協議	都市計画決定、市街地再開発組合設立、工事	工事	関係者間協議など	未達成	0
12	生活機能拠点におけるまちづくりの促進	整備構想の策定	関係機関との協議	策定	策定	整備構想案の検討	未達成	0
13	幕張新都心若葉住宅地区の整備促進	県による土地分譲促進	基盤整備等	土地分譲	土地分譲	土地分譲	概ね達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－2 計画的な土地利用の推進

指標NO	129
------	-----

指標名	買物などの日常の外出は、車を使わなくても便利だと感じる	単位	%
-----	-----------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	50.4	52.6	55.0	✕
現状値	48.2	46.8	－	－	

目標設定 の考え方	計画的なまちづくりを推進し、公共交通機関の利便性の向上など、生活しやすいまちづくりを目指し、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
計画的なまちづくりを推進しているところであるが、平成26年度末目標値に到達しなかった。 現状では、人口の増加と市街地の拡張が続いていることや、生活機能の立地状況などの要因から、当該指標で市民が便利さを実感できていないと考えられる。 また、市民の安全で快適な生活と効率的な都市経営との両立を図る都市づくりを進めるための「都市計画マスタープラン」は平成27年度末策定予定であること、また、計画事業「総合交通政策の推進」の取組み「住民参画型コミュニティバス等の運行」について、市内1地区より相談はあるが、地域内において運行経路等の検討・協議を進めている最中であり、運行に至っていない状況も影響しているのではないかと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
平成27年度末策定予定の都市計画マスタープラン（平成28年度から10年間の市の都市計画の基本的な方針を示したもの）では、本市の人口構造など社会情勢の変化を長期的に展望しつつ、新基本計画に定める「集約型都市構造」への転換を見据えた、本市の都市づくりの将来像や方向性を示すこととする。 また、第2次実施計画事業「地域参画型コミュニティバス等導入の推進」では、運行に向けた検討・協議が進んでいる地区をモデルとして運行支援制度を策定し、地域の移動手段確保への取組みに対し、支援を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	都市計画マスタープランの見直し	都市計画マスタープラン策定	－	全体構想の一部見直し、素案作成	全体構想の一部見直し、素案作成	土地利用現況調査 完了 都市計画マスタープラン 全体構想の一部見直し・ 素案作成	達成	18,861
2	総合交通政策の推進	住民参画型コミュニティバス等の運行	運行手段の検討	1路線	1路線	検討	未達成	13

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－3 良好な都市景観の形成

指標NO	130
------	-----

指標名	市内の街並みの景観は良好だと感じる	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局 (区)	都市局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	39.7	42.3	45.0	✕
現状値	37.1	36.3	—	—	

目標設定 の考え方	景観形成推進地区の指定など、景観施策の推進により、良好な街並みの形成を目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
都市の良好な景観形成を図るため、「景観資産の発掘のための表彰の実施」や「条例に基づく景観形成推進地区の指定」など、景観施策を推進しているところであるが、平成26年度末目標値の39.7%には到達しなかった。 景観形成推進地区に指定した幕張新都心地区のある美浜区では前回よりも1.5ポイント数値が向上した。一方、平成26年度末までに地区指定を行う予定だった中央公園プロムナード沿道地区については、千葉駅周辺の活性化グランドデザインが大幅に変更される見込みとなったため、現状では地区指定の手続きを進めることができなかったことから、計画事業「景観形成の推進(景観形成推進地区の指定)」が未達成となり、目標値に到達できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後、中央公園プロムナード沿道地区における景観形成推進地区の指定に向けては、千葉駅周辺の活性化グランドデザインの動向を受けて、千葉駅前大通りの景観形成推進地区の景観ルールの合意形成に時間を要するなどの課題があるが、引き続き良好な景観形成に向けた沿道企業への働きかけなどを行うことにより、さまざまな景観形成に向けた活動の取組みを行っていく。 具体的には、当地区の景観形成推進の中心となる「千葉駅前大通り景観推進協議会」との連携を着実に推進することに加え、同協議会への参加者を誘発するため、景観づくり研修会を引き続き開催するなど、地区における継続した景観保全活動を担う活動団体との関係構築の強化を図る。 一方、その他事業の「都市文化賞の実施」については、市内における良好な景観資産の発掘に向けて、市民向けの周知を充実させるなどの取組みを進める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	景観形成の推進	景観形成推進地区の指定	1地区	2地区増	3地区	1地区	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	都市文化賞の実施	表彰の実施	実施	実施	実施	実施	達成	1,179

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－3 良好な都市景観の形成

指標NO	131
------	-----

指標名	良好な景観形成の推進を図る地区数	単位	地区
-----	------------------	----	----

指標の説明	地域の特性を活かした都市景観の形成を推進する地区数	担当局（区）	都市局
-------	---------------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	2	3	4	△
現状値	0	1	－	－	

目標設定 の考え方	良好な景観形成に関心の高い事業者、住民等との調整を図り、地区指定に向けた取組みを進める。
--------------	--

【達成状況の分析】
都市の良好な景観形成を図るため、条例に基づく景観形成推進地区の指定など、景観施策を推進しているところであるが、平成26年度末目標値の2地区には到達しなかった。 主な原因として考えられるのは、平成26年度末までに地区指定を行う予定だった中央公園プロムナード沿道地区で、千葉駅周辺の活性化グランドデザインが大幅に変更される見込みとなったため、現状では地区指定の手続きを進めることができなかったことから、計画事業「景観形成の推進（景観形成推進地区の指定）」が未達成となり、目標値に到達できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後、中央公園プロムナード沿道地区においては、千葉駅周辺の活性化グランドデザインの動向を受けて、千葉駅前大通りの景観形成推進地区の景観ルール of 合意形成に時間を要するなどの課題があるが、引き続き良好な景観形成に向けた沿道企業への働きかけなどを行うことにより、さまざまな景観形成に向けた活動の取組みを行っていく。 具体的には、当地区の景観形成推進の中心となる「千葉駅前大通り景観推進協議会」との連携を着実に推進することに加え、同協議会への参加者を誘発するため、景観づくり研修会を引き続き開催するなど、地区における継続した景観保全活動を担う活動団体との関係構築の強化を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	景観形成の推進	景観形成推進地区の指定	1地区	2地区増	3地区	1地区	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－4 住宅・住環境の充実

指標NO	132
------	-----

指標名	市内の住環境は良好だと感じる	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局 (区)	都市局
------------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	57.0	59.3	60.0	△
現状値	54.8	54.8	—	—	

目標設定 の考え方	分譲マンションの再生支援や、耐震助成、市営住宅の建替えなどを通じた良好な住環境の充実を目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
市内の住環境を充実させるため、実施計画事業など様々な取組みを実施してきたところであるが、26年度末の目標値に到達しなかった。 計画事業「市営住宅の整備」については、目標事業量を概ね達成したほか、「分譲マンションの再生支援」についても、計画期間としては達成できなかったものの、平成26年度は目標以上の助成を行った。理由としては、市民に制度の周知が徐々に進みつつあることが考えられる。 しかし、「耐震助成・耐震改修の助成」については、費用が高額なため木造住宅の耐震診断と分譲マンションの耐震改修の申請件数が少なかったこと、また、「密集市街地の環境整備」について、地元の合意形成に時間を要しており、事業があまり進捗しなかったことなどから、目標値に到達しなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
第2次実施計画においても、「市営住宅の整備」、「耐震診断・耐震改修の助成」を引き続き実施する。特に、耐震助成については、耐震性を満たしていない住宅の所有者に対し制度の周知を図るため、耐震性を満たしていない住宅地域にチラシのポスティングなどの啓発活動を行っていく。また、「密集市街地の環境整備」については、地元の合意形成を促進するため、町内自治会等に対し支援を行っていく。 分譲マンションの再生については、様々な機会を捉えて、制度の普及・啓発を図るとともに、更に利用しやすい制度とするため、見直しを検討する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	サービス付き高齢者向け住宅供給の促進	サービス付き高齢者向け住宅の供給	調査、登録制度の創設	調査、整備基準等の策定	整備基準等の策定	中止	中 止	0
2	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震診断(木造住宅)	381戸	100戸/年	681戸	496戸	未達成	87,191
3	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震診断(分譲マンション)	4棟	1棟/年	7棟	7棟	達 成	
4	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震改修(木造住宅)	168戸	50戸/年	318戸	302戸	概ね達成	
5	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震改修(分譲マンション(設計))	—	1棟/年	3棟	1棟	未達成	1,441
6	分譲マンションの再生支援	助成	4件	9件	13件	11件	未達成	
7	密集住宅市街地の環境整備	椿森3丁目・稲毛東5丁目地区の環境整備	事業計画作成	路線・現況測量 6路線、境界測量 5.0ha、道路予備・詳細設計 6路線	道路予備・詳細設計 6路線完了	現況測量 6路線	未達成	5,936
8	市営住宅の整備(市営住宅の建替)	宮野木町第1団地	造成	工事	完了	完了	達 成	2,890,272
9	市営住宅の整備(市営住宅の建替)	轟町第3・4団地	—	測量調査、用途廃止	売却	売却	達 成	
10	市営住宅の整備(市営住宅の建替)	桜木町団地	—	解体工事、実施設計	実施設計	解体工事、実施設計	達 成	
11	市営住宅の整備(市営住宅の建替)	宮野木町第2団地	—	基本設計	基本設計	基本設計	達 成	
12	市営住宅の整備(市営住宅の改善)	市営住宅の改善(手すり設置)	610戸	510戸	1,120戸	1,024戸	概ね達成	
13	市営住宅の整備(市営住宅の改善)	市営住宅の改善(給水設備)	1団地(23年度事業量)	3団地	3団地	3団地	達 成	
14	市営住宅の整備(市営住宅の改善)	市営住宅の改善(屋上防水)	5団地(23年度事業量)	5団地	5団地	5団地	達 成	
15	市営住宅の整備(市営住宅の改善)	市営住宅の改善(外壁改修)	1団地(23年度事業量)	5団地	5団地	5団地	達 成	55,233
16	狭あい道路の拡幅(建築指導課分)	狭あい道路の整備	10.4km	1.0km	11.4km	12.8km	達 成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－4 住宅・住環境の充実

指標NO	133
------	-----

指標名	高齢者の暮らしている住宅のバリアフリー化率	単位	%
-----	-----------------------	----	---

指標の説明	高齢者（65歳以上の者）の居住する住宅の一定のバリアフリー化率（一定のバリアフリー化率：2箇所以上の手すり又は屋内の段差解消）	担当局（区）	都市局
-------	---	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	49.7	－	75.0	✕
現状値	38.9	38.8	－	－	

目標設定 の考え方	リフォームに関する情報提供・相談体制の充実により、高齢者の暮らしているバリアフリー化された住宅割合の向上を目指し設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
計画事業「市営住宅の整備」の取組みや、その他事業「住宅情報提供事業」の実施などにより、バリアフリー化を促進しているが、26年度末の目標値に到達しなかった。 主な理由としては、バリアフリー化している住宅は5年間で約15,000戸増加しているものの、それ以上に指標の分母となる市内65歳以上の世帯数が増加しているためである。 なお、「サービス付き高齢者向け住宅供給の促進」については、住宅の供給量が概ね順調に増えており、また国及び千葉県の補助制度が創設されているため、補助制度の新設は中止することとした。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市営住宅などの公的な住宅については、計画的にバリアフリー化は進んでいるが、既存の民間住宅については建物所有者の高齢化に伴い、改修工事費の負担等により、その進捗が遅れている。 今後は高齢者住宅改修費支援サービス事業（助成制度）の情報提供を行っていくとともに、新たな施策の検討を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	サービス付き高齢者向け住宅供給の促進	サービス付き高齢者向け住宅の供給	調査、登録制度の創設	調査、整備基準等の策定	整備基準等の策定	中止	中 止	0
2	市営住宅の整備（市営住宅の建替）	宮野木町第1団地	造成	工事	完了	完了	達 成	2,890,272
3	市営住宅の整備（市営住宅の改善）	市営住宅の改善（手すり設置）	610戸	510戸	1,120戸	1,024戸	概ね達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	住宅情報提供事業	住宅に関する情報提供、専門的な相談窓口の紹介	実施	実施	実施	実施	達 成	0

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－4 住宅・住環境の充実

指標NO	134
------	-----

指標名	耐震性のある住宅の割合	単位	%
-----	-------------	----	---

指標の説明	耐震基準に適合した建築物など、耐震性を満たしていると推計される住宅ストックの比率	担当局（区）	都市局
-------	--	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	88.6	90	95	△
現状値	84.4	85.9	－	－	

目標設定 の考え方	耐震診断や耐震改修の助成制度等により、建築物の所有者等の取組み支援し、耐震性を高める目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
計画事業「耐震診断・耐震改修の助成の推進」やその他事業「千葉市耐震改修促進計画の推進」などにより、建築物の所有者等の取組みを支援し、耐震性の向上を図っているところであるが、平成26年度末の目標値である88.6に到達しなかった。 要因として、平成24年度は、東日本大震災の影響により申請数は増加したが、平成25・26年度は、耐震改修に多額の費用を要すること、建築物の所有者の高齢化が進み、所得が減少していることなどから、SNSを利用した啓発、出前講座などにより制度の周知を図ったものの、申請件数が減少したことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
建築物の所有者の高齢化が進み、所得が減少していることなどが耐震改修を躊躇させる原因と考えられることから、制度の改善や制度の周知などに取り組んでいく。 具体的には、第2次実施計画事業の「耐震診断・耐震改修の助成」の取組みを着実に推進することに加え、他市の助成制度等を調査・研究し、より利用しやすい助成制度への改善を進めるとともに、住宅が密集している地域などへのチラシのポスティングや、制度の説明会開催などにより、助成制度の周知に努めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震診断(木造住宅)	381戸	100戸/年	681戸	496戸	未達成	87,191
2	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震診断(分譲マンション)	4棟	1棟/年	7棟	7棟	達成	
3	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震改修(木造住宅)	168戸	50戸/年	318戸	302戸	概ね達成	
4	耐震診断・耐震改修助成の推進	耐震改修(分譲マンション(設計))	－	1棟/年	3棟	2棟	未達成	
5	住宅建築資金利子補給の推進	利子補給件数	7件	3件/年	16件	12件	未達成	1,976

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市耐震改修促進計画の推進	耐震改修への助成など	実施	実施	実施	実施	概ね達成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－5 生活基盤の充実

指標NO	135
------	-----

指標名	生活を支える上下水道や道路などを安心して使うことができる	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局（区）	建設局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	65.2	67.6	70.0	
現状値	62.8	68.2	－	－	

目標設定の考え方	上下水道や道路等の生活基盤の整備は極めて重要であることから、道路ネットワークの形成、上下水道、橋梁及び歩道等の整備などの生活基盤の充実を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
浸水の防除（市民が行う設置工事に対する助成事業）など目標が未達成な事業があるものの、市民生活に影響が大きい舗装の新設改良や側溝の新設改良、老朽化下水道施設の改築・更新、橋梁の整備（耐震強化及び長寿命化）等がほぼ個別目標を達成したことで、市民生活において、生活基盤の充実を実感することができ、目標値を達成できたものとする。
【課題及び今後の取組みの方向性】
未達成となった貯留浸透施設や防水板設置助成については、今後も引き続き市政だよりやホームページへの掲載、各区役所等でのパンフレットの配架などPR活動により更なる活用の促進を図っていくとともに、商業施設でのPR活動など新たな周知方法の検討を進める。また、個別目標を達成した舗装の新設改良や側溝の新設改良、老朽化下水道施設の改築・更新、橋梁の整備（耐震強化及び長寿命化）等については市民生活に影響が大きいことから、今後も引き続き事業を推進し、上下水道や道路等の生活基盤の充実を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替	橋梁架替	詳細設計	用地取得、仮橋・迂回路築造、既設橋撤去	仮橋・迂回路築造、既設橋撤去	既設橋撤去 迂回路整備完了	概ね達成	684,713
2	主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替	橋梁架替	迂回路詳細設計	用地取得、橋梁詳細設計、仮橋・迂回路築造	仮橋・迂回道路整備完了	仮橋架設完了	概ね達成	261,359
3	下水道施設の耐震化	管渠耐震化	下水道総合地震対策計画策定 7km	13km	20km	34km	達成	4,415,465
4	浸水の防除	貯留浸透施設	貯留槽 1,452基 浸透柵 1,332個	貯留槽 300基 浸透柵 300個	貯留槽 1,752基 浸透柵 1,632個	貯水槽 1,762基 浸透柵 1,371個	未達成	3,237,631
5	浸水の防除	防水板の設置促進（防水板設置助成）	10件	50件	60件	20件	未達成	
6	浸水の防除	雨水管渠の整備	雨水管整備 2km 調整池改修 2か所 （23年度事業量）	雨水管整備 5km 調整池改修 1か所	雨水管整備 5km 調整池改修 1か所	雨水管整備 4.6km 調整池改修 2か所	概ね達成	
7	浸水の防除	雨水浸透施設の整備	浸透柵 3,310個 浸透マンホール 66基	浸透柵 300個 浸透マンホール 8基	浸透柵 3,610個 浸透マンホール 74基	浸透柵 3,374個 浸透トレンチ管 515m 浸透マンホール 74基	達成	319,241
8	生活道路の整備	生活道路の整備	調査 4路線 整備 5路線	調査 1路線 整備 11路線	調査 1路線 整備 5路線 完了 6路線	調査 3路線 整備 4路線 完了 5路線	概ね達成	
9	市道横戸町23号線の整備	道路整備	用地取得率 50.2%	用地取得 10件、道路拡幅、歩道新設	供用開始	用地取得 71.7%	未達成	51,110
10	狭あい道路の拡幅	狭あい道路の整備	10.4km	1.0km	11.4km	12.8km	達成	55,233
11	舗装の新設	舗装の新設	1.9km（23年度事業量）	3.2km	3.2km	3.2km	達成	171,282
12	舗装の改良	舗装の改良	16.0km（23年度事業量）	45.1km	45.1km	45.1km	達成	3,868,373
13	側溝の新設	側溝の新設	1.6km（23年度事業量）	4.6km	4.6km	5.5km	達成	366,436
14	側溝の改良	側溝の改良	6.2km（23年度事業量）	22.6km	22.6km	22.0km	概ね達成	1,109,483
15	私道の整備助成	舗装及び排水施設整備助成	5件（23年度事業量）	5件／年	15件	16件	達成	31,694







施策の柱	4－2 快適な暮らしの基盤をつくる
施策	4－2－5 生活基盤の充実

指標名	下水道汚水処理普及率	単位	%
-----	------------	----	---

指標の説明	行政人口に対する下水道汚水処理人口の割合	担当局（区）	建設局
-------	----------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	97.6	97.7	97.8	△
現状値	97.2	97.2	－	－	

目標設定 の考え方	下水道の污水管渠の整備を推進することとして目標値を設定した。
--------------	--------------------------------

【達成状況の分析】 衛生的で快適な市民生活を実現するため、周辺環境の改善やトイレの水洗化を図る污水管渠の整備を推進しているところであるが、平成26年度末は目標値の97.6%に到達しなかった。 目標値よりも下回った理由として、污水管渠の整備面積は概ね計画通り事業を実施しているものの、実際の整備区域内人口が、普及率の設定にあたって想定した将来人口（行政人口）まで至らなかったためである。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、下水道中長期経営計画に基づき、効率の良い事業の絞り込みを行い、費用対効果が見込める箇所のうち、市街化区域内で単独浄化槽及び汲み取り箇所等について、重点的に整備を進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	汚水の排除(污水管渠の整備)	污水管渠の整備	12,193ha	20ha	12,213ha	整備面積 12,212ha	概ね達成	844,019

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－1　公共交通ネットワークの形成

指標NO	137
------	-----

指標名	市内の公共交通は利用しやすい	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	51.5	53.3	55.0	×
現状値	49.8	48.9	－	－	

目標設定 の考え方	鉄道等のバリアフリー化などを推進し、人にやさしい移動環境の創出を図ることを目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
鉄道やバスなど、地域間移動手段として欠かせない公共交通について、使いやすく安全に安心して利用できるよう環境整備の取組みを実施してきたところであるが、平成26年度末は目標値に到達しなかった。 計画事業「モノレールの更新（車両更新）」や「鉄道駅バリアフリー化の推進」については目標を達成したが、「総合交通政策の推進（住民参画型コミュニティバス等の運行）」や「バス活性化システムの整備」などのバス運行に関する取組みについては、関係者との調整により進捗が遅れており、また、「JR千葉駅建替えの促進」については、東日本大震災による影響により、工事スケジュールが遅れていることなどから、目標に達しなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市内の公共交通は主にJR線、京成線、モノレール及びバスが運行しているが、特に郊外部において利用者が減少しており、バスの減便や撤退が発生している。 JRによる千葉駅の建替えについては、28年秋の供用に向けて整備が進められており、この供用によってモノレールとの乗り換え利便性が向上する。バス運行に関する取組みについては、第2次実施計画において、引き続き、住民参画型コミュニティバス等の導入について地域住民への説明会等の実施や、バス利用者の利便性を向上するためのバスロケーションシステムの導入促進に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	総合交通政策の推進	住民参画型コミュニティバス等の運行	運行手段の検討	1路線	1路線	検討	未達成	13
2	バス活性化システムの整備	バスロケーションシステム	－	2件	2件	1件	未達成	9,382
3	モノレールの更新（車両更新）	車両更新	6両更新（3編成）	2両更新（1編成）	8両更新（4編成）	8両（4編成）	達成	329,972
4	モノレールの更新（転落防止床）	転落防止床	3駅	14駅	17駅	10駅	未達成	
5	鉄道駅バリアフリー化の推進	京成電鉄の駅（利用客3～5千人/日）のバリアフリー化	－	1駅	1駅	1駅	達成	35,369
6	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事（スケジュール遅れ）	未達成	80,224
7	生活機能拠点におけるまちづくりの促進	整備構想の策定	関係機関との協議	策定	策定	整備構想案の検討	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－1　公共交通ネットワークの形成

指標NO	138
------	-----

指標名	公共交通機関の利用者数	単位	千人
-----	-------------	----	----

指標の説明	市内の鉄道・モノレール・バスの1日あたりの利用者数	担当局（区）	都市局
-------	---------------------------	--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	現状維持 （704）	現状維持 （704）	現状維持 （704）	◎
現状値	704	743	－	－	

目標設定の考え方	公共交通のバリアフリー化、各交通事業者間の連携強化などを通じ利便性の向上を図り、現状維持できるよう目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 鉄道やバスなど、地域間の移動手段として欠かせない公共交通について、使いやすく安全に安心して利用できるよう環境整備を実施し、公共交通の利用者を確保するための取組みを実施してきた結果、現状維持以上の目標を達成できた。 計画事業「バス活性化システムの整備（バスロケーションシステム）」などが目標値には至らなかったものの、「モノレールの更新（車両の更新）」は着実に目標を達成した。利用者がわずかながら増加しており、公共交通の必要性が求められている結果と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後もバス利用者の利便性向上のためにバスロケーションシステム導入促進に引き続き取り組むことや、鉄道駅のバリアフリー化など乗換え利便性向上など、関連する移動環境の整備が必要である。 今回の取組み結果としては、利用者数の現状維持目標以上の利用者数となったが、郊外部においては利用者数の減少による路線バスの減便等が生じている。公共交通の維持、確保のため、地域住民が主体となって運行する第2次実施計画事業「地域参画型コミュニティバス等導入の推進」などの取組みを進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	バス活性化システムの整備	バスロケーションシステム	－	2件	2件	1件	未達成	9,382
2	モノレールの更新(車両更新)	車両更新	6両更新(3編成)	2両更新(1編成)	8両更新(4編成)	8両(4編成)	達成	329,972
3	生活機能拠点におけるまちづくりの促進	整備構想の策定	関係機関との協議	策定	策定	整備構想案の検討	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】


別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－2　道路ネットワークの形成

指標NO	139
------	-----

指標名	市内の道路は、車でスムーズに移動できる	単位	%
-----	---------------------	----	---

担当局（区）	建設局
--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	46.0	46.5	50.0	
現状値	40.7	47.0	－	－	

目標設定の考え方	車のスムーズな移動は、人の移動や経済活動を支えるため重要であることから、市内主要道路（道路交通センサス路線）の整備等による混雑度低減等の効果を勘案して目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
主要地方道浜野四街道長沼線（若葉区更科町）や都市計画道路仁戸名町古市場町線等の市内主要道路の整備完了、また、菅田駅周辺のまちづくり事業の完了により、利用者の利便性が向上したため、目標値を達成したと考えられる。 また、主要地方道千葉大網線（ニューサンピア千葉交差点）の整備や交差点改良の完了箇所においては、比較的短期間で、渋滞の緩和などの事業効果が発現出来たことから、肯定的な回答が得られたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
引き続き、広域道路・都市内幹線道路等の整備によるネットワーク形成を推進するとともに、交差点改良等による渋滞緩和、交通の整流化を目指し、整備を行っていく。 また、用地取得の遅れなどにより、未達成となった事業については、今後も引き続き理解が得られるように交渉を進め、事業を推進していくとともに安定的な財源の確保に努めていく。 さらに、国や千葉県が主体となって行っている事業については、早期に事業効果が発現されるよう、支援を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	交差点の改良	交差点改良	調査　1か所 整備　3か所	調査　3か所 整備　7か所	調査　3か所 整備　1か所 完了　6か所	調査　2か所 整備　2か所 完了　4か所	未達成	362,550
2	主要地方道千葉大網線（ニューサンピア千葉交差点）の整備	ニューサンピア千葉交差点整備	詳細設計、用地取得	改良（右折レーン・歩道 拡幅）	完了	完了	達成	245,336
3	市道横戸町23号線の整備	道路整備	用地取得率　50.2%	用地取得　10件、道路 拡幅、歩道新設	供用開始	用地取得　71.7%	未達成	51,110
4	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道357号湾岸千葉地区改良	地下立体化仮設工事	地下立体化、交差点改良4か所	完了	工事	未達成	3,928,815
5	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道51号北千葉拡幅	一部供用	拡幅工事	拡幅工事	拡幅工事	達成	
6	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道51号バイパス貝塚	調査	調査	設計	調査	未達成	
7	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道126号加曽利町	用地取得率　76%	用地取得、歩道整備、交 差点改良	完了	完了	達成	
8	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道468号（圏央道）	道路整備	道路整備	市域完了	完了	達成	
9	主要地方道浜野四街道長沼線の整備	道路整備（若葉区大井戸町）	470m	橋梁下部工、上部工架設	橋梁本体工事完了	橋梁本体工事完了	達成	544,550
10	主要地方道浜野四街道長沼線の整備	道路整備（若葉区更科町）	2,535m	485m	供用開始	工事（供用開始遅れ）	概ね達成	275,780
11	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備	用地取得	取得率　94.0%	11件	完了	94.2%	未達成	
12	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備	道路整備	370m	140m	510m	510m	概ね達成	
13	県道幕張八千代線の整備（県事業負担金）	道路整備	調査	調査、設計、用地取得	用地取得	調査、設計、用地取得（着手遅れ）	未達成	2,666
14	都市計画道路塩田町菅田町線の整備	用地取得（緑区菅田町）	取得率　28.3%	6件	取得率　32.4%	取得率　38.3%	達成	923,546
15	都市計画道路幕張町弁天町線の整備	用地取得	取得率　96.6%	4件	完了	用地取得	未達成	299,008
16	都市計画道路幕張町弁天町線の整備	道路整備	1,400m	707m	供用開始	工事	未達成	

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
17	都市計画道路村田町線沿道地区の整備	用地取得	取得率 27.5%	19件	取得率 75.0%	取得率 55.0%	未達成	63,947
18	都市計画道路村田町線沿道地区の整備	道路整備	—	250m	250m	40m	未達成	
19	市道御殿町3号線の整備	用地取得	取得率 62.5%	6件	完了	完了	達成	222,473
20	市道御殿町3号線の整備	道路整備	346m	360m	供用開始	供用開始	達成	
21	都市計画道路塩田町菅田町線の整備	用地取得(中央区塩田町)	取得率 8.9%	3件	取得率 23.2%	取得率 24.4%	達成	343,624
22	都市計画道路新港横戸町線の整備	道路整備(関連生活道路等)	1,950m	850m	完了	完了(遅れ)	概ね達成	1,393,842
23	都市計画道路磯辺茂呂町線の整備	用地取得(稲毛区園生町)	取得率 9.6%	6件	取得率 12.2%	取得率 14.7%	達成	310,769
24	都市計画道路仁戸名町古市場町線の整備	道路整備	710m	570m	供用開始	供用開始	達成	301,701
25	都市計画道路大膳野町菅田町線の整備	道路整備	用地取得率 95.0%	用地取得 18件、道路整備 390m	供用開始	供用開始(遅れ)	概ね達成	275,965
26	市道菅田町平山町線の整備	歩道整備	200m	800m	供用開始	用地取得率 86.8%	未達成	73,993
27	都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備	用地取得	取得率 91.0%	1件	取得率 92.4%	取得率 91.2%	未達成	24,102
28	都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備	道路整備	200m	橋梁下部工	橋梁下部工	橋梁下部工	達成	
29	都市計画道路美浜長作町線の整備	市道(花見川区武石町)本線	完了	照明灯設置	供用開始	供用開始	達成	99,088
30	都市計画道路美浜長作町線の整備	〃 関連道路	用地取得率 29.1%	用地取得 11件、道路整備 397m	供用開始	550m	未達成	
31	都市計画道路菅田駅前線の整備	用地取得	取得率 14.2%	5件	取得率 18.8%	取得率 19.4%	達成	195,243
32	菅田駅周辺のまちづくり	菅田駅周辺のまちづくり	一部供用	菅田町215号線歩道整備、菅田駅北口線 用地取得、道路工事	完了	完了	達成	640,999
33	県道幕張八千代線(実叻4号踏切)の整備(県事業負担金)	整備促進	進捗率 83.2%	ボックス工事、電気設備移設工事	完了	擁壁工事	未達成	11,665
34	市道幕張町215号線(花立踏切)の整備	道路整備	—	概略・詳細設計、側溝整備20m	詳細設計、側溝整備20m	詳細設計、側溝整備10m	未達成	168,192

その他事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－2　道路ネットワークの形成

指標NO	140
------	-----

指標名	幹線道路における混雑区間の延長	単位	km
-----	-----------------	----	----

指標の説明	道路交通センサス調査区間（国・県道及び主要市道）のうち、朝夕のピーク時以外も混雑している区間の延長	担当局（区）	建設局
-------	---	--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	－	59.0	55.0	
現状値	67.7	67.7	－	－	

目標設定の考え方	道路ネットワークの形成やボトルネックの解消などの道路整備により、円滑に走行できる道路の増加を図ることとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 「直近値　H23年3月」「現状値確定（H28年3月予定）」 道路交通センサス調査は概ね5年ごとに実施されているため、H26末目標値は設定していない。 今年度調査実施予定。（前回はH22年度に実施）
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き混雑区間の減少を図るべく、国・県道及び主要市道の整備、交差点の改良等により、整備を進めていく。 未達成の事業は、用地交渉の折り合いや国の補助金等の財源不足の理由により、遅れが生じている状況である。今後も事業への理解、協力が得られるよう、交渉を進めるとともに安定的な財源の確保に取り組んでいく。 また、国や千葉県が主体となって行っている事業については、早期に事業効果が発現されるよう、支援を行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	交差点の改良	交差点改良	調査　1か所 整備　3か所	調査　3か所 整備　7か所	調査　3か所 整備　1か所 完了　6か所	調査　2か所 整備　2か所 完了　4か所	未達成	362,550
2	主要地方道千葉大網線（ニューサンピア千葉交差点）の整備	ニューサンピア千葉交差点整備	詳細設計、用地取得	改良（右折レーン・歩道拡幅）	完了	完了	達　成	245,336
3	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道357号湾岸千葉地区改良	地下立体化仮設工事	地下立体化、交差点改良4か所	完了	工事	未達成	3,928,815
4	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道51号北千葉拡幅	一部供用	拡幅工事	拡幅工事	拡幅工事	達　成	
5	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道51号バイパス貝塚	調査	調査	設計	調査	未達成	
6	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道126号加曽利町	用地取得率　76％	用地取得、歩道整備、交差点改良	完了	完了	達　成	
7	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道468号（圏央道）	道路整備	道路整備	市域完了	完了	達　成	275,780
8	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備	用地取得	取得率　94.0％	11件	完了	94.2％	未達成	
9	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備	道路整備	370m	140m	510m	483m	概ね達成	2,666
10	県道幕張八千代線の整備（県事業負担金）	道路整備	調査	調査、設計、用地取得	用地取得	調査、設計、用地取得（着手遅れ）	未達成	
11	都市計画道路塩田町誉田町線の整備	用地取得（緑区誉田町）	取得率　28. 3％	6件	取得率　32. 4％	取得率　38.3％	達　成	923,546
12	都市計画道路村田町線沿道地区の整備	用地取得	取得率　27.5％	19件	取得率　75.0％	取得率　55.0％	未達成	63,947
13	都市計画道路村田町線沿道地区の整備	道路整備	－	250m	250m	40m	未達成	
14	都市計画道路塩田町誉田町線の整備	用地取得（中央区塩田町）	取得率　8.9％	3件	取得率　23.2％	取得率　24. 4％	達　成	343,624
15	都市計画道路磯辺茂呂町線の整備	用地取得（稲毛区園生町）	取得率　9.6％	6件	取得率　12. 2％	取得率　14. 7％	達　成	310,769
16	都市計画道路路南町宮崎町線沿道地区の整備	用地取得	取得率　91.0％	1件	取得率　92.4％	取得率　91.2％	未達成	24,102
17	都市計画道路路南町宮崎町線沿道地区の整備	道路整備	200m	橋梁下部工	橋梁下部工	橋梁下部工	達　成	
18	都市計画道路美浜長作町線の整備	市道（花見川区武石町）本線	完了	照明灯設置	供用開始	供用開始	達　成	99,088
19	都市計画道路誉田駅前線の整備	用地取得	取得率　14.2％	5件	取得率　18. 8％	取得率　19. 4％	達　成	195,243
20	県道幕張八千代線（実叻4号踏切）の整備（県事業負担金）	整備促進	進捗率　83.2％	ボックス工事、電気設備移設工事	完了	擁壁工事	未達成	11,665

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

指標NO

141

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－3　人にやさしい移動環境の創出

指標名	公共の場でのバリアフリー化が進んでいる	単位	%
-----	---------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	36.3	38.2	40.0	✕
現状値	34.5	33.6	—	—	

目標設定の考え方	鉄道等のバリアフリー化などを推進し、人にやさしい移動環境の創出を図ることを目指し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
鉄道駅から主要施設までの経路のバリアフリー化や歩道の整備、駅構内等のバリアフリー化を図り、人にやさしい移動空間を形成するため取組みを実施してきたが、平成26年度末は目標に到達しなかった。 計画事業「鉄道駅バリアフリー化の推進」や「電線共同溝の整備」、「踏切道の安全対策（踏切道の改良）」などの歩行経路については着実に事業を実施し、また道路整備についても若干の遅れがあるものの目標事業量を概ね達成できた。一方で、「歩道の改良」や「歩道の整備」などに遅れが生じ、目標事業量を達成できなかったことにより、目標値に到達しなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
バリアフリー化については、高齢者や障害者など、すべての人の移動円滑化にあたり欠くことの出来ない重要な事業である。 このため、鉄道駅のエレベーター施設の設置や、電線共同溝等の歩行経路については引続き着実に整備を実施していく。また、遅延している事業について、特に用地取得には交渉により時間を要することから、市民に対し事業への理解を得ることが重要である。また、引き続き歩行者等の安全確保を図るため、地権者に事業協力が得られるよう取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	鉄道駅バリアフリー化の推進	京成電鉄の駅（利用客3～5千人/日）のバリアフリー化	—	1駅	1駅	1駅	達成	35,369
2	多機能トイレの整備（モノレール）	モノレール駅多機能トイレ	6駅	3駅	9駅	多機能トイレ設置 8駅	未達成	25,592
3	歩道の改良	歩道の段差解消	14,408か所	764か所	15,172か所	14,771か所	未達成	482,755
4	歩道の改良	視覚障害者誘導用ブロック設置	39.1km	35.99km	75.09km	62.03km	未達成	
5	市道天戸町横戸町線の整備	用地取得	—	9件	取得率 45.4%	取得率 1. 8%	未達成	48,922
6	市道松波新港線の整備	用地取得	取得率 50.7%	3件	取得率 64.4%	取得率 64. 4%（遅れ）	概ね達成	95,381
7	市道松波新港線の整備	道路整備	—	45m	45m	45m（遅れ）	概ね達成	
8	電線共同溝の整備	電線共同溝整備	22.2km	1.1km	23.3km	23.4km	達成	466,077
9	歩道の整備	歩道の整備	392.75km	1.30km	394.05km	393.33km（584m）	未達成	269,650
10	踏切道の安全対策	踏切道の改良	1か所	1か所	1か所	2か所	達成	183,700

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－3　人にやさしい移動環境の創出

指標NO	142
------	-----

指標名	移動に困っている人を見かけたときなど、ちょっとした心づかいができる	単位	%
-----	-----------------------------------	----	---

担当局（区）	保健福祉局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	58.0	59.0	60.0	◎
現状値	57.2	60.2	－	－	

目標設定 の考え方	移動に困っている人に対する周りの人々の見守りや支えあいは、人にやさしい移動環境の創出に不可欠であることから、市民のバリアフリーについての理解を促進することとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】
障害者（児）の自立の促進と市民意識の啓発及び障害者間の障害種別を超えた交流を図るため、毎年度「障害者福祉大会」を開催し、毎回400名近くの参加者がいる。 また、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指し、障害者に対する理解の促進を図るため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を毎年度公募しており、作文とポスターを合わせて毎回100件以上の応募がある。 このように、障害者に対する理解を促進するための取組みを行い、その結果、市民の心のバリアフリーが徐々に浸透していったことが、目標値を達成した要因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市民の障害者に対する理解をさらに促進するため、障害者福祉大会のプログラムを魅力的なものにして一般市民の観覧応募者数を増やすこと、また「心の輪を広げる体験作文」についても、応募者数をさらに増やすことが課題である。 また、新しい取組みとして、障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽の力で「心のバリア」を超えて、障害の理解や共感を得る場となることを願って毎年開催している「ふれあいコンサート」について、平成25年度より、主催者であるNPO法人と本市の共催としており、引き続き本市として市民の「心のバリアフリー」のさらなる促進に努めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者福祉大会の開催	開催	1回	1回／年	1回	1回	達成	2,381
2	心の輪を広げる体験作文等の募集	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集	1回	1回／年	1回	1回	達成	275

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－3　人にやさしい移動環境の創出

指標NO	143
------	-----

指標名	鉄道駅のバリアフリー化率	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	乗降客数3,000人以上の駅のうち、バリアフリー化された鉄軌道駅の割合	担当局（区）	都市局
-------	-------------------------------------	--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	95.0	97.0	100	◎
現状値	92.0	95.0	－	－	

目標設定 の考え方	鉄軌道事業者へのバリアフリー化支援施策により、国のバリアフリー法に基づく基本方針を達成できるよう目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 鉄軌道駅におけるエレベーター、多機能トイレ等のバリアフリー化の取組みを実施し、平成26年度末においては、目標値に到達することができた。 計画事業「鉄道駅バリアフリー化の推進（京成電鉄の駅のバリアフリー化）」については、目標どおり達成し、「多機能トイレの整備（モノレール）」についても、1駅減となったものの、着実に整備が進捗していると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 バリアフリー化については、高齢者や障害者など、すべての人の移動を円滑化するためには欠くことの出来ない事業である。 今後も引き続き、第2次実施計画において、エレベーターの設置や多機能トイレの整備について、バリアフリー法の基本方針に基づき、整備促進に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	鉄道駅バリアフリー化の推進	京成電鉄の駅（利用客3～5千人/日）のバリアフリー化	－	1駅	1駅	1駅	達成	35,369
2	多機能トイレの整備（モノレール）	モノレール駅多機能トイレ	6駅	3駅	9駅	多機能トイレ設置 8駅	未達成	25,592

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	-------------	--------	--------	----	-----



政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－4　ICTを活かした利便性の向上

指標NO	144
------	-----

指標名	ICTの活用が進み、市のサービスは利用しやすい	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	28.0	35.0	50.0	○
現状値	24.4	27.0	－	－	

目標設定 の考え方	ICTを活用した利便性の高い行政サービスの提供を推進することとし目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 公共施設予約システムの導入、戸籍事務の電子化等の取組みを計画どおり進めたことのほか、ちばレポなどICTを活用した市民との協働の取組みも、指標の向上に寄与したものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 ICTを最大限に活用し市民の利便性の更なる向上を図るため、全体最適の視点から個々の業務を抜本的に見直す業務プロセス改革を推進して滞在時間が最少の区役所、来庁せずとも手続きが完了する区役所を目指す窓口改革や、証明書のコンビニ交付などを進めるとともに、社会保障・税番号制度などの仕組みを活用した新たなサービスの提供に向けた取組みを進める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	公共施設予約システムの導入	公共施設予約システムの導入	一部導入	導入施設の決定、運用開始	運用開始	運用開始	達成	13,212
2	戸籍事務の電子化	戸籍事務電子システム	セットアップ	構築、機器導入	運用開始	運用開始	達成	70,734
3	住民情報系システムの再構築	業務共通・介護オンラインシステム	システム刷新計画策定	開発基本計画策定再構築	完了	完了	達成	507,102
4	住民情報系システムの再構築	税務・福祉オンラインシステム	システム刷新計画策定	開発基本計画策定再構築	再構築	完了	達成	
5	住民情報系システムの再構築	国民健康保険・住民記録オンラインシステム	システム刷新計画策定	開発基本計画策定	開発基本計画策定	完了	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3	
指標NO	145

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－4　ICTを活かした利便性の向上

指標名	庁内情報システム最適化によるコスト削減	単位	百万円
-----	---------------------	----	-----

指標の説明	クラウドサービスの活用や庁内システムの統合サーバへの集約によるシステム運用コスト等の削減額（累計）	担当局（区）	総務局
-------	---	--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	57	249	1055	◎
現状値	－	138	－	－	

目標設定 の考え方	「庁内情報システム最適化計画」に基づき計画的に統合を行うシステムの削減効果額を、目標として設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 「庁内情報システム最適化計画」に基づくクラウドサービスの活用や庁内システムの統合サーバへの集約は、概ね計画どおりに進捗した。加えて、統合サーバの調達価格が予定を大幅に下回るものとなったことから、目標値を上回る達成状況となった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、クラウドサービスの活用及び庁内システムの統合サーバへの集約に取り組む。 なお、「庁内情報システム最適化計画」において計画したもの以外のシステムについても集約を積極的に進めたこと等により、CPUやメモリ等の統合サーバのリソースが計画当初の想定量を超えて必要となっていることから、今後リソースの必要量を厳しく精査し、統合サーバの運用費用の抑制を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	情報システムの最適化	システム集約	最適化計画策定	統合サーバ構築、情報システム集約、クラウドサービス活用	統合サーバ構築、情報システム集約、クラウドサービス活用	統合サーバ運用、情報システム集約、クラウドサービス活用	達成	72,733

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	4－3　ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる
施策	4－3－4　ICTを活かした利便性の向上

指標NO	146
------	-----

指標名	電子申請サービスの利用率	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	ちば電子申請システムを利用して電子申請可能な手続きに係る総受付件数に対する電子申請利用件数の割合（年間）	担当局（区）	総務局
-------	--	--------	-----

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	22.0	25.0	29.0	✕
現状値	20.0	19.3	－	－	

目標設定の考え方	民間サービスにおける電子サービスの拡大に伴い、自治体の電子申請サービスへのニーズも高まる見通しであるため、市民の利便性の向上のため、電子申請手続き利用の拡大を図ることとし目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 電子申請可能な手続の拡大に努めたため、従来からの手続については、目標を上回る利用率だったが、新たに電子申請が可能となった手続については、利用者への周知不足もあり電子申請は少なく全体として、利用率は低下した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、電子申請可能な手続数の拡大に努めるとともに、電子申請可能な手続の所管課に対し、市政だより等の媒体を用いて電子申請システムの利用を市民に周知するよう勧奨することで、利用率の向上を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	電子申請サービスの拡大	電子申請サービスの拡大	17,121件	手続きの拡大	33,500件	36,818件	達成	7,123

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－1 都心などの魅力向上

指標NO	147
------	-----

指標名	市内で食事や買物、レジャーを十分に楽しむことができる	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局（区）	都市局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	58.7	59.4	60.0	○
現状値	55.4	58.5	—	—	

目標設定 の考え方	JR千葉駅周辺の大規模再開発を中心に、買い物やレジャーなどにぎわいのある空間創出を目指し、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
現在、JR千葉駅の駅舎・駅ビル建替え工事が行われていることから、千葉駅直結のペリエなどは一部店舗しか利用できず、利便性・快適性は低下したものの、駅至近に既存の大型商業施設が立地していることや、計画事業「千葉駅西口地区第二種市街地再開発」の取組みとして、昨年度、千葉駅西口に完成した再開発ビル（WESTRIO）などの効果により、千葉駅周辺における食事・買い物などの利便性等についての印象は、それほど低下しなかったと考えられる。 一方、幕張新都心では、大型の民間商業施設が完成したことや、東日本大震災以後、その他事業「花火大会開催」の会場として幕張海浜公園が活用され、打ち上げ前から会場周辺で多彩なイベントを実施してきたことなどにより、「にぎわいのあるまち」としての印象が浸透しつつあると考えられる。 また、海辺の活性化策の1つとして、「千葉中央港地区まちづくりの推進（旅客船の運航）」により、工場夜景クルーズや高速ジェット船クルーズ、前述の花火大会とのコラボ企画としてのディナークルーズなど、海上交通の運行実験を継続的に実施するなどした結果、市内で実施しているマリンレジャーの認知度も向上したと思われる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
JR千葉駅の駅舎・駅ビル建替え工事は平成30年夏以降に完成し、より充実したエキナカ、駅ビルが利用可能となるほか、千葉駅西口では第2次実施計画事業「千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）」として、次なる再開発ビルの建築が予定されており、また、来街者に配慮した案内板の設置や、連絡通路・ペデストリアンデッキなどの整備により、千葉駅周辺の利便性・回遊性の向上が見込まれる。 さらに、幕張新都心や千葉中央港地区などにおいて、にぎわいのある空間創出のための各種取組みを継続的に実施し、それらを効果的に発信することで、千葉市のイメージ向上に取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達成	1,937,448
2	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事	未達成	80,224
3	JR千葉駅建替えの促進	JRや地元関係者との意見交換会	—	2回／年	2回	3回	達成	
4	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達成	0
5	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間	7日間	達成	703,949
6	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	—	3基	3基	3基	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	—	30万人／年	30万人	30万人	達成	48,000
3	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
4	動物公園管理運営	管理運営(入園者数)	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463
5	千葉市民産業まつり開催	千葉湊大漁まつり(来場者数)	—	5万人/年	5万人	6万人	達成	3,000

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－2 都市の国際性の向上

指標NO	148
------	-----

指標名	市の国際的なイメージが向上している	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局（区）	総務局
--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	25.0	30.0	35.0	△
現状値	19.3	21.2	－	－	

目標設定の考え方	幕張メッセなど都市資源を生かした地域活性化や国際経済交流、姉妹・友好都市交流などを通じ、本市の認知度やイメージ向上をめざすこととし目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
指標は微増したものの、目標値には届かなかった。 市民が「国際的なイメージの向上」を感じる場面は、在住外国人や外国人観光客の増加や、外資系企業の進出、国際的イベントの開催、またメディアへの露出など、多様であり、複合的な要因が作用していると考えられる。 国際経済交流の推進としては、当初予定していた企業商談会は、企業側の要望がなく実現できなかったが、姉妹都市・モントルー市（スイス連邦）の物産展に市内企業と参加し、B（企業） to C（消費者）型のイベントで、地元住民に直接千葉市のPRを行った。海外進出企業向けセミナーは、相手国大使館側との調整で、26年度実施の予定が、ずれ込み27年度6月に実施した。
【課題及び今後の取組みの方向性】
市民に、「国際的なイメージの向上」を実感してもらうためには、まず、本市が様々な視点から取り組んでいることについて知ってもらうことが重要である。そのため、市政だよりやインターネット、各種メディアの活用など周知に努めながら、引き続き、関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を目指す。 一方、対外的にも千葉市をPRしていくことが重要であり、これまで築いてきたネットワークを活用した情報発信（ニューズレター）や海外から入手した情報の提供についても検討し、市民が国際化を実感できる取組みを推進したい。 国際経済交流については、日本貿易振興機構（ジェトロ）や国等関係機関との情報交換・連携をさらに強化するだけでなく、より多くの個別企業とのコミュニケーションを深め、市内企業の需要掘り起しを強化していく必要がある。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	－	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	姉妹友好都市との交流促進	姉妹・友好都市交流	2市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市、ケソン市、モントルー市、アスンシオン市	達成	0
3	姉妹友好都市との交流促進	青少年交流	3市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市ノースバンクーバー市モントルー市	達成	0
4	国際会議開催への助成	助成	－	3件	3件	3件	達成	1,961
5	国際経済交流の推進	企業商談会	－	1回／年	1回／年	0回／年	未達成	795
6	国際経済交流の推進	海外進出企業向けセミナー	－	2回／年	2回／年	0回	未達成	
7	国際経済交流の推進	インキュベート施設への入居支援	－	1社	1社	1社	達成	
8	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同企業説明会	－	1回／年	1回／年	1回／年	達成	2,993

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	達成	840
4	外国人市民懇談会	外国人市民の参加者数	37人	120人	40人	20人	未達成	36
5	外国人市民向け情報誌製作	外国語版生活ガイドブックの製作	640部	600部	100部	350部	達成	0

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－2 都市の国際性の向上

指標NO	149
------	-----

指標名	国際会議開催件数	単位	件/年
-----	----------	----	-----

指標の説明	市内で開催されたJNTO基準(主催者が国際機関・国際団体又は国家機関・国内団体で、参加者総数50名以上、参加国が日本を含め3カ国以上、会期1日以上)の会議による国際会議の件数	担当局(区)	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	50	60	70	△
現状値	22	31	－	－	

目標設定の考え方	会議主催者への財政的支援や本市の立地の利便性のPR等を通じ、早期に東日本大震災前の水準を回復し、平成33年度末には過去最高の実績を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】
【直近値(H25末値)、現状値確定(H28年2月予定)】 H27中間評価については目標値を下回ってしまった。原因としては、近年、国際会議の誘致競争は厳しさを増しており、会議開催助成制度や支援制度の充実だけでなく、都市の魅力を効果的にブランディング出来ている都市が誘致活動上有利であったと考えられる。今後は、本市の魅力や幕張メッセでの国際会議開催のメリットなどの更なる情報発信が必要になってきている。
【課題及び今後の取組みの方向性】 本市の魅力や幕張メッセでの国際会議開催のメリットなどの情報発信については、グローバルMICE強化都市への国からの支援を活用し、ターゲットマーケットの絞り込み、海外の展示会への積極的な参加や、海外情報誌への掲載などに取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	国際会議開催への助成	助成	－	3件	3件	3件	達成	1,961

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－2 都市の国際性の向上

指標NO	150
------	-----

指標名	外国人留学生数	単位	人
-----	---------	----	---

指標の説明	市内大学に在籍する本市在住の留学生数	担当局（区）	総務局
-------	--------------------	--------	-----

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	1,120	1,270	1470	✕
現状値	990	894	－	－	

目標設定の考え方	市内大学の留学生の推移や将来の留学生への就職活動支援などを勘案し、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
国内における平成23年度の大学・短大等における留学生数は71, 244人、平成26年度は67, 782人となっており、約5%の減となっている。（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）ホームページより） 指標の留学生数は、約1割の減となっており、減少率は国内と比してさらに高い。 市内大学に在籍している留学生数の傾向を見ると、この3年間で、中国からの留学生数が約3割、韓国・北朝鮮からの留学生数が約2割減少している。もともと、本市在学の留学生数に占める割合が多かった2か国からの留学生が減ったことが、大きく影響したと考えられる。 また、東日本大震災や領有権をめぐる報道等もその一因と推察される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
本市在住の留学生を増やすためには、外国人住民をめぐる環境が総合的に向上する必要があるため、引き続き、外国人留学生交流事業や生活相談事業などを着実に推進するとともに、市内の大学や関係機関と連携し、千葉市の魅力や、外国人にとって住みやすいまちであることについて積極的なPRを図る。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	外国人市民の生活支援の推進	生活支援	－	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	・外国人市民向け日本語指導内容の拡充 ・外国人市民の自治会加入促進	外国人市民の自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	達成	0
2	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同企業説明会	－	1回／年	1回／年	1回／年	達成	2,993

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市国際交流協会運営補助金	日本語学習支援	10,784人	42,500人	15,000人	11,235人	未達成	217,500
2	千葉市国際交流協会運営補助金	外国人相談	1,555件	5,450件	2,000件	1,393件	未達成	0
3	外国人留学生学習奨励助成補助金	留学生への学習奨励金の支給	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	1件（4人）	達成	840

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－3 観光の振興と魅力の創出・発信

指標NO	151
------	-----

指標名	市内には家族や友人と行きたい施設やイベントがある	単位	%
-----	--------------------------	----	---

担当局（区）	経済農政局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	39.0	42.0	45.0	✕
現状値	36.7	36.4	—	—	

目標設定の考え方	本市の魅力を引き続き積極的に発信するとともに、市内各施設の活性化を推進し、値の向上を図る。
----------	---

【達成状況の分析】
計画事業及び、その他事業については、17事業中13事業が達成となっており、概ね目標を達成しているが、成果指標については今回H23末の現状値から若干下回ってしまった。要因としては、H23年度と比較して、新たに目玉となる施設が増えたわけではなく、また千葉市中心市街地街づくり協議会が支援するイベント数の減少や、遊園地の廃止により市動物公園の入場者数減少などが影響したと想定される。
【課題及び今後の取組みの方向性】
「中心市街地活性化の推進」としてアート活動やイベントについて、支援の主体である「千葉市中心市街地まちづくり協議会」の方針に基づいて本市は支援していく。また、千葉ポートタワーの集客については、新たにできる棧橋やその周辺にできる集客施設と連携し、入館料に寄与するイベントを開催することで、来場者数の増加を図る。千葉市動物公園については、リスタート構想に基づき、ライオンを中心としたアフリカ平原ゾーンや、乗馬広場の整備を進めることにより、来園者数の増加を図り、指標の向上に努める。

指標を構成する事業

（千円）								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間（23年度事業量）	6日間／年	6日間／年	7日間／年	達成	703,949
2	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	—	5基	5基	5基	達成	
3	サイクルツーリズムの推進	市内コースマップ	—	作成	作成	作成	達成	
4	サイクルツーリズムの推進	PR活動	—	協力店の選定・PR	協力店の選定・PR	作成 協力店の選定・PR	達成	810
5	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173件／年	27件／年増	200件／年	364事業／年	達成	0
6	中心市街地活性化の推進	アート活動・イベントの開催日数	31日／年	9日／年増	40日／年	開催日数 34日／年	未達成	0
7	幕張新都心魅力向上基礎調査	基礎調査	調査	モデル事業	完了	完了	達成	4,988
8	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達成	0
9	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事	未達成	80,224

（千円）								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ（来場者数）	—	30万人／年	30万人	30万人	達成	48,000
3	千葉ポートタワー管理運営	管理運営（入場者数）	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
4	千葉市観光ガイド作成	千葉市観光ガイド	作成	内容見直し、作成	作成	・多言語標記（4言語） ・24,000部／年発行	達成	1,479
5	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
6	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	—	制作、活用	活用	活用	達成	2,999
7	中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化事業補助、中央公園仮設ステージ及び関連設備設置委託、千葉都心イルミネーション負担金	実施	実施	実施	実施	達成	37,039
8	動物公園管理運営	管理運営（入園者数）	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－1 都市の魅力を高める
施策	5－1－3 観光の振興と魅力の創出・発信

指標NO	152
------	-----

指標名	入込観光客数	単位	千人
-----	--------	----	----

指標の説明	市内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数	担当局（区）	経済農政局
-------	-------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	25,000	26,000	27,000	△
現状値	19,754	22,537	－	－	

目標設定の考え方	本市の魅力の発信や観光施策の取組みを推進することとし、目標値を設定した。
----------	--------------------------------------

【達成状況の分析】 前年から944千人減少し、H27中間目標値には届かなかった。主な要因としては、幕張メッセでのイベント開催数が減ったことによる645千人減と、その影響を受けた三井アウトレットパーク幕張の237千人減が影響している。また昨年度は、天候不良により、美浜区民フェスティバル、若葉区民まつり、千葉国際クロスカントリー大会等のイベント中止も起因している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 観光都市としての本市の魅力向上を図るため、資源の育成、旅行商品化、メディアを活用した情報発信により、集客を促す。また、夏の幕張ビーチ花火フェスタや秋の大漁まつりなどのにぎわいづくりを行い、観光客の増加を目指す。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により訪日観光客の増加が見込まれる中、官民一体となったおもてなし体制を整えることにより外国人観光客の取り込みを図る。加えて、継続的に幕張メッセにて国際会議の誘致を行なっていくだけでなく、公益財団法人日本サッカー協会の施設開設など、幕張エリアの注目度を向上させ、指標の向上に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉中央港地区まちづくりの推進	旅客船の運航	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年	7日間/年	達成	703,949
2	千葉中央港地区まちづくりの推進	案内板の整備	－	5基	5基	5基	達成	
3	サイクルツーリズムの推進	市内コースマップ	－	作成	作成	作成	達成	810
4	サイクルツーリズムの推進	PR活動	－	協力店の選定・PR	協力店の選定・PR	作成 協力店の選定・PR	達成	810

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312
2	花火大会開催	幕張ビーチ花火フェスタ(来場者数)	－	30万人／年	30万人	30万人	達成	48,000
3	千葉ポートタワー管理運営	管理運営(入場者数)	114,000人	84,000人増	198,000人	129,492人	未達成	210,000
4	千葉市観光ガイド作成	千葉市観光ガイド	作成	内容見直し、作成	作成	・多言語標記(4言語) ・24,000部／年発行	達成	1,479
5	観光情報センター運営	運営	2か所	2か所	2か所	2か所	達成	57,964
6	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	－	制作、活用	活用	活用	達成	2,999
7	中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化事業補助、中央公園仮設ステージ及び関連設備設置委託、千葉都心イルミネーション負担金	実施	実施	実施	実施	達成	37,039
8	動物公園管理運営	管理運営(入園者数)	613,400人	平成23年度実績を3年間で2割増する	736,000人	575,215人	未達成	3,143,463

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標NO	153
------	-----

指標名	市内総生産額	単位	億円
-----	--------	----	----

指標の説明	市内総生産のうち、第2次産業と第3次産業の合計額	担当局（区）	経済農政局
-------	--------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	32,000	32,500	35,000	△
現状値	29,540	29,905	－	－	

目標設定の考え方	企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ千葉市の実現に向け、様々な主体間のコーディネートや各種支援策の実施により、市内総生産額（名目）増加を目指す。
----------	---

【達成状況の分析】 「出典：平成24年度千葉市の市民経済計算」 指標を構成する個別事業の進捗は目標をほぼ達成しており、地盤改良の遅れにより唯一未達成となっている国道357号湾岸千葉地区改良についても27年度中完了見込みである。 このような状況において指標自体の目標値達成に至っていない理由としては、リーマンショックによる景気悪化からの回復途上での東日本大震災による経済活動の停滞、復興需要による景気の持ち直し、欧州政府債務危機を背景とする世界経済の減速に伴う景気の落ち込みという、この間における我が国全体の経済状況の影響が大きかったものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 新基本計画に対応した個別部門計画として平成24年度に策定した「地域経済活性化戦略」において本市の産業政策の方向性を示していたが、策定時からの経済社会環境の大幅な変化により、実状と合わなくなっている面が生じていた。改めて本市の産業を取り巻く現状と取るべき対応（課題）を分析し、本市の経済成長を目指す上で重点的に取り組んでいく施策と、各施策の事業展開の方向性について、より具体的に示すことにより、各年度の事業遂行に際して本市経済部門の持つ資源をその方向性に向けて集中し、事業を効果的に実施していくことを目的とする「経済成長アクションプラン」（計画年度平成27～29年度）を平成26年度に策定した。これに基づき、新事業・新産業の創出、経営革新と産業人材の育成、地域商業・サービス産業の振興を図る各種取組みを引き続き推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社（大規模） ・所有型本社（中規模） ・賃借型	2社（23年度事業量） — — 1社（23年度事業量）	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770
2	起業支援の強化	インキュベート施設	－	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761
3	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達成	0
4	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達成	1,937,448
5	千葉駅西口地区第二種市街地再開発（都市計画道路千葉港黒砂台線の整備）	都市計画道路千葉港黒砂台	車道整備	歩車道整備	供用	供用	達成	
6	国道の整備（国道直轄事業負担金）	国道357号湾岸千葉地区改良	地下立体化仮設工事	地下立体化、交差点改良4か所	完了	工事	未達成	3,928,815

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	中小企業資金融資事業	中小企業資金融資	実施	実施	実施	実施	達成	119,627,495
2	創業支援事業	管理・運営 （卒業企業数）	12社	30社	10社	9社（うち、卒業後に千葉市内に移転した事業者9社）	達成	58,691
3	千葉市大学連携型起業家育成施設入居者補助金	補助金交付	8社	30社	入居者のうち、施設退去後、市内での事業活動を継続した割合 100%	入居者のうち、施設退去後、市内での事業活動を継続した割合 100%	達成	74,809
4	相談事業	指導・助言件数	2,014件	7,200件	2,400件	1,863件	概ね達成	72,755



施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標名	事業所数	単位	事業所
-----	------	----	-----

指標の説明	市内事業所の総数	担当局（区）	経済農政局
-------	----------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	31,250	31,700	32,300	◎
現状値	30,806	32,575	－	－	

目標設定の考え方	新事業の創出、ベンチャー企業の育成、企業誘致の促進、コミュニティビジネスの普及に資する取組み、経営支援等を推進することで、東京湾沿いの政令指定都市の中で、人口1万人あたりの事業所数トップを目指す。
----------	--

【達成状況の分析】 「出展：平成26年度経済センサス基礎調査」 指標を構成する個別事業の進捗は目標を達成するとともに、企業立地の促進やコミュニティビジネスの支援などの各種取組により、指標自体の目標値を上回る現状となっている。
【課題及び今後の取組みの方向性】 人口1万人あたりの事業所数は340社であり、川崎市の318社を上回っているものの、横浜市の355社には至っていない。 本市の経済成長を目指す上で重点的に取り組んでいく施策と、各施策の事業展開の方向性について、より具体的に示すことにより、各年度の事業遂行に際して本市経済部門の持つ資源をその方向性に向けて集中し、事業を効果的に実施していくことを目的とする「経済成長アクションプラン」（計画年度平成27～29年度）を平成26年度に策定した。これに基づき、引き続き新事業の創出、ベンチャー企業の育成、企業立地の促進、事業者の経営支援等を推進していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社（大規模） ・所有型本社（中規模） ・賃借型	2社（23年度事業量） － 1社（23年度事業量）	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770
2	起業支援の強化	インキュベート施設	－	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761
3	コミュニティビジネスの支援	セミナー・講座の開催支援	－	実施	実施	実施	達成	0
4	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達成	1,937,448

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	中小企業資金融資事業	中小企業資金融資	実施	実施	実施	実施	達成	119,627,495
2	創業支援事業	管理・運営（卒業企業数）	12社	30社	10社	9社（うち、卒業後に千葉市内に移転した事業者9社）	達成	58,691
3	千葉市大学連携型起業家育成施設入居者補助金	補助金交付	8社	30社	入居者のうち、施設退去後、市内での事業活動を継続した割合 100%	入居者のうち、施設退去後、市内での事業活動を継続した割合 100%	達成	74,809



施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標NO	155
------	-----

指標名	姉妹・友好都市との企業の相互進出件数	単位	件
-----	--------------------	----	---

指標の説明	姉妹・友好都市と千葉市との間で、相互に進出した企業の件数	担当局（区）	経済農政局
-------	------------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	10	20	30	△
現状値	0	2	－	－	

目標設定 の考え方	姉妹・友好都市等の企業に対し本市の優位性や情報提供を積極的に行い、海外進出に意欲を有する市内企業等に対しても総合的な支援を展開する。
--------------	--

【達成状況の分析】 企業商談会は、企業側の要望がなく実現できなかったが、姉妹・友好都市の物産展に市内企業と参加し、B to C 型（企業と消費者との取引）のイベントで、地元住民に直接千葉市のPRを行った。これにより参加企業と姉妹・友好都市近郊の企業との取引も生まれている。 また、海外進出企業向けセミナーは、姉妹・友好都市ではないが、ニーズに対応して、平成27年6月にインドを対象国に開催した。 しかしながら、企業の海外進出に関する方針は、目まぐるしく動く国際的な経済状況、政治状況の影響を常に受けており、進出先を姉妹・友好都市に限定して誘導することは困難な状況もある。このような状況の中、進出企業の件数増加のためには、個別企業のニーズに対応した柔軟な支援により、企業との協力関係の構築を継続して行くと同時に、長期的な視点で、千葉市と姉妹・友好都市がともに“選ばれる都市”を目指して、魅力の創造と発信に取り組むことが必要と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 姉妹・友好都市側、及びジェトロや国等関係機関との情報交換・連携を活発にし、企業へのPRを強化すると同時に、市内企業とのコミュニケーションを深め、有望案件の開拓に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	国際経済交流の推進	企業商談会	－	1回/年	1回/年	0回/年	未達成	795
2	国際経済交流の推進	海外進出企業向けセミナー	－	2回/年	2回/年	0回	未達成	
3	国際経済交流の推進	インキュベート施設への入居支援	－	1社	1社	1社	達成	
4	姉妹友好都市との交流促進	姉妹・友好都市交流	2市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市 ケソン市	ヒューストン市、ケソン市、モントルー市、アスンシオン市	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	－	制作、活用	活用	活用	達成	2,999

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標NO	157
------	-----

指標名	新規立地企業の納税額(カッコ内は、市補助額を含めた企業立地の効果額[税収額と市補助額の差引額])	単位	百万円
-----	--	----	-----

指標の説明	補助金制度を利用し、市内に進出及び工場立地、設備投資を実施した企業による納税額(単年度) ※市補助額を含めた企業立地の効果額(税収額と市補助額の差引額)を、目標値中カッコ書きで表記。	担当局(区)	経済農政局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	59 (▲33)	173 (62)	H30に 目標値設定	◎
現状値	－	173 (105)	－	－	

目標設定 の考え方	補助制度を活用した企業誘致・立地促進活動を積極的に行うこととし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 企業立地促進に係る補助制度では、企業の立地後、数年間にわたって補助金を支給するため、税収額から補助金額を差し引いた税収効果が現れるのには時間差が生じることとなる。平成24年度以降、企業立地件数は堅調に推移していることから、税収効果が現れてきているところである。
【課題及び今後の取組みの方向性】 企業誘致・立地促進活動を通じて、今後も引き続き企業のニーズを把握し、社会経済情勢の変化に応じて柔軟に補助制度を改善、拡充するとともに、企業立地件数の増加と、既存立地企業の定着化による、税源の涵養と税収増に努めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社(大規模) ・所有型本社(中規模) ・賃借型	2社(23年度事業量) — 1社(23年度事業量)	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	－	制作、活用	活用	活用	達成	2,999

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標NO	156
------	-----

指標名	新規企業立地件数	単位	件
-----	----------	----	---

指標の説明	補助金制度を利用し、市内に進出及び工場立地、設備投資を実施した件数	担当局（区）	経済農政局
-------	-----------------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	17	32	H30に 目標値設定	◎
現状値	－	81	－	－	

目標設定 の考え方	補助制度を活用した企業誘致・立地促進活動を積極的に行うこととし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 平成24年4月1日に補助制度を大幅に改正して以降、市では4回にわたって制度の拡充を図ってきた。これは、企業誘致・立地促進活動を通じて把握したニーズや社会経済情勢等を考慮し、柔軟かつ迅速な対応を重ねてきているものであり、立地件数の堅調な推移は、当該取組が着実に成果を挙げてきているものと認識している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 雇用の創出、税源の涵養及び都市間競争の観点から、今後も引き続き企業のニーズや社会経済情勢の変化に応じて、柔軟に制度を改善、拡充し、企業立地件数の増加と、既存立地企業の定着化を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社（大規模） ・所有型本社（中規模） ・賃借型	2社（23年度事業量） － － 1社（23年度事業量）	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	－	制作、活用	活用	活用	達成	2,999

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－1 産業の振興

指標NO	158
------	-----

指標名	新規立地企業の市民雇用人数	単位	人
-----	---------------	----	---

指標の説明	企業立地補助金交付企業の市民雇用を行った人数(累計)	担当局(区)	経済農政局
-------	----------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	158	407	H30に 目標値設定	◎
現状値	－	1,087	－	－	

目標設定 の考え方	過去の立地企業における市民雇用者実績をもとに新規企業立地件数(計画)に基づいて目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
企業立地実績の堅調な伸びに伴い、市民雇用者数も増加している。 尚、本指標の値は、企業立地補助交付企業に対し、年2回(6月末、12月末)に調査した値であり、H27中間値は平成26年12月末の値とする。
【課題及び今後の取組みの方向性】
企業誘致・立地促進活動を通じて、今後も引き続き企業のニーズを把握し、社会経済情勢の変化に応じて柔軟に補助制度を改善、拡充するとともに、企業立地件数の増加と、既存立地企業の定着化による、雇用の創出に努めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社(大規模) ・所有型本社(中規模) ・賃借型	2社(23年度事業量) — — 1社(23年度事業量)	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千葉市海外広報用ビデオ	ビデオの制作及び活用	－	制作、活用	活用	活用	達成	2,999

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－2 新事業の創出

指標NO	159
------	-----

指標名	市インキュベート施設卒業企業存続数	単位	社
-----	-------------------	----	---

指標の説明	千葉市ビジネス支援センターのインキュベート施設(本館、富士見分館及び中央分館)卒業企業の存続数	担当局(区)	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	69	195	463	○
現状値	48	68	－	－	

目標設定 の考え方	インキュベーションマネージャーによる相談体制の強化、卒業後のフォローアップの充実を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 平成25年度卒業者数11社、平成26年度卒業者数7社と、若干伸び率は低下してきているが、概ね順調に卒業企業は市内に存続している。 伸び率の低下の原因としては、平成26年度の消費税の増税の影響やアベノミクスによる経済効果の影響が、中小・小規模事業者まで浸透するにはもう少し時間がかかるためと考えられるが、国全体としては緩やかではあるが回復傾向にあり、徐々に地方へ浸透してくるものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も引き続きインキュベーション施設の卒業者数を伸ばしていくとともに、インキュベーション施設を卒業した企業に対しては、年1回、事業活動の把握を行うとともに、適宜、各種支援メニューの紹介を行い、必要に応じて今年度から発足したニーズ対応型支援を活用し、各企業のニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業として確実に定着し、成長していけるよう必要な支援を行う。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	起業支援の強化	インキュベート施設	－	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	創業支援事業	管理・運営 (卒業企業数)	12社	30社	10社	9社(うち、卒業後に千葉市内に移転した事業者9社)	達成	58,691
2	中小企業資金融資事業	中小企業資金融資	実施	実施	実施	実施	達成	119,627,495



施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－2 新事業の創出

指標NO	160
------	-----

指標名	市インキュベート施設卒業企業法人市民税納税額	単位	千円
-----	------------------------	----	----

指標の説明	千葉市ビジネス支援センターのインキュベート施設（本館、富士見分館及び中央分館）卒業企業の卒業後の法人市民税納税額（単年度）	担当局（区）	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	6,700	30,400	94,700	△
現状値	646	3,385	－	－	

目標設定の考え方	インキュベーションマネージャーによる相談体制の強化、卒業後のフォローアップの充実を図ることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 平成24年度の卒業企業存続数は57社で、市民税納税額は2,046千円であった。 平成26年度末の卒業企業存続数は目標69社に対し、実績68社であり、目標を概ね達成できたものの、1社当たりの平均納税額が伸び悩んだ。 法人市民税納税額は、景況等に左右されることもあり、特に経営基盤の弱いベンチャー企業は景気の影響を受けやすく、消費税増税の影響やアベノミクスによる経済効果の波及に時間がかかっていることも要因と考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 インキュベーション施設を卒業した企業に対しては、年1回、事業活動の把握を行うとともに、適宜、各種支援メニューの紹介を行い、必要に応じて今年度から発足したニーズ対応型支援を活用し、各企業のニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業として確実に定着し、成長していけるよう必要な支援を行う。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	起業支援の強化	インキュベート施設	－	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	創業支援事業	管理・運営 （卒業企業数）	12社	30社	10社	9社（うち、卒業後に千葉市内に移転した事業者9社）	達成	58,691
2	中小企業資金融資事業	中小企業資金融資	実施	実施	実施	実施	達成	119,627,495

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－2 新事業の創出

指標NO	161
------	-----

指標名	市インキュベート施設卒業企業の雇用増加数	単位	人
-----	----------------------	----	---

指標の説明	千葉市ビジネス支援センターのインキュベート施設（本館、富士見分館及び中央分館）卒業企業の従業員の増加数	担当局（区）	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	115	444	1,295	△
現状値	－	51	－	－	

目標設定 の考え方	インキュベーションマネージャーによる相談体制の強化、卒業後のフォローアップの充実を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 消費増税の影響やアベノミクスによる経済効果の波及に時間がかかっていることなどから、特に経営基盤の弱いベンチャー企業は、景気の先行きと自社の収益見通しが楽観できない状況下での従業員の新規雇用には慎重にならざるを得ないものと考えられる。 また一方では、有効求人倍率は昨年度より上昇しているものの、求職者の多くは大企業へ流れる傾向にあるため、中小企業にとっては、優秀な人材の確保が難しくなっており、景気回復に伴い、中小・小規模事業者にとって人材不足は顕著に表れている。
【参考】 調査対象企業数について：施設卒業企業数68社中、回答があった企業数は35社と約半数にとどまった。本来すべての企業が回答した場合の目標値のため、調査値（現状値）との乖離がみられる。仮に調査企業数を基準として目標値に置き換えた場合、目標数は59人となり達成率は約86%となる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 インキュベーション施設を卒業した企業に対しては、年1回、事業活動の把握を行うとともに、適宜、各種支援メニューの紹介を行い、必要に応じて今年度から発足したニーズ対応型支援を活用し、各企業のニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業として確実に定着し、成長していけるよう必要な支援を行う。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	起業支援の強化	インキュベート施設	－	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	創業支援事業	管理・運営 （卒業企業数）	12社	30社	10社	9社（うち、卒業後に千葉市内に移転した事業者9社）	達成	58,691
2	中小企業資金融資事業	中小企業資金融資	実施	実施	実施	実施	達成	119,627,495

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－3 商業・サービス産業の振興

指標NO	162
------	-----

指標名	日常の買物で近所の商店を利用している	単位	%
-----	--------------------	----	---

担当局（区）	経済農政局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	64	67	70	✕
現状値	60.9	48.8	－	－	

目標設定の考え方	地域に根差した商業活動の活性化をはかり、商店の利用率の向上を図る。
----------	-----------------------------------

【達成状況の分析】
商業活動の活性化および、商店の利用率の向上を図るため、商店街を中心とした地域に根差した商店に対し、施設整備やソフト面での活性化に向けた支援を実施してきた。しかし平成24年度サマーレビュー評価の結果により、「商業活動活性化の推進事業」の一環である「地域連携・一店逸品創出事業補助金」は廃止となり、ソフト事業支援は各区役所地域振興課で実施する「地域活性化支援事業」として統一、整理がなされている。ハード面については「商店街環境の整備事業」において街路灯、防犯カメラの設置等、引き続き支援を継続している。 指標の数値が減少した要因としては、社会構造の変化や、郊外に立地する大型店により、地域の商店街の相対的な地位が低下し、地域住民が暮らしていくために必要な機能を次第に失いつつあること、及び、インターネット通販の普及などにより、身近な場所である近所の商店からから買物をする機会が減りつつあることが挙げられる。このような社会環境の変化は、「日常の買い物での近所の商店の利用率」向上のマイナス要因となっていると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
少子高齢化による人口減少や人口構造の変化、乗用車普及率の向上に伴う車社会の進展等によるマーケットの変容など、社会構造の変化により、近所の商店街を取り巻く環境は年々厳しいものとなっている。 一方、自動車を運転できない高齢者の増加、並びに公共交通の整理・縮小等の影響により、買物が困難な状況に置かれている人々、いわゆる買い物弱者・買い物難民が今後増加していくことも想定され、その需要を取りこむことで、指標の向上につなげられる可能性がある。 地域の商業活動の活性化、商店の利用率の向上を図るため、今後も商店街を中心とした地域に根差した商店に対し、個別課題やニーズに対応した経営支援、魅力ある商店街のための施設整備などの支援を実施していく。

指標を構成する事業

計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	商業活動活性化の推進	助成	31件／年	6件／年増	37件／年	中止	中 止	0
2	商店街環境の整備	街路灯の更新	40基(23年度事業量)	110基	110基	49基	未達成	39,057

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－3 商業・サービス産業の振興

指標NO	163
------	-----

指標名	年間商品販売額	単位	億円
-----	---------	----	----

指標の説明	小売・卸売を合計した年間商品販売額	担当局（区）	経済農政局
-------	-------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	－	現状維持 (37,000～38,000)	現状維持 (37,000～38,000)	現状維持 (37,000～38,000)	✕
現状値	37,210	28,894	－	－	

目標設定の考え方	幕張新都心におけるイオンモールやJR千葉駅の建替え等による一時的な増加はあるものの、人口減少、デフレ等による需要及び販売額の抑制傾向が見込まれることから、同額規模の水準を目標とする。
----------	---

【達成状況の分析】 H23末で設定されている指標、年間商品販売額は平成19年実施の商業統計調査を基にしたものであり、現状値の年間商品販売額は平成26年実施の商業統計調査結果のデータ(確定値)である。 その間の経済のグローバル化やこれに伴う産業構造の転換、消費者ニーズの多様化などを背景に、地域の経済状況も不透明感を増しており、平成26年度の調査結果を見ると、年間商品販売額は、国全体でも前回比89%、千葉県全体では前回比87%と全国的に減少傾向である。これは、東日本大震災による消費の冷え込みの長期化や、デフレによる販売額の抑制が要因と考えられる。 千葉市内においても目標値の78%にとどまっている一方、東京23区は前回比97%と落ち込みが少ないため、都心への買い物客の流出や、インターネットやカタログ通販などの普及も市内の販売額の減少の一因と考えられる。 今回の統計は平成25年1月から12月までの年間の数値のため、幕張新都心におけるイオンモールの進出や千葉駅西口の再開発に伴う駅内外商業施設の開業などの増加要因の影響は含まれていない。
【課題及び今後の取組みの方向性】 すでに幕張新都心にイオンモールが進出していること、今後、千葉駅の建替えに伴う駅内外商業施設の開業などが予定されており、ある程度の市内地域経済活性化が見込まれる一方、平成29年4月に消費税増税が決定しているため、商業活動動向への影響が懸案事項となっている。 引き続き、市民生活と密接な関係にある地域経済の活性化を図るため、商店街の共同施設の設置等など、安全・安心な商業環境の整備や、商業活動の活性化を推進するとともに、市民主体の地域経済活動の振興を図るため、コミュニティビジネスなどの取組みを支援する。 さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、訪日外国人客の消費を取り込むため、店舗の多言語化や免税店化の支援、ネットショップ化支援など、中小・小規模事業者ニーズ対応型支援事業などを活用し、ニーズを的確に把握し柔軟で質の高い支援を実施していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	商業活動活性化の推進	助成	31件／年	6件／年増	37件／年	中止	中 止	0
2	商店街環境の整備	街路灯の更新	40基(23年度事業量)	110基	110基	49基	未達成	39,057
3	幕張新都心拡大地区の整備促進	民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備 民間商業施設の建設・開業	民間商業施設開業	民間商業施設開業	達 成	0
4	千葉駅西口地区第二種市街地再開発	A棟建築	杭基礎工事	工事	完成	完成	達 成	1,937,448
5	JR千葉駅建替えの促進	JR・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事	工事	未達成	80,224
6	JR千葉駅建替えの促進	JRや地元関係者との意見交換会	－	2回／年	2回／年	3回／年	達 成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化事業補助、中央公園仮設ステージ及び関連設備設置委託、千葉都心イルミネーション負担金	実施	実施	実施	実施	達 成	37,039



施策の柱	5－2 地域経済を活性化する
施策	5－2－4 物流・港湾機能の強化

指標NO	164
------	-----

指標名	市場年間取扱金額	単位	百万円
-----	----------	----	-----

指標の説明	地方卸売市場で取り扱われる生鮮食料品（青果部：野菜・果物及びこれらの加工品、水産物部：生鮮水産物及びその加工品）の年間取扱金額	担当局（区）	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	現状維持 （38,000～39,000）	現状維持 （38,000～39,000）	現状維持 （38,000～39,000）	✕
現状値	38,506	37,132	—	—	

目標設定 の考え方	長引く景気低迷、流通経路の多元化に伴う市場経由率の低下などにより、市場における取扱金額の減少が続いていることから、目標値を平成23年度取扱金額を基準として維持する。
--------------	--

【達成状況の分析】 少子高齢化等による社会構造の変化、食料消費・小売形態の変化や消費者ニーズの多様化、併せてスーパー等による生産者との直接契約、農協等による消費者への直接販売など市場外流通の増大等により取扱高が低下し、目標が達成できなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 取扱高の拡大を図る一つとして、既存顧客の維持・確保はもとより、新規進出予定のスーパー・小売店等の新たな顧客に対し、当市場での取引を実現すべく要請活動を引き続き精力的に取り組んでいく。 さらに、卸売市場の将来的なあり方を示す「市場経営展望」を基に、市場の活性化に向けた施策について、場内事業者と一体となり取り組んでいく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市場施設の改修	エネルギー棟耐震補強	—	工事	完了	完了	達成	119,388
2	市場施設の改修	外壁・屋上防水改修	—	工事	完了	完了	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市場電気・機械等設備管理	維持管理	実施	実施	実施	実施	達成	154,747



別紙 3

指標NO	165
------	-----

担当局 (区)	経済農政局
------------	-------

<b>目標設定 の考え方</b>	職業紹介や就職相談、企業説明会などの就職支援を行うなど、雇用のミスマッチの解消を図る取組みを推進することにより、 値の向上を目指す。
----------------------	---

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	雇用対策の推進	若年者・留学生向け合同 企業説明会	—	1回／年	1回／年	1回／年	達成	2,993
2	企業立地の促進	立地助成 ・所有型 ・所有型本社(大規模) ・所有型本社(中規模) ・賃借型	2社(23年度事業量) — — 1社(23年度事業量)	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	5社 1社 3社 8社	達成	396,770
3	起業支援の強化	インキュベート施設	—	整備	供用開始	供用開始	達成	38,761


171

施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

指標NO	166
------	-----

指標名	千葉市産の農畜産物を買いたいと思う	単位	%
-----	-------------------	----	---

担当局（区）	経済農政局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	69.0	72.0	75.0	
現状値	67.2	75.7	—	—	

目標設定 の考え方	市内で生産された、新鮮で安心な農畜産物が市民により多く供給されるよう、市内産農畜産物の販売機会の拡大等を通じ、値の向上を目指す。
--------------	--

【達成状況の分析】 地産地消キャンペーンの実施など、地産地消の取組みを推進したことにより、消費者の健康志向及び、食品に対する安全志向の高まり、地元の生産者の見える農産物への志向が高まったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、市内で生産された、新鮮で安心な農産物を市民に供給し、消費者と生産者がより身近で、信頼関係を築けるように地産地消を推進していくほか、市場出荷の生産物は、パッケージにより市内産品であるかわかりづらいことから、市内産品の表示方法を見直すなど、千葉市産農産物生産者認証者制度の課題を整理する。また、市内の量販店において地場農産物コーナーの設置は増えているが、市内産農産物を市民が購入できる機会が増えるよう、流通等の課題を整理し、様々な販売店ででの取り扱いを増やす。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	千産千消(地産地消)の推進	地産地消キャンペーン	8か所	2か所増	10か所	23か所/年	達成	0
2	千産千消(地産地消)の推進	生産認証者数	165人	15人増	180人	187人	達成	0
3	千産千消(地産地消)の推進	6次産業化認定	—	2件	2件	2件	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地産地消推進事業	学校給食導入品目の拡大他	9品目	10品目	10品目	9品目	概ね達成	1,599
2	農政センター運営	優良種苗の生産・供給	種苗供給数 8品目/年 78,357本/年	種苗供給数 8品目/年 107,000本/年	種苗供給数 8品目/年 107,000本/年	種苗供給数 8品目/年 41,712本/年	未達成	128,228
3	農政センター運営	栽培試験の実施	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	達成	0

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

指標NO	167
------	-----

指標名	営農指導数	単位	件/年
-----	-------	----	-----

指標の説明	最新技術の知見を備えた技術職員による農業者に対する巡回指導を通じ、栽培等の課題の解決に向け指導した数	担当局（区）	経済農政局
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	400	420	440	△
現状値	296	298	－	－	

目標設定の考え方	農業者の生産性の向上を図るため、巡回訪問の質の向上を図るなど、栽培に関する課題解決に向けた指導の充実を図ることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 農業者の生産性を向上させるため、巡回指導の質を高めること及び回数を増やすことが本事業の目的であったが、H26末値では、回数の目標値を達成することができなかった。 主な原因として、高齢化により農業者の離農が進み、当初考えていた巡回対象の農業者そのものが減少してしまったことや、H26年2月の大雪被害により、巡回指導以外の業務が大幅に増え、計画通りに指導することができなくなってしまったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 農業者の抱える問題は増加しており、かつ多様化している。このような現状に合わせて、指導回数の積み上げの基となっている営農指導計画の見直しを進める。営農指導計画の見直しでは、地域、品目、経営体ごとの問題点を洗い出したうえで、目的とその課題を設定しなおし、これを解決する手段として、改めて巡回指導を計画する。 また、営農指導計画の内容については、農業を取り巻く様々な情勢を鑑みて、その変化に応じ、その都度見直しを行う。巡回指導の進捗状況については、定期的に指導内容、巡回回数の達成状況を確認し、的確な把握に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	農業生産団地の育成	生産近代化機械施設整備	イチゴ高設栽培施設一式 1棟(23年度事業量) 省力化機械 1台(23年度事業量) パイプハウス -	1棟 1台 4棟	1棟 1台 4棟	1棟 1台 2棟	未達成	25,200
2	環境にやさしい農業の推進	生産対策 ・フェロモントラップ導入 ・イチゴの害虫に対する天敵導入	— —	134戸 25戸	134戸 25戸	134戸 17戸	未達成	1,684
3	環境にやさしい農業の推進	地力増強機械施設の整備	1台(23年度事業量)	1台	1台	0台	未達成	1,684

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境保全型農業推進(土壌診断業務)	土壌診断の実施	1,291検体/年	3,900検体	1,300検体/年	1,040検体/年	概ね達成	7,853
2	農政センター運営	優良種苗の生産・供給	種苗供給数 8品目/年 78,357本/年	種苗供給数 8品目/年 107,000本/年	種苗供給数 8品目/年 107,000本/年	種苗供給数 8品目/年 41,712本/年	未達成	128,228
3	農政センター運営	栽培試験の実施	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	栽培試験数 7件/年	達成	0
4	営農指導巡回回数	営農指導巡回	296回/年	104回増	400回/年	298回/年	未達成	0

施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－2 安定した農業経営体の育成

指標NO	168
------	-----

指標名	営農再開面積	単位	ha
-----	--------	----	----

指標の説明	耕作放棄されている農地を解消し、営農を再開した農地面積	担当局（区）	経済農政局
-------	-----------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	5.9	8.0	10.8	◎
現状値	3.8	6.7	－	－	

目標設定の考え方	優良農地を確保し、有効活用を推進することは重要な課題であることから、耕作放棄地の整備や情報提供の充実を図ることとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】 耕作放棄地整備事業を活用することにより、年間約70aの耕作放棄地再生が可能であるが、農業の担い手等が事業を活用し、再生後農地として利用した結果、耕作放棄地の再生が図れた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も耕作放棄地整備事業により荒廃した農地を作付が可能な状態に再生するため、農地の再生整備の経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を推進していく。また、耕作放棄地の解消に向け、再生した後の作付が比較的容易な作物を栽培している農家に対し、事業の趣旨を説明し、事業の活用につなげる。さらに、遊休農地情報（台帳・ホームページ）の公開、利便性の高い耕作放棄地の選定及び紹介をすることにより農地利用を促す。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	耕作放棄地整備事業	耕作放棄地の再生整備	88a/年	216a	72a/年	56a/年	未達成	689
2	耕作放棄地対策	遊休農地情報の公開・耕作放棄地活用支援体制	実施	実施	実施	実施	達成	0

施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

指標NO	169
------	-----

指標名	市内の農業・農村を身近に感じる	単位	%
-----	-----------------	----	---

担当局（区）	経済農政局
--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	32.5	35.5	40.0	△
現状値	29.5	30.4	—	—	

目標設定 の考え方	地産地消の推進、地域資源を活用した都市と農村の交流促進、森林とふれあう機会を創出することで、より市民に身近な農業・農村を目指す。
--------------	--

【達成状況の分析】
観光農園や体験農園の利用者数は年々増加しているが、市民に対してのPR等が足りておらず、利用したことがない人が多いのが現状であることから、指標の数値が伸びなかったと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
本市の農業生産や、観光農園等を市ホームページや市で開催するイベントにおいて、積極的にPRする。 また、農村地域の魅力の向上をめざし、都市と農村の交流を促進するため、農家レストラン等の開設を検討する。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民農園・観光農園の整備	体験型市民農園設備の整備	—	1か所	1か所	2か所	達成	2,505
2	市民農園・観光農園の整備	観光農園への身体障害者用トイレ設置助成	3件	3件増	6件	6件	達成	
3	里山の保全	里山地区の指定	3か所	1か所	4か所	4か所	達成	1,632
4	里山の保全	里山地区の維持管理団体への助成	—	2団体	2団体	2団体	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	都市農業交流センター管理委託	各種自主事業の実施(来場者)	128,936人/年	約29,000人増	158,000人/年	193,467人/年	達成	153,080
2	都市農業対策事業(市民農園)	市民農園の整備	29か所	2か所程度/年	36か所	34か所	概ね達成	2,100



施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

指標NO	170
------	-----

指標名	市民農園利用面積（市民100人あたり）	単位	㎡
-----	---------------------	----	---

指標の説明	中田都市農業交流センターの市民農園及び㈱千葉市園芸協会の市民農園設置管理組合に加入している市民農園の利用面積（市民100人あたり）	担当局（区）	経済農政局
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	4.5	4.7	5	◎
現状値	4.1	4.93	－	－	

目標設定 の考え方	都市と農村の交流を促進するため、市民農園の積極的な活用を図ることとし、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 休耕の農地を活用する市民農園については、開設したい市民に対しアドバイスを行ったり、開設に関わる補助事業を実施し、安定した市民農園の利用者の確保に努めた。また人気が高い住宅地に近接した場所に、市民農園の開設を推奨していくことで、計画的に指標を向上させることができた。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き住宅地近接の利用率の高い場所で新たな農園の開設に取り組むほか、地域により利用率が異なるため、空き区画の活用や利用者サポート等、利用率向上に向けた支援策を継続して充実させる。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	市民農園・観光農園の整備	体験型市民農園設備の整備	－	1か所	1か所	2か所	達成	2,505
2	市民農園・観光農園の整備	観光農園への身体障害者用トイレ設置助成	3件	3件増	6件	6件	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	都市農業交流センター管理委託	各種自主事業の実施(来場者)	128,936人/年	約29,000人増	158,000人/年	193,467人/年	達成	153,080
2	都市農業対策事業(市民農園)	市民農園の整備	29か所	2か所程度/年	36か所	34か所	概ね達成	2,100

施策の柱	5－3 都市農林業を振興する
施策	5－3－3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

指標NO	171
------	-----

指標名	里山の保全活動参加者数	単位	人
-----	-------------	----	---

指標の説明	里山の保全活動に参加した市民及び企業等の参加者数	担当局（区）	経済農政局
-------	--------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	－	200	400	600	△
現状値	111	150	－	－	

目標設定 の考え方	新たな里山の指定や普及啓発活動によって、現在活動している森林ボランティアの他、市民や企業の参画の拡大を目指すことから、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】 現在、活動している森林ボランティア団体は高齢化が進み、活動が困難となり離脱するケースがみられる。特に新規、若手参加者の獲得に苦慮している状況である。背景には「現役（若手）世代はボランティア活動を行う時間や余裕が無い。」「森林保全活動に対する魅力が薄い。」「ボランティアの具体的な成果がすぐには表れない。」などの要因が考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 里山の指定・保全をととして、森林にかかわる人づくりの推進を図り、健全な森づくりを進めていくとともに、新たなボランティア団体の設立やリーダーとなる人材の育成に努める。その中で、森林の果たす役割や保全する重要性、そして森林ボランティアの魅力・意義をイベントや広報で市民に伝えていくことに加え、森林活動単体ではなく、環境問題全体も視野に入れ、PRを行っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	里山の保全	里山地区の指定	3か所	1か所	4か所	4か所	達成	1,632
2	里山の保全	里山地区の維持管理団体への助成	—	2団体	2団体	2団体	達成	

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	森林ボランティア推進事業	林業技術研修および安全研修	10人	50人／年	50人／年	39人／年	未達成	226

政策評価シート 【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	中央区
施策	中央区基本計画

指標NO	172
------	-----

指標名	刑法犯認知件数(中央区)	単位	件
-----	--------------	----	---

指標の説明	警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数	担当局(区)	中央区役所
-------	--------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	4,100	3,500	3,000	◎
現状値	4,733	4,085	—	—	

目標設定の考え方	警察署・区役所・地域の防犯パトロール隊の協力等により、着実な減少を目指す。
----------	---------------------------------------

【達成状況の分析】 防犯パトロール隊、防犯ウォーキングボランティア等により住民の防犯意識の高揚と犯罪抑止を図るため、パトロールを継続して実施していることにより、犯罪認知件数は、平成26年度末目標値4,100件対し4,050件であり、目標を達成した。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、ウォーキングボランティアについて、市政だより等により区民に周知・参加を呼びかける。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング(中央区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	2,184人	916人	3,100人	2382人	概ね達成	0

施策の柱	中央区
施策	中央区基本計画

指標NO	173
------	-----

指標名	自主防災組織の防災訓練実施率	単位	%
-----	----------------	----	---

指標の説明	中央区内の自主防災組織のうち、1年に1回以上、防災訓練等の活動を行う組織の割合	担当局（区）	中央区役所
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	40.0	50.0	60.0	○
現状値	29.6	38.4	—	—	

目標設定の考え方	区内で結成されている自主防災会の内、過半数の自主防災組織が1年間に1回以上、防災訓練等の活動を実施することを目標とした。
----------	--

【達成状況の分析】 東日本大震災を教訓に地域住民及び関係機関等が連携した防災訓練を実施することにより、実効的な防災体制の確立を目指しているが、平成26年度末は目標値の40%に到達しなかった。 原因として考えられるのは、自主防災組織の防災訓練は平成11年より行っており、以前は区が主体となって訓練を行っていたが、平成24年度から地域住民が主体となった訓練となり役員の負担が増えたこと、年度毎の防災組織の役員の交代により訓練実施のバラつきが生じてしまったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き、顕著な訓練活動を行っている団体を表彰し、地域の防災意識の向上と活性化を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域の防災力の向上(中央区くらし安心・自主防災マップ作成)	中央区くらし安心・自主防災マップ	—	作成	完成	完成	達成	1,783

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	情報提供、広報啓発	広報誌への掲載	4回/年	6回/年	10回/年	10回/年	達成	6

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	中央区
施策	中央区基本計画

指標NO	174
------	-----

指標名	地域マネジメント推進事業数	単位	事業
-----	---------------	----	----

指標の説明	地域課題の解決に向け、地域の様々な主体が協働し、活動基盤としての会議体を立ち上げた事業数	担当局（区）	中央区役所
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	3	5	7	△
現状値	1	1	—	—	

目標設定の考え方	より多くの地域で、様々な主体が課題解決に向けた会議体を運営できるよう、まずは事業運営をする団体を掘り起こし、徐々に事業を拡充することとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
平成26年度より、全市的に『住民同士の助けあい支えあいによる地域運営を将来に渡って継続できる地域の体制づくり』を進めるため、地域運営委員会の設立を促進している。 平成26年度末時点で、地域マネジメント推進事業は松ヶ丘中学校区における『円卓会議』のみであるが、平成27年4月には生浜地区で地域運営委員会が設立されたことから、2事業となっており（松ヶ丘中学校区の円卓会議も平成27年5月に地域運営委員会に移行している）、蘇我地区でも設立の準備を進めていることから、平成28年度当初においては3事業となる見込みである。
【課題及び今後の取組みの方向性】
現在、区内では松ヶ丘及び生浜の2地区において地域運営委員会が設立されているが、設置されてから間もないということもあり、地域運営委員会の効果的な運営モデルが確立されているとは言い難い状況にある。 今後の方向性としては、効果的な地域運営委員会の運営について、先行した2地区における運営状況を検証しながら運営モデルを確立することを優先し、そのうえで他地区における設立を促進していきたい。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域活動団体結成促進	説明の実施	—	1回/年	1回/年	1回/年	達成	0



政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3	
指標NO	175

施策の柱	中央区
施策	中央区基本計画

指標名	町内自治会加入率(中央区)	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	中央区住民登録世帯数に対する自治会加入世帯数の割合	担当局(区)	中央区役所
-------	---------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	71.0	71.5	72.0	✕
現状値	70.5	67.7	—	—	

目標設定の考え方	地域の課題を自ら主体的に解決したり、区民がまちづくりについて議論するためには地域活動の根幹をなす町内自治会の充実が欠かせないため、あらたな中央区居住世帯に(特にマンションを中心に)対し、町内自治会加入、結成を促す。
----------	---

【達成状況の分析】
平成23年度末時点に比べ、加入世帯数自体は減少していないものの(H23末:65,114世帯→H26末:65,235世帯)、世帯数全体の増加(H23末:92,386世帯→H26末:96,396世帯)に追い付いていないことから、加入率としては減少している(H23末:70.5%→H26末:67.7%)状況にある。
【課題及び今後の取組みの方向性】
1世帯あたりの人口が減少している(H23末:2.09人→H26末:2.04人)ことから、区内では单身若しくは2人といった少人数の世帯が増加していると考えられ、このような市民の居住するアパート等の小規模集合住宅(特に賃貸)へのアプローチが課題となっている。 区としては加入にかかる説明会や広報活動を継続し、自治会加入に理解を求めていく。 また、小規模集合住宅へのアプローチは全市的な課題であることから、市民局と協力しながら全市的な対応を検討していきたい。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	町内自治会結成加入説明会	説明会開催及び個別説明	1回/年	2回/年	2回/年	2回/年	達成	0
2	広報啓発	広報啓発活動	窓口でのチラシ配布、市政だより掲載1回	窓口でのチラシ配布、市政だより掲載1回、機会を設けての啓発活動(年4～5回程度)	窓口でのチラシ配布継続、広報誌掲載1回、機会を設けての啓発活動(年4～5回)	窓口でのチラシ配布継続、機会を設けての啓発活動(年4～5回)	概ね達成	0

施策の柱	花見川区
施策	花見川区基本計画

指標名	地域主体型防災訓練参加者数	単位	人
-----	---------------	----	---

指標の説明	区民主体型防災訓練への延べ参加者数	担当局（区）	花見川区役所
-------	-------------------	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	780	1,380	2,170	◎
現状値	192	818	—	—	

目標設定 の考え方	過去の防災訓練の平均参加者数を勘案して目標値を設定した。
--------------	------------------------------

【達成状況の分析】 過去の防災訓練の参加者を参考に目標を設定し、区内の自治会連絡協議会や避難所運営委員会の中でPRなど実施したところH27中間評価値780人を超えることができた。 東日本大震災後、防災に対する関心が高まったこと、また、それに伴い、避難所運営委員会の設立が進んだことから、自助・公助の必要性や災害時の対応力など地域防災力の向上が図られてきていると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】  引き続き、区内自治会連絡協議会や全避難所運営委員会等でPRを行い、啓発活動に努め、防災訓練の参加者を増やし、災害時の対応力や地域防災力の向上を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域の防災力の向上（花見川区地域主体型防災訓練）	花見川区地域主体型防災訓練	2地区	3地区増	5地区	5地区	達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	広報活動	啓発活動	実施	実施	実施	避難所運営委員会に対し、参加のPRを行った。	概ね達成	35

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	花見川区
施策	花見川区基本計画

指標NO	177
------	-----

指標名	防犯ウォーキングボランティア登録数(花見川区)	単位	人
-----	-------------------------	----	---

指標の説明	地域での防犯活動や犯罪の抑止につなげるための、防犯ウォーキング(パトロール)登録者数	担当局(区)	花見川区役所
-------	--	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	2,370	3,160	4,220	△
現状値	1,583	1,940	—	—	

目標設定 の考え方	過去の平均登録者数の実績を勘案して目標値を設定した。
--------------	----------------------------

【達成状況の分析】 区内の自治会連絡協議会や防犯の研修会の中でPRし、募集に努めたところであるが、平成27中間評価は、1,941人と目標値の2,370人に達しなかった。 原因として考えられるのは、平成27年度から防犯ウォーキングボランティアが千葉市ボランティア活動補償制度の対象外となったことから、H27年3月中に活動中止届の提出が多くあり、結果としてH26年度末の登録者数が減ったため。
【課題及び今後の取組みの方向性】 平成27年度当初の千葉市ボランティア活動補償制度の対象外となった件について活動中止届の提出が落ち着いたことにより、引き続き、区内の自治会連絡協議会、防犯研修会、区主催のイベント等でPRし、募集に努めていく。 また、福祉施設等協力団体の裾野を広げ登録者数の拡大を図っていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング(花見川区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,583人	787人	2,370人	1,940人	概ね達成	737

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

178

施策の柱	花見川区
施策	花見川区基本計画

指標名	「朝市」来場者数	単位	人
-----	----------	----	---

指標の説明	区役所において毎月開催している「朝市」の年間来場者数	担当局（区）	花見川区役所
-------	----------------------------	--------	--------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	2,870	3,110	3,430	△
現状値	2,640	2,684	—	—	

目標設定 の考え方	認知度の向上を図るため、広報活動を強化するとともに、様々な団体へ協力を求め、より活性化を図ることから、目標値を設定した。
--------------	--

【達成状況の分析】
「朝市」は、市内及び花見川区内で生産される農産物に触れる機会を提供するとともに、区内の社会福祉団体や地元商業者等による商品の販売を通じて区民の集える場所を提供することを目的として開始した。 また、平成25年度より、区民が気軽に集い、交流できる場を創出するため、従来の朝市に加え、新たにテーブルや椅子を会場内に設置してオープンカフェスタイルの「花カフェ」を追加し、「朝市＆花カフェ」として開催している。 開催して2年が経過し、朝市の認知度が上がり、リピーターが増えており、来場者数も順調に増加しており区民同士の交流もみられる。 平成26年度は、8月が荒天のため開催を中止しているため、目標値は下回っているが、平成26年度の月平均来場者数は245名あったので、実質的には目標値を達成したと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
子どもから高齢者まで幅広い世代が来場しているが、異世代での交流があまり見られないため、世代間交流を促進するような企画を検討していく。 また、開市直後は多くの区民が集まり、賑わいがあるが、時間の経過により人通りがまばらになるため、来場者を呼びこむ企画や滞在時間を延ばす対策として、出店数の増加やイベント開催等を考えていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	広報活動	チラシの配布	200枚/回	800枚/回増	1,000枚/回	100枚/回	未達成	0
2	出店促進	誘致活動	1店舗	3店舗増	4店舗	5店舗	達成	0

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	稲毛区
施策	稲毛区基本計画

指標NO	179
------	-----

指標名	町内自治会加入率(稲毛区)	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	稲毛区住民登録世帯数に対する自治会加入世帯数の割合	担当局(区)	稲毛区役所
-------	---------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	75.2	75.5	75.9	✕
現状値	74.9	72.6	—	—	

目標設定の考え方	地域の課題を自ら主体的に解決したり、区民がまちづくりについて議論するためには地域活動の根幹をなす町内自治会の充実が欠かせないため、あらたな稲毛区居住世帯に(特にマンションを中心に)対し、町内自治会加入、結成を促す。
----------	---

【達成状況の分析】 町内自治会長へ自治会加入促進パンフレットを配布したほか、千葉県宅地建物取引業協会千葉支部の協力により、転入者に町内自治会に関する情報提供を行い、町内自治会への加入を促進したものの、平成26年度末は、目標値の75.2%に達しなかった。原因としては、マンションの新設事業者に対して町内自治会結成のPRが十分にできなかったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 マンションの新設に係る開発行為の事前協議の際に、マンションの管理組合名義でも、町内自治会と同様の取扱いができる旨を説明し、町内自治会の結成及び加入率向上を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	広報啓発	転入者への情報提供	実施	実施	実施	実施	達成	0



政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3	
指標NO	180

施策の柱	稲毛区
施策	稲毛区基本計画

指標名	防犯ウォーキングボランティア登録数(稲毛区)	単位	人
-----	------------------------	----	---

指標の説明	地域での防犯活動や犯罪の抑止につなげるための、防犯ウォーキング(パトロール)登録者数	担当局(区)	稲毛区役所
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	2,200	2,500	2,900	△
現状値	1,907	1,990	—	—	

目標設定 の考え方	毎年100人ずつ増加させることとし、目標値を設定した。
--------------	-----------------------------

【達成状況の分析】 安心で安全なまちづくりを目指し、区民等が日ごろのウォーキングや犬の散歩等を兼ねて自身の都合の良い時間帯に区から貸与された帽子を着用して行う気軽な防犯パトロールであるが、平成26年度末は、目標値の2,200人に達しなかった。 原因としては、、平成24～26年の登録者数は590人であったが、平成26年度末の防犯ウォーキングボランティア保険適用除外に関する通知を登録中止届出書を登録者全員に送付したところ中止者が続出し、参加者の高齢化も要因となり、平成26年度末の登録者数が減少したことと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 貸与品の帽子の着用に抵抗を感じる若者や女性が多いとの指摘もあることから、貸与品にネックチーフ等を加えボランティア登録者の増加を図る。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング(稲毛区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,907人	293人	2,200人	1,990人	未達成	368

施策の柱	稲毛区
施策	稲毛区基本計画

指標NO	181
------	-----

指標名	「文教のまち」を活かしたまちづくり活動団体数	単位	団体
-----	------------------------	----	----

指標の説明	「文教のまち」を活かしたまちづくり活動に取り組んでいる学生などの団体への補助件数	担当局（区）	稲毛区役所
-------	--	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	50	95	155	△
現状値	8	20	—	—	

目標設定 の考え方	毎年15団体ずつ増加させることとし、目標値を設定した。
--------------	-----------------------------

【達成状況の分析】 市政だより・ホームページへの掲載、千葉市社会福祉協議会、公民館など公的機関での募集要項の配架など同制度の普及を図っているものの、平成26年度末は、目標値の50件に達しなかった。原因としては、大学生に対する周知が十分にできなかったことが考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 まちづくりを研究している学生団体に、制度の情報提供を行うため、大学事務局と協議し、活動団体数を増やしていく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	まちづくり活動団体への助成(稲毛区)	まちづくり活動団体への助成	10件／年	5件／年	15件／年	区テーマ解決支援5件／年	未達成	745

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	連絡調整会議(稲毛区)	会議開催	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年	達成	6

政策評価シート 【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	若葉区
施策	若葉区基本計画

指標NO	182
------	-----

指標名	高齢者支えあい組織結成数	単位	組織数
-----	--------------	----	-----

指標の説明	高齢者の日常生活等を支援する、町内自治会等の住民組織・ボランティア団体・市民活動団体・NPO法人等の組織数	担当局（区）	若葉区役所
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	70	130	202	◎
現状値	10	82	—	—	

目標設定 の考え方	年間20組織の結成を目標とする。
--------------	------------------

【達成状況の分析】 若葉区では千葉市の中で最も少子超高齢化が進行していることから、支え合い活動を実施する団体の組織結成を推進する説明会や地域活性化の補助金交付を行った結果、平成26年度末には目標値を超える82団体の支え合い組織が結成された。
【課題及び今後の取組みの方向性】 引き続き支えあい組織の増加を図るため、自治会等への説明会を実施していく。 これまでは、普段から活発に活動している町内自治会が若葉区の呼び掛けに応じて支え合い活動を開始するケースが多いが、今後は、あまり活動のない町内自治会にも支え合い活動を実施してもらうことになるため、困難が予想される。このような自治会には、無理のない支え合い活動の実施や自治会内部の既存組織を活用した支え合い活動を提案するなど説明方法を工夫していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	若葉区まちづくり支援システムの活用	まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実	運用・充実 ★	達成	1,714
2	若葉区まちづくり支援システムの活用	普及啓発	—	出張講座	出張講座	普及啓発 出張講座 ★	達成	
3	若葉区地域福祉活動支援	地域福祉団体活動助成	—	10件/年	10件/年	10件/年	達成	480

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

施策の柱	若葉区
施策	若葉区基本計画

指標NO	183
------	-----

指標名	刑法犯認知件数(若葉区)	単位	件
-----	--------------	----	---

指標の説明	警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数	担当局(区)	若葉区役所
-------	--------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	2,080	1,730	1,350	◎
現状値	2,500	1,807	—	—	

目標設定の考え方	警察署・区役所・地域の防犯パトロール隊の協力等により、着実な減少を目指す。
----------	---------------------------------------

【達成状況の分析】 多種多様な犯罪が年々増加傾向にある中、犬の散歩やウォーキングの際「防犯」と書かれた帽子を身に着けて活動する「防犯ウォーキングボランティア」が、年々増加していることにより、犯罪の抑止効果が図られ、地域の犯罪件数が減少したものと考えられる。平成26年末では刑法犯認知件数目標2,080件に対し、1,807件と273件の刑法犯認知件数が減少し目標以上の成果であった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 防犯パトロールに参加できる人は限りがあるため、今後ボランティア登録者数の伸び悩みと、ボランティアの高齢化により活動中止者も増えることが予想される。このため、帽子に替わる貸与品として、若者や女性受けする貸与品の導入を検討する。今後も、地域の防犯パトロール組織の結成や育成に力を入れ、なおいっそう刑法犯認知件数が減少するよう努力していく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング(若葉区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,735人	265人	2,000人	2,042人	達成	227

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	若葉区
施策	若葉区基本計画

指標NO	184
------	-----

指標名	「魅力提供サポーター」登録人数	単位	人
-----	-----------------	----	---

指標の説明	魅力提供サポーターの登録人数	担当局(区)	若葉区役所
-------	----------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	25	40	60	○
現状値	—	22	—	—	

目標設定 の考え方	目標は、初年度15名、年間5人程度増加とする。
--------------	-------------------------

【達成状況の分析】 「若葉区から情報発信」のホームページを作成する魅力提供サポーターの人数を年間5名程度増やすことを目標としたが、平成26年度末は目標値の25人に到達しなかった。 原因としては、SNSなど個人でも幅広い情報発信が可能な仕組みが一般化したことやパソコンによるホームページの作成自体が、一般的にハードルが高く映ることも影響し、募集をかけても人が集まらなかった。なお、最近はパソコンよりも、スマートフォンやタブレット端末の利用者が増えていることから、スマートフォンやタブレット端末で千葉市の魅力を投稿することができるサイト「ジモバナ」が、平成27年2月に千葉市のホームページで開始している。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後は、周知方法等を検討しながらホームページを作成する魅力提供サポーターの募集を行いつつも、魅力情報を発信するツールとして「ジモバナ」を活用し、「ジモバナ」で若葉区の魅力を発信していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	若葉区の魅力伝承	情報発信	情報サイトの構築	サポーター任命 魅力会議 情報サイトの充実	魅力情報の収集・発信	魅力情報の収集・発信 ★	達成	132

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費



政策評価シート 【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	若葉区
施策	若葉区基本計画

指標NO	185
------	-----

指標名	ウェブサイト「若葉区から情報発信」ホームページアクセス件数	単位	件
-----	-------------------------------	----	---

指標の説明	地域の身近な情報を発信するウェブサイト「若葉区から情報発信」のホームページ平均アクセス件数	担当局（区）	若葉区役所
-------	---	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	1,900	3,400	5,000	◎
現状値	—	4,673	—	—	

目標設定の考え方	平成23年度の若葉区のトップページアクセス数の平均値をもとに、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】 「若葉区から情報発信」ホームページの平成26年度末時点のアクセス数は、目標値を大幅に上回ることができた。 魅力提供サポーターと区内の中学校が多くホームページを作成したこと、また、町内自治会に「まちづくり支援システム」の利用を促進する説明会を実施したことによって、ホームページのアクセスが増えたと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も『若葉区から情報発信』ウェブサイトの見せ方を工夫し、ウェブサイト自体の一層の周知を図るとともに、サイト内の中学校がつくるページや、魅力提供サポーターが作るページ、若葉区の魅力投稿サイトなどを拡充し、若葉区の魅力情報を充実させる。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	若葉区まちづくり支援システムの活用	まちづくり支援システム	システムの構築	システムの充実	運用・充実	運用・充実 ★	達成	1,714
2	若葉区まちづくり支援システムの活用	普及啓発	—	出張講座	出張講座	普及啓発 出張講座 ★	達成	
3	若葉区の魅力伝承	情報発信	情報サイトの構築	サポーター任命 魅力会議 情報サイトの充実	魅力情報の収集・発信	魅力情報の収集・発信 ★	達成	132

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	緑区
施策	緑区基本計画

指標NO	186
------	-----

指標名	町内自治会加入率(緑区)	単位	%
-----	--------------	----	---

指標の説明	緑区住民登録世帯数に対する自治会加入世帯数の割合	担当局(区)	緑区役所
-------	--------------------------	--------	------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	61.0	65.5	71.5	△
現状値	56.6	56.8	—	—	

目標設定の考え方	市町内自治会加入率(平成23年度末時点)と同等値を目指す。緑区は、自治会加入率が6区の中で最も低いため、加入率向上を最重要課題と位置づけ、加入率の低い区域を中心に、新規結成や近隣自治会への加入促進活動を行う。
----------	--

【達成状況の分析】
町内自治会は、住民と行政のパイプ役を担うとともに、住民相互の理解や親睦、生活環境の向上などにおいて果たす役割は非常に大きいものであることから、各地区町内自治会連絡協議会と連携を取って、リーフレットのポスティングや説明会の実施などによる、自治会加入促進及び新規設立を推進したところだが、平成26年度末の加入率は56.8%と目標値の61.0%に届かなかった。 原因としては、おゆみ野地区及びあすみが丘東地区等を中心に宅地開発が進み、世帯数が増加していることが挙げられる。各地区町内自治会連絡協議会等と連携をして町内自治会を新規結成(3年間で18団体)しているが、自治会加入世帯数より緑区への転入世帯数が多いため、自治会加入率は目標に達成していない状況だ。 宅地開発初期に自治会を結成できれば良いが、時間が経過してしまうと住民同士の意思疎通が難しく、自治会設立に至らない場合が多い。また、緑区では、子育てや働く世代が多く、価値観やライフスタイルが多様化していることなどにより、地域活動への関心が低いことが上げられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】
おゆみ野地区の自治会結成率(42.5%)が他の地区より低いことや、マンション管理組合の自治会加入率が低いといった課題もあるが、今後は区内の開発業者・住宅販売会社等に対して、入居者との契約時等に、自治会加入・新規結成について周知を依頼するなど、より一層連携強化を図っていく。 また、分譲マンションを対象として、リーフレットの配布等により、地域活動を行っている管理組合を町内自治会と同様に取り扱うことが出来る旨の制度改正について周知を図り、要望があれば個別に説明会を実施していく。 さらに、引き続き各地区町内自治会連絡協議会と連携を図り、町内自治会の加入促進や新規設立に向けての活動を進めていく。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	町内自治会未結成区域に対する広報啓発	チラシ・アンケート等のポスティング	700戸	1,000戸/年	1,000戸	1,287戸	達成	0
2	マンション管理組合への説明	マンション管理組合への説明	18か所	28か所/年	28か所	28か所	達成	0
3	開発業者等との連携による結成促進活動	業者との連携による結成促進活動	4社	4社/年	4社	8社	達成	0

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	緑区
施策	緑区基本計画

指標NO	187
------	-----

指標名	自主防災組織結成率(緑区)	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	全世帯数に対して自主防災組織に加入している世帯数の割合	担当局(区)	緑区役所
-------	-----------------------------	--------	------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	56.0	60.5	66.5	△
現状値	51.5	52.9	—	—	

目標設定 の考え方	市自主防災組織結成率(平成23年度末時点)と同等値を目指す。年平均1.5%増で達成する。
--------------	--

【達成状況の分析】 各地区連協毎に自主防災組織未結成の町内自治会を対象とした説明会を開催しており、平成24年度から平成26年度の3年間で新規に27組織が結成されたが、組織結成率の目標値を下回っている。 算出にあたり分母となる緑区の世帯数が増加しているため、新規に27組織結成されてはいるが、結成率は上がらなかった原因であると考えられる。また、自主防災組織の母体となっている町内自治会加入率が6区の中で一番低いことも原因であると考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 自治会によっては高齢化が著しく、自主防災組織を結成にあたり役員のなり手がいないなど課題もあるが、自主防災組織未結成の町内自治会やマンション管理組合への資料送付や説明会を行うなど積極的に結成を働きかけていく。平成26年度はマンション管理組合への働きかけが十分できなかったため、平成27年度はマンション管理組合への説明会を重点的に行う。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域の防災力の向上(こども防災体験(緑区))	こども防災体験	1回/年	3回/年増	4回/年	4回/年	達成	383

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	自主防災組織未結成の町内自治会に対する説明会の実施	説明会の開催	8回	15回/年	15回	8回	未達成	0
2	マンション管理組合(町内自治会未結成)への説明	マンション管理組合への説明	1か所	23か所/年	23か所	20か所	概ね達成	0

政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

施策の柱	緑区
施策	緑区基本計画

指標NO	188
------	-----

指標名	防犯パトロール隊の結成数	単位	団体
-----	--------------	----	----

指標の説明	区内の町内自治会やPTAなどが、日常生活の中で犯罪への不安を感じることなく、安全で安心して暮らしていける町づくりのために、自助・共助の精神から結成される団体数	担当局（区）	緑区役所
-------	---	--------	------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	—	99	108	120	✕
現状値	90	88	—	—	

目標設定 の考え方	市全体の防犯パトロール隊の平均団体数（平成23年度末時点）と同等値を目指す。
--------------	--

【達成状況の分析】 防犯パトロール隊については、ホームページや町内自治会等の会議、区自主企画事業の際にパトロール隊結成を働きかけており、平成24年度2隊、平成25年度6隊、平成26年度1隊が新規に結成されている。しかしながら、パトロール隊隊員の高齢化により解散・休止するパトロール隊数が新規結成数を上回り、目標値を大幅に下回っている。
【課題及び今後の取組みの方向性】 パトロール隊隊員の高齢化により、活動を解散・休止するパトロール隊は増加していくことが予想されるなど課題もあるが、町内自治会の会議への出席など説明会の機会を増やし、パトロール隊結成を働きかける。

指標を構成する事業  
計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング（緑区）	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,346人	450人	1,796人	1,537人	未達成	207

施策の柱	美浜区
施策	美浜区基本計画

指標NO	189
------	-----

指標名	稲毛海浜公園の利用者数	単位	千人
-----	-------------	----	----

指標の説明	稲毛海浜公園の年間利用者数	担当局(区)	美浜区役所
-------	---------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	1,072	1,103	1,146	△
現状値	832	882	—	—	

目標設定 の考え方	東日本大震災で落ち込んだ利用者数を、平成24年度末までに震災前の水準に回復させることとし、その後は1%増加を見込み、設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】 毎年区民フェスティバルを開催（H26は台風のため中止）、H24には、稲毛海浜公園をコースの一部とした魅力発見ウォーキング＆マップ作成、H26に稲毛海浜公園を会場にまちづくり活動を実施した団体に助成など、各事業を通じて稲毛海浜公園の魅力発信に努めてきたところである。 稲毛海浜公園の利用者数の増減については、H24に1,012千人と震災前の水準（H22の1,050千人）近くまで回復させることができたが、その後は減少傾向（H25の973千人、H26の882千人）にある。屋外施設については天候に影響されることが多いこと（H22は記録的な猛暑であった）、屋内の花の美術館についてはH23以降の入館料の値上げ等による影響が挙げられるが、様々な要因が複合的に作用したものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 稲毛海浜公園利用者数の増加については天候などの不確定要素に影響されやすいという課題があるが、「海辺のグランドデザイン」策定による海辺の活性化を推進するほか、今後も各事業を通じて、稲毛海浜公園の魅力を発信していく。なお、H27の区民フェスティバルにおいて、稲毛ヨットハーバーのクルーザーヨット体験会を開催する予定である。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	美浜区の魅力発見ウォーキング	区民とウォーキング	—	2回／年	2回／年	2回／年	達成	128
2	美浜区の魅力発見ウォーキング	マップ作成	—	マップ作成	マップ作成	マップ作成	達成	
3	まちづくり活動団体への助成(美浜区)	まちづくり活動団体への助成	美浜区 10件/年	5件/年増	15件/年	9件/年	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	美浜区民フェスティバル	来場者数	64,000人	198,000人	67,000人	H24 38,000人(降雨により減少) H25 65,000人 H26 台風のため中止	未達成	9,180



政策評価シート【個票:客観指標】

別紙 3

指標NO

190

施策の柱	美浜区
施策	美浜区基本計画

指標名	町内自治会加入率(美浜区)	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	美浜区住民登録世帯数に対する自治会加入世帯数の割合	担当局(区)	美浜区役所
-------	---------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	76.2	77.7	79.7	○
現状値	74.7	75.6	—	—	

目標設定の考え方	過去の実績を踏まえ、年間0.5%の増加を目指し設定した。
----------	------------------------------

【達成状況の分析】 地区町内自治会連絡協議会と連携して「町内地自治会新規結成」や「マンション管理組合の自治会活動開始」についての働きかけを行ったところである。3年間で団体数は8増加しているが、H26末の加入世帯数の割合は目標値の76.2%に到達しなかった。
【課題及び今後の取組みの方向性】 自治会については活動開始に至るまでの住民間の合意形成に時間を要するなどの課題があるが、今後も地区町内自治会連絡協議会との連携を継続し、さらに開発事業者との連携を強化しながら、「町内自治会新規結成」や「マンション管理組合の自治会活動開始」についての働きかけを実施していく。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	マンション管理組合への説明	説明会開催	6回/年	6回/年増	12回/年	11回/年	概ね達成	0
2	広報啓発	地域イベントへの参加	25か所/年	3回/年増	28回/年	34回/年 H24…17回、H25…20回、 H26…34回	概ね達成	0

政策評価シート【個票：客観指標】

別紙 3

指標NO

191

施策の柱	美浜区
施策	美浜区基本計画

指標名	刑法犯認知件数(美浜区)	単位	件
-----	--------------	----	---

指標の説明	警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数	担当局(区)	美浜区役所
-------	--------------------------	--------	-------

区 分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	1,830	1,620	1,380	◎
現状値	2,069	1,722	—	—	

目標設定 の考え方	過去の実績を踏まえて設定した。
--------------	-----------------

【達成状況の分析】 刑法犯認知件数の減少(目標値達成)については、様々な要因が複合的に作用したものと考えられるが、防犯ウォーキングや防犯パトロール隊の活動に代表される、市民による防犯活動の実施も大きな要因の一つと考えられる。美浜区安全会議の開催についても、市民の防犯意識の向上の一助となっているものと考えられる。
【課題及び今後の取組みの方向性】 今後も継続し美浜区安全会議の開催に努める。防犯ウォーキングについては、登録者が減少しているため、配布物(現状は防犯キャップのみ)の見直しの検討などを行い、登録者数の増加に努める。

指標を構成する事業  
計画事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	美浜区安全会議	安全会議	2地区	3地区	5地区	8地区	達成	0
2	美浜区安全会議	地域防犯マップの作成	2地区	3地区	5地区	未実施	未達成	0

その他事業

(千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	防犯ウォーキング(美浜区)	防犯ウォーキングボランティア登録者数	1,972人	585人	2,557人	1,846人	未達成	74